

羽幌町人口ビジョン
町民アンケート結果報告書

令和 年 月

目次

1.	調査の概要	1
(1)	目的	1
(2)	意識調査の種類及び概要	1
(3)	配付・回収の方法	2
(4)	配付対象者と配付数	2
(5)	配付回収のスケジュール	3
(6)	配付回収結果	3
(7)	集計結果の概要.....	4
2.	アンケート調査結果	10
(1)	高校生アンケート調査	10
(2)	一般向けアンケート調査	28
(3)	転入者向けアンケート調査.....	60
(4)	転出者向けアンケート調査.....	75
(5)	企業向けアンケート調査	90
3.	資料編	106
(1)	高校生アンケート調査票	107
(2)	一般向けアンケート調査票.....	111
(3)	転入者向けアンケート調査票	120
(4)	転出者向けアンケート調査票	125
(5)	企業向けアンケート調査票.....	129

1. 調査の概要

(1) 目的

本調査は、羽幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定するにあたり、必要となる町民などの意識調査を実施し、その基礎資料を作成することを目的とします。

(2) 意識調査の種類及び概要

意識調査は対象ごとに 5 種類実施しました。アンケート調査の種類と概要は以下のとおりです。なお、実際の調査票は、「3. 資料編」に掲載しました。

図表 1-1 アンケートの種類と概要

番号	調査の種類	設問項目の概要
1	高校生アンケート調査	・ 高校卒業後の進路と希望する職業 ・ 羽幌町内での就職の可能性 ・ 個人属性
2	一般向けアンケート調査	・ 結婚（メリットとデメリットなど） ・ 子育て（子育ての不安、子育て支援事業など） ・ 人口減少対策（婚姻率の上昇、出生率の上昇、人口減少対策事業、住みよい環境形成事業など） ・ 個人属性
3	転入者向けアンケート調査	・ 転入理由 ・ 羽幌町の魅力と不満 ・ 居住継続の意向 ・ 個人属性
4	転出者向けアンケート調査	・ 転出理由 ・ 羽幌町の魅力と不満 ・ 再転入の可能性 ・ 個人属性
5	企業向けアンケート調査	・ 現在と理想の従業員の年齢構成 ・ 事業活性化に有効な施策内容 ・ 企業の属性

(3) 配付・回収の方法

各アンケート票は、下表の方法で配付・回収を行いました。

図表 1-2 配付・回収の方法

番号	調査の種類	配付・回収の方法
1	高校生アンケート調査	学校を通じて配付し、Web にて回答
2～5	一般向けアンケート調査 転入者向けアンケート調査 転出者向けアンケート調査 企業向けアンケート調査	配付は郵送で、回収は郵送及び Web 回答

(4) 配付対象者と配付数

各アンケート票の配付対象者と配付数は、以下のとおりです。

図表 1-3 配付対象者と配付数

番号	調査の種類	「配付対象者」と「配付数」			
1	高校生アンケート調査	北海道羽幌高等学校 : 全校生徒 : 137 件 北海道苫前商業高等学校 : 同 上 : 39 件 北海道天売高等学校 : 同 上 : 15 件 合計 : 191 件			
2	一般向けアンケート調査	年齢階級	男 性	女 性	合 計
		20～29 歳	210 件	210 件	420 件
		30～39 歳	210 件	210 件	420 件
		40～49 歳	108 件	108 件	216 件
		50～59 歳	36 件	36 件	72 件
		60 歳～	36 件	36 件	72 件
		合計	600 件	600 件	1,200 件
		結婚、出産、子育てに関係の深い年齢階級であるため「20～29 歳」と「30～39 歳」の配付数を多く設定 上記年齢層を補うように「40～49 歳」をやや多く設定			
3	転入者向けアンケート調査	令和 5 年 3 月から 4 月に転入した 20 歳以上の方 : 91 件			
4	転出者向けアンケート調査	令和 5 年 3 月から 4 月に転出した 20 歳以上の方 : 128 件			
5	企業向けアンケート調査	羽幌町内 200 社を対象に配付 (200 件)			

(5) 配付回収のスケジュール

アンケート票の配付及び回収のスケジュールは以下のとおりです。

図表 1-4 配付回収のスケジュール

番号	調査の種類	配付日	回収期日
1	高校生アンケート調査	令和6年6月6日(木)	令和6年6月28日(金)
2～5	一般向けアンケート調査 転入者向けアンケート調査 転出者向けアンケート調査 企業向けアンケート調査	令和6年6月26日(水)	令和6年7月14日(日)

(6) 配付回収結果

各アンケート調査の配付回収結果は、以下のとおりです。

図表 1-5 配付回収数及び回収率

番号	調査の種類	配付数	回収数(回収率)
1	高校生アンケート調査	191 件	132 件 (69.1%)
2	一般向けアンケート調査	1,200 件	298 件 (24.8%)
3	転入者向けアンケート調査	91 件	24 件 (26.4%)
4	転出者向けアンケート調査	128 件	35 件 (27.3%)
5	企業向けアンケート調査	200 件	76 件 (38.0%)

(7) 集計結果の概要

① 高校生アンケート調査

問1. 回答者属性

Q1. 性別と学年

1) 性別

「男性」、「女性」とも5割弱です。

2) 学年

「1年生」が4割弱と最も多く、続いて「3年生」が3割強となっています。

Q2. 出身中学校

「羽幌中学校」が4割と最も多く、続いて「苫前中学校」が1割強となっています。

問2. 進路や就職について

Q1. 卒業後の進路希望（進学・就職）

「進学を希望」が6割弱と最も多く、続いて「就職を希望」が2割強となっています。

1) 進学を希望する市町村

「札幌市」が最も多い状況です。

2) 就職を希望する市町村

「羽幌町」と「札幌市」が同数で最も多い状況です。

Q2. 就職を希望する業種

「公務員・法律・政治系の職業」が最も多い状況です。

Q3. 羽幌町内での就職（希望する業種が町内にある場合）

「あまり羽幌町での就職を検討してみたいと思わない」が4割と最も多い状況です。

Q3-1. 羽幌町内での就職に有効な情報

「具体的な仕事内容」が2割強と多い状況です。

Q3-2. 羽幌町での生活の問題点と快適な生活を送るための工夫

「まちの成長」、「商業施設の集積」の順で多い状況です。

Q3-3. Uターンの可能性

「わからない」が5割、「就職することもあり得る」と「就職は考えられない」が2割強となっています。

Q3-4. Uターンする場合の有効な情報

「入社後の待遇」が2割強、「社風等の雰囲気」が2割弱となっています。

Q3-5. Uターンの検討

多い意見としては、「様々な業種の確保」、「まちの成長」及び「経済的な安定」となっています。

問3. 人口減少対策についての自由意見

「人口減少率の軽減」と「人口増加」に関する主要な意見は、「子育て支援」、「魅力的な商業・娯楽施設」等があげられます。

羽幌町のまちづくりについて必要なことに関する意見は、「魅力的な商業・娯楽施設」、「子育て支援」等があげられます。

② 一般向けアンケート調査

問1. 結婚について

Q1. 結婚の有無

「結婚している」が7割弱と最も多く、続いて「配偶者・パートナーはこれまで得たことはない」が2割強となっています。

Q1-1. 未婚者への結婚希望

「いずれは結婚したい」が4割弱と最も多い状況です。

Q2・Q3. 配偶者などがいることのメリット・デメリット

メリットは「精神的に安定」、デメリットは「生活スタイルが限定」が最も多い状況です。

問2. 子育てについて

Q1. 妊娠、出産、子育ての不安

「仕事に集中できない」、「精神的・肉体的に不安が大きい」、「余暇の時間減」が多い状況です。

Q2. 子どもの人数

1) 子どもがいらっしゃる方

「考えていたとおりである」が4割強と最も多く、続いて「1人ほしい（ほしかった）」が4割弱となっています。

2) 子どもがいらっしゃらない方

「2人ほしい（ほしかった）」が4割弱と最も多く、続いて「子どもの数は考えていない（いなかった）」が3割弱となっています。

Q3. 羽幌町での子育てしやすさ

「子育てしづらい」と「やや子育てしやすい」の合計が5割弱となっています。

Q4. 妊娠、出産、子育て支援策

満足度が低く、重要度が高い施策は「妊娠、出産に係る費用及び精神的な支援」、「育児・育児等の相談や保育環境、遊び場の充実」及び「子育て世代が集まりやすい環境の整備」となっています。

問3. 継続的な居住意向について

Q1. 継続的な居住意向

「町外に引っ越したい」、「現在の住宅に住み続けたい」の順で多くなっています。

問4. 人口減少対策について

Q1. 婚姻率を高める方法（自由意見）

多い意見として、「婚活イベントの開催」、「若年層の雇用の確保」、「経済的支援で結婚できる環境整備」、「出産支援・子育て支援の強化」及び「給与の向上」等があげられます。

[1. 調査の概要]

Q2. 出生率を高める方法（自由意見）

多い意見として、「経済的支援」、「出産祝い金」、「産婦人科・小児科の充実」、「保育料などの減額・支援」及び「産休・育休の取りやすい職場環境」等があげられます。

Q3. 人口減少に歯止めをかける方法（自由意見）

多い意見として、「働ける場所・働きやすい環境づくり」、「医療・介護の環境づくり」、「移住者や地元出身者が来たくなり、戻りたくなるまちづくり」及び「町の魅力を伝えるイベントの開催」等があげられます。

Q4. UIJを増やす方法（自由意見）

多い意見として、「働き口があること」、「UIJ ターン向けの住宅補助・住居の用意」、「安定した生活ができる給与がある」、「子育て支援策の充実」及び「就きたい職業を選択できる」等があげられます。

Q5. 若者の職を確保するための重点産業分野

「医療・福祉産業」、「観光産業」の順で多くなっています。

Q6. 20代、30代の女性の転出を防ぐための対策（自由意見）

多い意見として、「雇用の確保」、「商業施設の充実」、「婚活イベントの開催」、「経済的な支援」及び「住環境整備」等があげられます。

Q7. 「人口減少対策」や「交流人口を増加させる施策」

満足度が低く、重要度が高い施策は「自然公園や道の駅等の適正管理」、「公共施設等解体跡地や空き家バンク、賃貸情報など既存資源の活用」及び「公営住宅や民間賃貸住宅建設助成など新たな住宅整備」となっています。

Q8. 「住みよい環境のための施策」

満足度が低く、重要度が高い施策は「④介護向け人材の育成」と「③地域医療に従事する看護師等の育成」となっています。

Q9. ブランド化していくものとして効果的なもの（自由意見）

多い意見として、「道の駅の充実、刷新」、「海産物」、「天売島・焼尻島」、「甘エビ以外の地域食材」及び「サンセットビーチと夕日の魅力」等があげられます。

問5. 回答者属性（主要なものを抜粋）

Q1. 性別と年齢

1) 性別

「女性」が5割強、「男性」が4割弱となっています。

2) 年齢

「30歳代」が4割弱と最も多く、続いて「40歳代」が3割弱となっています。

Q2. 職業

「公務員・団体職員」が3割強と最も多く、続いて「パート・アルバイト」が2割弱となっています。

③ 転入者向けアンケート調査

Q 1. 性別と年齢

1) 性別

「男性」が 8 割弱、「女性」が 3 割弱となっています。

2) 年齢

「20 歳代」が 4 割弱と最も多い状況です。

Q 2. 職業

「公務員・団体職員」が 8 割と最も多い状況です。

Q 3. 出身地

「北海道内」が 8 割強と最も多い状況です。

Q 4. 転入前後の家族構成

大部分は、転入により「一人世帯」となった方が多い状況です。

Q 5. 転入前の住まい

「札幌市」が最も多い状況です。

Q 6. 現在の住まい

「南〇条」が最も多い状況です。

Q 7. 転入した時の気持ち

「羽幌町に魅力を感じて転入した」が 2 件のみで、他は全て「その他」となっています。

Q 8. 転入理由

「仕事の都合」が 9 割強となっています。

Q 8-1. 仕事の都合の内容

「転勤」が 5 割を占めています。

Q 9・Q 10. 羽幌町居住の魅力と不満

魅力は、「自然環境」が最も多く、続いて「食べ物がおいしい」、「日常生活の利便性」の順となっています。

不満は、「日常生活の利便性」が最も多く、続いて「物価が高い」と「医療環境」となっています。

Q 11. 羽幌町居住の満足度

「どちらかといえば不満」が 4 割強と最も多い状況です。

Q 12. 居住の継続意向

「将来は町外に引っ越さざるを得ない」が 5 割強と最も多い状況です。

Q 13. 人口減少対策などについての自由意見

代表的な意見として、「島留学の学生を呼び込む」、「医療サービスの質の向上」があげられます。

④ 転出者向けアンケート調査

Q 1. 性別と年齢

1) 性別

「男性」が 6 割強、「女性」が 3 割強となっています。

2) 年齢

「50 歳代」と「60 歳代」が 2 割強と最も多い状況です。

Q 2. 職業

「公務員・団体職員」が 6 割強となっています。

Q 3. 出身地

「北海道内」が 7 割弱と最も多い状況です。

Q 4. 転出前後の家族構成

大部分は、転出により「一人世帯」が減少し、「夫婦のみ世帯」や「夫婦と子ども世帯」が増加する状況です。

Q 5. 転出前の住まい

「南〇条」、「幸町」及び「栄町」が多い状況です。

Q 6. 現在の住まい

「札幌市」が最も多く、続いて「旭川市」、「帯広市」と「美瑛町」の順となっています。

Q 7. 転出した時の気持ち

転出したい・したくないの「どちらともいえない」が 4 割と最も多い状況です。

Q 8. 転出理由

「仕事の都合」が 7 割強と大部分を占めます。

Q 8-1. 仕事の都合の内容

「転勤」が 6 割強と最も多い状況です。

Q 9・Q 10. 羽幌町居住の魅力と不満

魅力は、「食べ物おいしい」が最も多く、続いて「自然環境」、「日常生活の利便性」と「近所づきあい」の順となっています。

不満は、「日常生活の不便さ」が最も多く、続いて「病院など医療環境」、「道路・公園などの施設」の順となっています。

Q 11. 羽幌町居住の満足度

「どちらかといえば満足」が 6 割弱と最も多く、続いて「満足」が 2 割となっています。

Q 12. 再居住の意向

「住む気はない」が 4 割と多く、続いて「わからない」が 3 割強となっています。

Q 13. 人口減少対策などについての自由意見

代表的な意見として、「日常の買い物には困らなかった」、「親切で楽しく暮らせた」及び「人口減少は受け入れるべき」があげられます。

⑤ 企業向けアンケート調査

Q1. 業種

「建設会社・工事」が最も多く、続いて「飲食店」と「その他サービス」、「美容・理容」の順となっています。

Q2. 事業所の位置

「南〇条」に多くが立地しています。

Q3. 経営者の性別と年齢

1) 性別

「男性」が8割、「女性」が1割強となっています。

2) 年齢

「70 歳代」が3割強と最も多く、続いて「60 歳以上」が3割弱、「50 歳代」が2割強となっています。

Q4. 従業員、通勤の状況など（主要なもの）

1) 従業員の有無

「いる」が8割強となっています。

2) 従業員数

「10 人未満」が8割と最も多く、続いて「20 人未満」が1割強となっています。

3) 家族従業員の人数

「1 人」が5割、「2 人」が3割弱となっています。

4) 町外から通勤している従業員の人数

16 事業所で20 人となっています。

Q5. 5 年前からの従業員数の変化

「変わっていない」が最も多く、「増加」が20 人、「減少」が35 人となっています。

Q6. 従業員の年齢構成（現在・理想）

若返りを理想としています。

Q7. 後継者の状況

「後継者がいないため、自分の代で運営をやめようと思っている」が4割弱と最も多い状況です。

Q8. 事業継承マッチング支援

活用の有無は「どちらとも言えないが興味はある」が3割強となっています。

Q9. 企業の事業活性化や新たな事業展開に役立つと考えられる支援内容

満足度が低く、重要度が高い施策は「工場立地支援や各種学校との連携による新規雇用」と「地産地消や企業間連携など6次産業化の推進」となっています。

Q10・Q11. U・I・Jターンによる人材雇用策と人口減少対策などについての自由意見

「雇用支援」が最も多く、続いて「企業誘致」、「地域医療・福祉の充実」の順となっています。

代表的な自由意見は、「子育て世代への経済的な支援」や「地域医療の充実」等があげられます。

2. アンケート調査結果

以下に(1) 高校生アンケート調査、(2) 一般向けアンケート調査、(3) 転入者向けアンケート調査、(4) 転出者向けアンケート調査及び(5) 企業向けアンケート調査の結果をそれぞれ整理します。

(1) 高校生アンケート調査

問1. あなたご自身について、お答えください。

Q1. 「性別」と「学年」をお答えください。(それぞれ一つに〇)

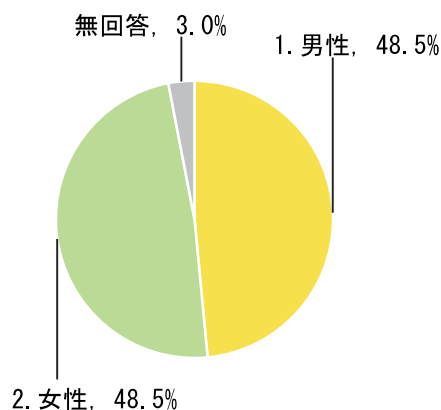
1) 性別

性別は「1.男性」、「2.女性」とも48.5%と同数となっています。

2015年調査は2024年調査と同様の傾向となっています。

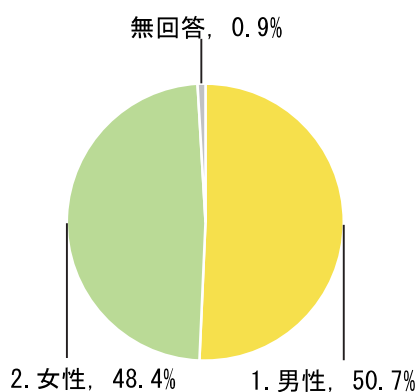
図表 2-1 性別 (2024 年調査)

番号	選択肢	回答数
1	男性	64
2	女性	64
3	無回答	4
合計		132



図表 2-2 性別 (2015 年調査)

番号	選択肢	回答数
1	男性	114
2	女性	109
3	無回答	2
合計		225



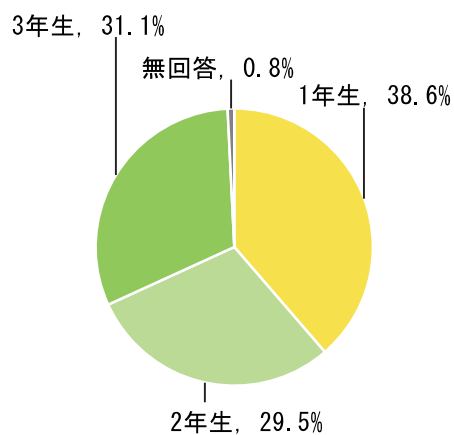
2) 学年

学年は「1 年生」が 38.6%と最も多く、続いて「3 年生」が 31.1%、「2 年生」が 29.5%の順となっています。

2015 年調査は「3 年生」、「1 年生」、「2 年生」の順で多くなっています。

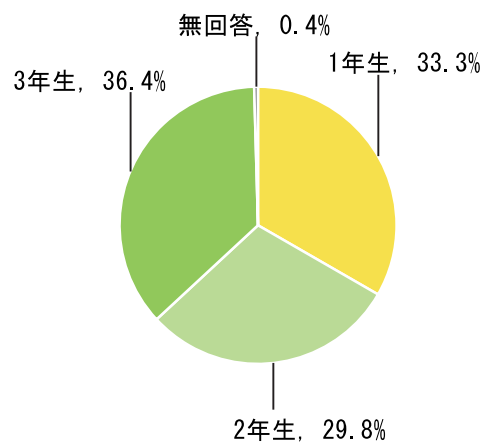
図表 2-3 学年 (2024 年調査)

番号	選択肢	回答数
1	1 年生	51
2	2 年生	39
3	3 年生	41
無回答		1
合計		132



図表 2-4 学年 (2015 年調査)

番号	選択肢	回答数
1	1 年生	75
2	2 年生	67
3	3 年生	82
無回答		1
合計		225



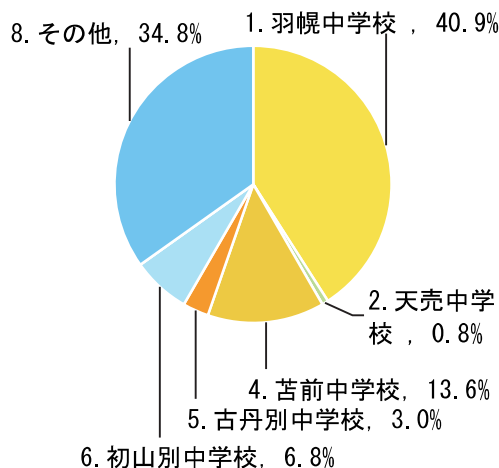
Q2. あなたの出身中学校をお答えください。

出身中学校は「1.羽幌中学校」が40.9%と最も多く、続いて「4.苫前中学校」が13.6%、「6.初山別中学校」が6.8%の順となっています。

2015年調査と比較すると「1.羽幌中学校」が減少する一方で、「8.その他中学校」が大きく増加し、様々な中学校を出身とする状況となっています。

図表 2-5 出身中学校（2024年調査）

番号	選択肢	回答数
1	羽幌中学校	54
2	天売中学校	1
3	焼尻中学校	0
4	苫前中学校	18
5	古丹別中学校	4
6	初山別中学校	9
7	鬼鹿中学校	0
8	その他	46
無回答		0
合計		132

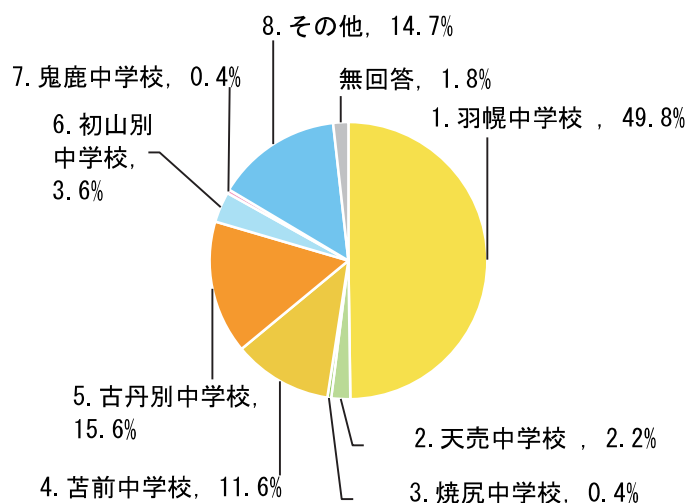


▽その他の中学校

空知振興局（2）、石狩振興局（20）、日高振興局（2）、上川振興局（3）、留萌振興局（11）、宗谷振興局（1）、オホーツク振興局（2）、埼玉県（1）、千葉県（1）、三重県（1）、大阪府（1）、都府県内訳不明（1）／46校

図表 2-6 出身中学校（2015年調査）

番号	選択肢	回答数
1	羽幌中学校	112
2	天売中学校	5
3	焼尻中学校	1
4	苫前中学校	26
5	古丹別中学校	35
6	初山別中学校	8
7	鬼鹿中学校	1
8	その他	33
無回答		4
合計		225



▽その他の中学校

石狩振興局（17）、上川振興局（1）、留萌振興局（2）、宗谷振興局（1）、根室振興局（1）、その他の未記入（10）／計32

問2. 高校卒業後の進路や職業などについて、お答えください。

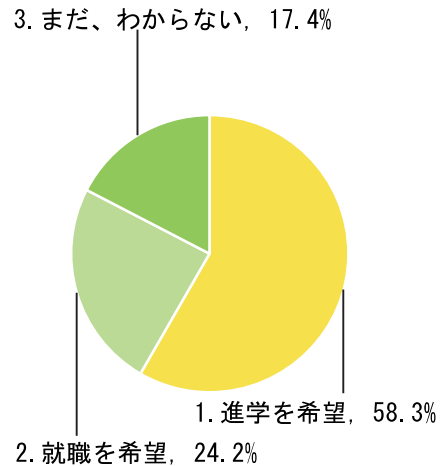
Q1. 卒業後は、進学又は就職のどちらを希望しますか。(一つに○、市町村を記載)

卒業後の進路は「1.進学を希望」が 58.3%と最も多く、続いて「2.就職を希望」が 24.2%、「3.まだわからない」が 17.4%の順となっています。

2015 年調査と比較すると、「1.進学を希望」が 17 ポイント増加しています。

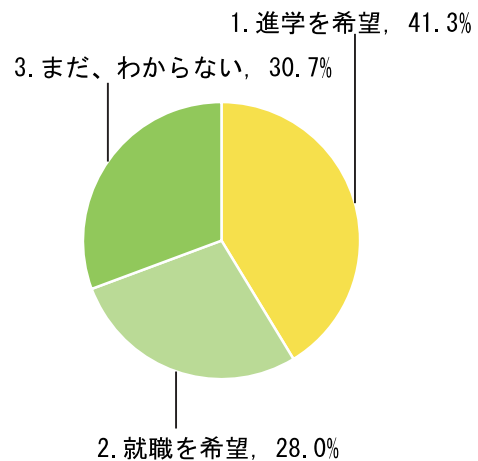
図表 2-7 卒業後の進路（2024 年調査）

番号	選択肢	回答数
1	進学を希望	77
2	就職を希望	32
3	まだ、わからない	23
合計		132



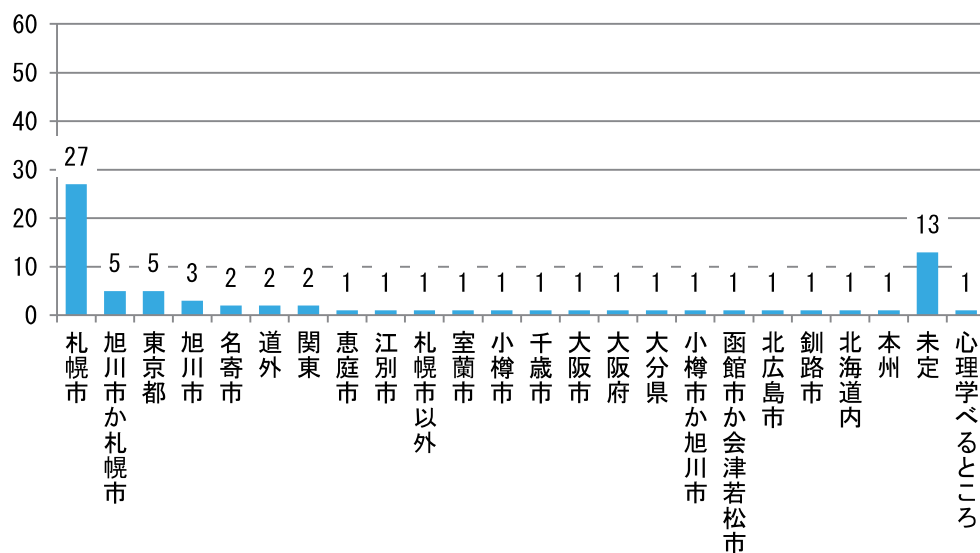
図表 2-8 卒業後の進路（2015 年調査）

番号	選択肢	回答数
1	進学を希望	93
2	就職を希望	63
3	まだ、わからない	69
合計		225

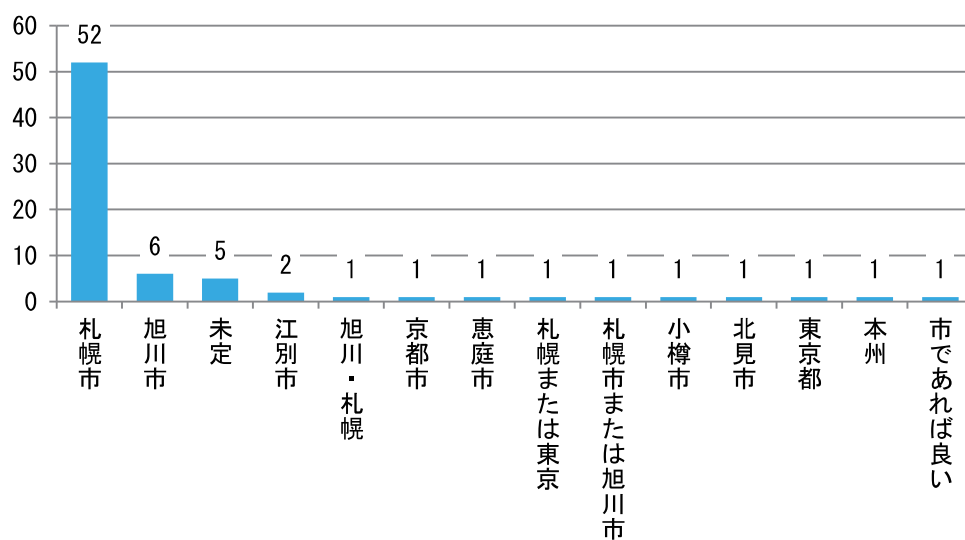


①進学を希望する市町村

札幌市が27件と最も多くなっていますが、2015年調査と比較すると広域化と分散化の傾向にあります。



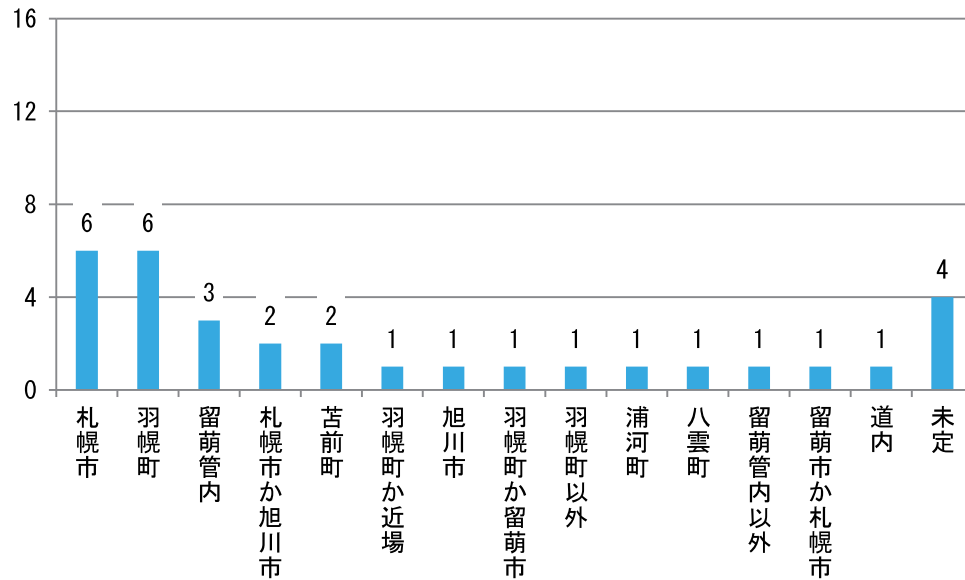
図表 2-9 進学を希望する市町村（2024年調査）



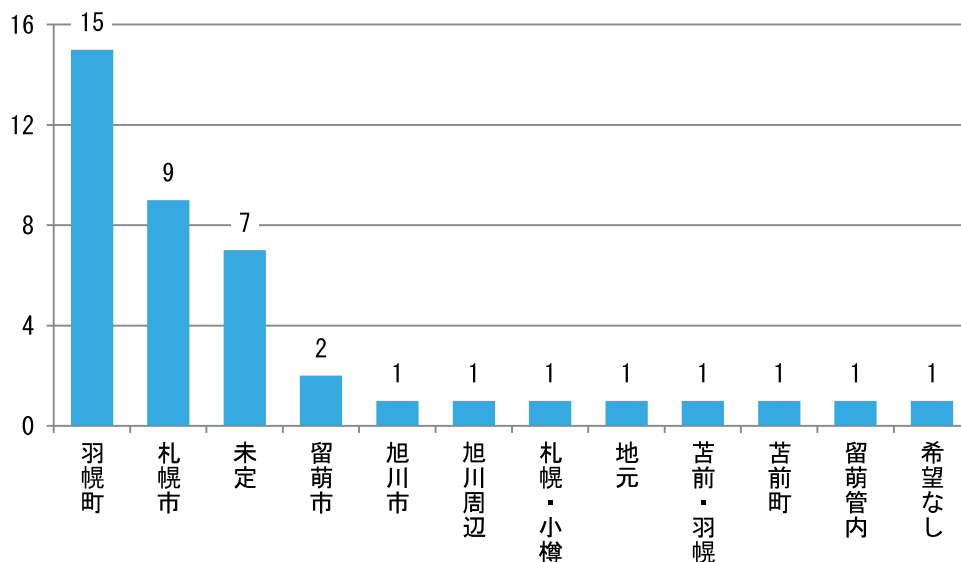
図表 2-10 進学を希望する市町村（2015年調査）

②就職を希望する市町村

「羽幌町」と「札幌市」が6件と最も多い状況です。2015年調査と比較すると、「羽幌町」の回答が減少し、かつ分散化の傾向となっています。



図表 2-11 就職を希望する市町村（2024年調査）

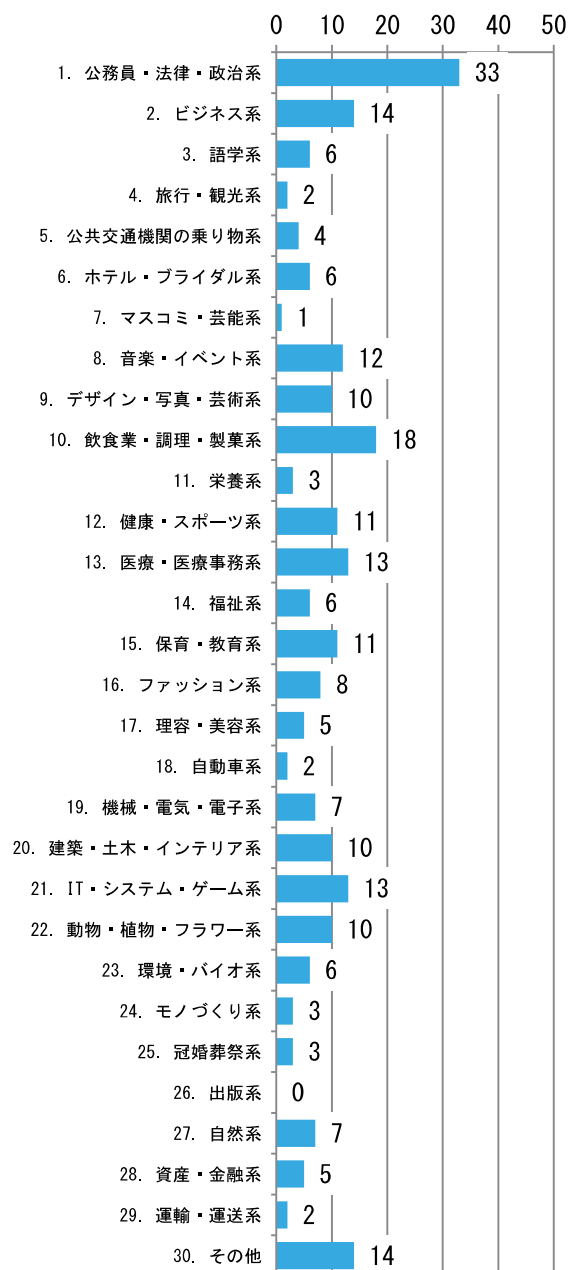


図表 2-12 就職を希望する市町村（2015年調査）

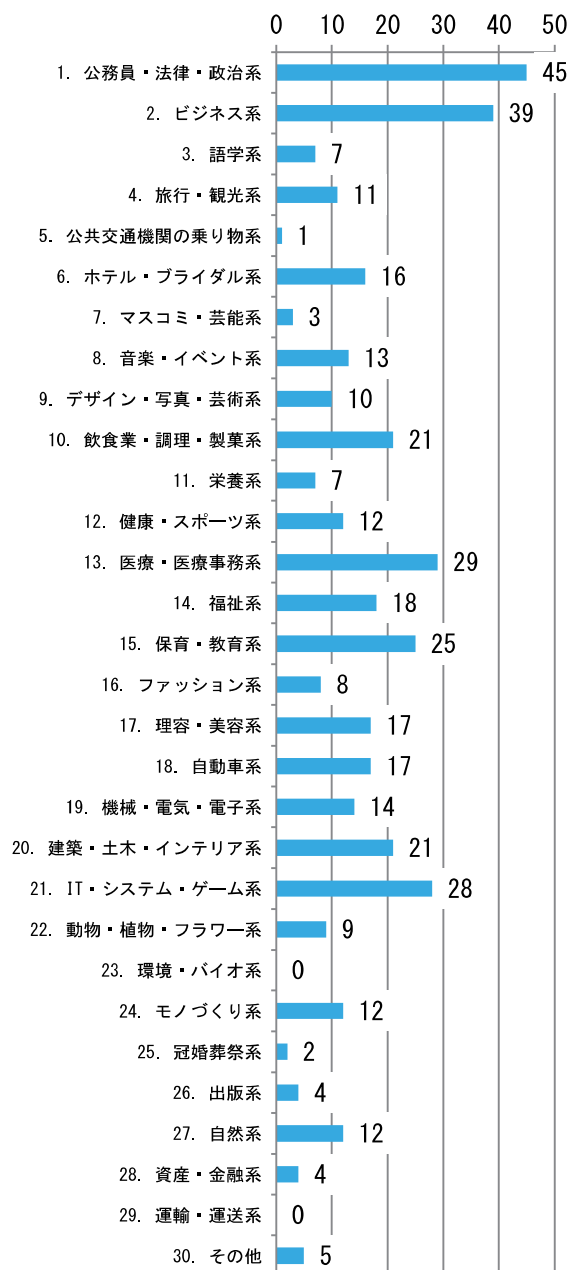
Q2. 将来どのような業種への就職を希望しますか。(三つまで○)

就職を希望する業種は、「1.公務員・法律・政治系」が33件と最も多く、続いて「10.飲食業・調理・製菓系」が18件、「2.ビジネス系」が14件の順となっています。

2015年調査と比較すると、「2.ビジネス系」と「13.医療・医療事務系」が減少しています。



図表 2-13 将来、就職を希望する業種
(2024年調査)



図表 2-14 将来、就職を希望する業種
(2015年調査)

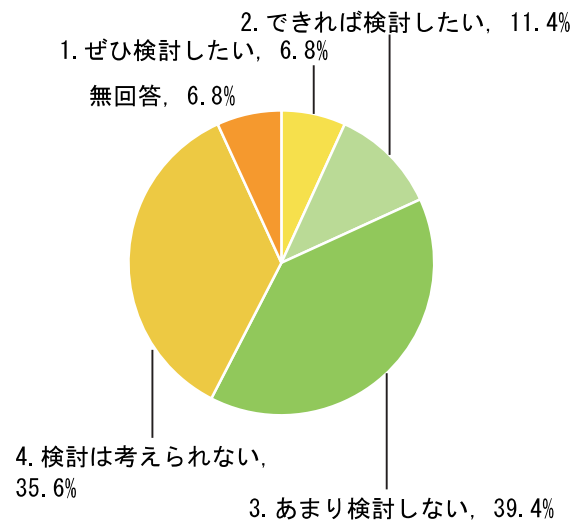
Q3. 羽幌町内に希望する業種の雇用先があれば、あなたは、羽幌町での就職（進学後を含む。）を検討しますか。（一つに○）

羽幌町内に希望する業種がある場合の就職可能性は、「3.あまり検討しない（39.4%）」と「4.検討は考えられない（35.6%）」の合計が75.0%となっています。

2015年調査と比較すると、同じ回答の合計が12.3ポイント増加しています。

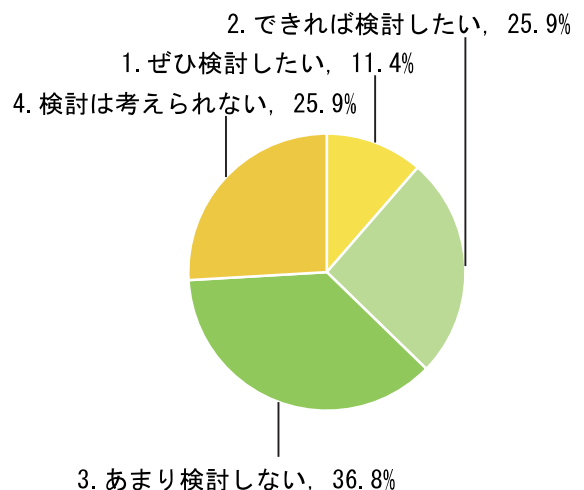
図表 2-15 羽幌町内に希望する業種がある場合の就職可能性（2024年調査）

番号	選択肢	回答数
1	ぜひ羽幌町での就職を検討したい	9
2	できれば羽幌町での就職を検討したい	15
3	あまり羽幌町での就職を検討してみたいと思わない	52
4	羽幌町での就職検討は考えられない	47
無回答		9
合計		132



図表 2-16 羽幌町内に希望する業種がある場合の就職可能性（2015年調査）

番号	選択肢	回答数
1	ぜひ羽幌町での就職を検討したい	25
2	できれば羽幌町での就職を検討したい	57
3	あまり羽幌町での就職を検討してみたいと思わない	81
4	羽幌町での就職検討は考えられない	57
無回答		0
合計		220



「1.ぜひ羽幌町での就職を検討したい」を回答した理由

国の方針	意見の集約	代表的な意見
①地方に仕事をつくる	・親の仕事を経ぐ(2件)	・農家を継ぐ 等
	・水産業に関わった仕事をしたい	・水産業に関わりたい
	・地元で働きたい	・地元で働くことが夢
②人の流れをつくる	・地元を離れるのは不安(4件)	・仕事体験、住み慣れた土地 等
③結婚・出産・子育ての希望をかなえる	・待遇が良ければ場所はこだわらない	・待遇さえ良ければ
その他	—	・恩返ししたい

「2.できれば羽幌町で就職を検討したい」を回答した理由

国の方針	意見の集約	代表的な意見
①地方に仕事をつくる	・実家から通勤できる(8件)	・実家から近い、親を頼れる、卒業後に戻りたい 等
	・就職したい業種がある(2件)	・バス会社へ就職したい、出前講座で良い企業があった
②人の流れをつくる	・羽幌町に親しい人がいるから	・親しい人がいる
④魅力的な地域をつくる	・地元に着がある	・お世話になった地域

「3.あまり羽幌町での就職を検討してみたいと思わない」を回答した理由

国の方針	意見の集約	代表的な意見
①地方に仕事をつくる	・大きなまちで働きたい(11件)	・都会、札幌、他の地域で働きたい 等
	・就職したい職種がない(9件)	・やりたい職業がない、職業に限られる、働きたい場所が他の地域にある 等
	・可能性を広げたい(4件)	・経験を積みたい、羽幌にはない職業をしたい 等
	・就職について考えていない(4件)	・特に決まっていない 等
	・町内にどのような企業があるかわからない	・どのような就職先があるかわからない
	・独立したい	・親元から独立したい
②人の流れをつくる	・羽幌町と関りが少ない(6件)	・羽幌に関りがなく、実家から遠い、地元で働きたい場所がある 等

③ 結 婚 ・ 出 産 ・ 子 育 て の 希 望 を か な える	・ 経済的支援がない	・ お金の支援がない
④ 魅力的な地 域をつくる	・ 便利で大きいまちに居住したい (7 件)	・ 買物しやすい、商業施設が多い、様々な まちで生活してみたい 等

「4.羽幌町での就職検討は考えられない」を回答した理由

国の方針	意見の集約	代表的な意見
① 地方に仕事 をつくる	・ 就職したい職種がない (9 件)	・ IT 系に勤めたい、町内にはやりたい職 業がない、面白い仕事がない 等
	・ 大きなまちで働きたい (7 件)	・ 長年暮らした地域で働きたい、札幌や道 外で働きたい 等
	・ 就職について考えていない (2 件)	・ 就職についてまだ考えていない
	・ 町内にどのような企業があるか 知らない	・ あまり知らない
④ 魅力的な地 域をつくる	・ 便利で大きいまちに居住したい (15 件)	・ 若者が満足するまち、娯楽施設が少ない、 地方都市だから、都会から離れている 等
	・ 羽幌町に愛着がない (2 件)	・ 愛着がわくまで居住していない

Q3-1. Q3で 1、または、2 をお答えの方への質問です。羽幌町で就職を検討するにあたって、どのような情報があると良いですか。(あてはまるもの全てに○)

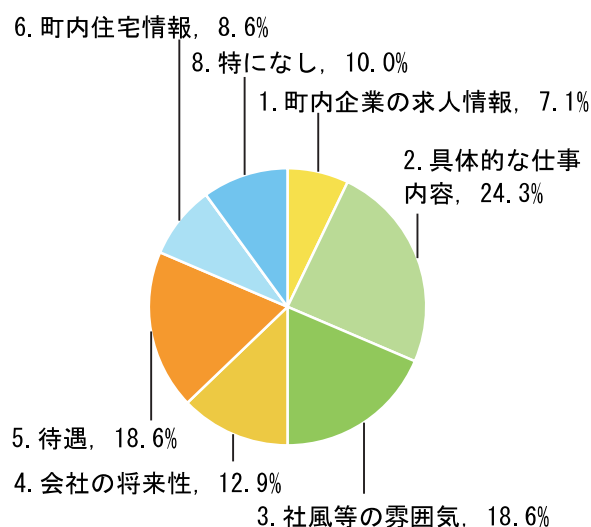
羽幌町内での就職を検討する場合の情報は、「2.具体的な仕事の内容」が 24.3%と最も多く、続いて「3.社風等の雰囲気」と「5.待遇」が 18.6%の順となっています。

2015 年調査と比較すると同様の傾向となっています。

図表 2-17 羽幌町内での就職を検討する場合の情報（2024 年調査）

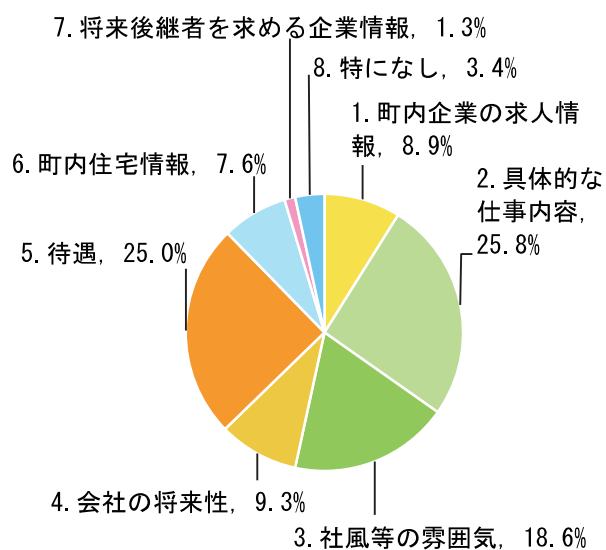
番号	選択肢	回答数
1	羽幌町内の企業だけを特定した求人情報	5
2	具体的な仕事内容	17
3	社風や社内の雰囲気	13
4	会社の将来性	9
5	入社後の待遇（給与条件、休暇等）	13
6	羽幌町内の住宅情報（空家情報、家賃等の諸条件）	6
7	現在は求人していないものの、将来、後継者を求める企業の情報	0
8	特になし	7
合計		70

※無回答 1 名。



図表 2-18 羽幌町内での就職を検討する場合の情報（2015 年調査）

番号	選択肢	回答数
1	羽幌町内の企業だけを特定した求人情報	21
2	具体的な仕事内容	61
3	社風や社内の雰囲気	44
4	会社の将来性	22
5	入社後の待遇（給与条件、休暇等）	59
6	羽幌町内の住宅情報（空家情報、家賃等の諸条件）	18
7	現在は求人していないものの、将来、後継者を求める企業の情報	3
8	特になし	8
合計		236



Q3-2. Q3で3、または、4をお答えの方への質問です。Q3の理由のほか羽幌町で生活するのにどのような問題があると感じていますか。また、どのような工夫をすれば快適な生活を送れると思いますか。(自由に意見を記載)

羽幌町内で就職を検討したくなるために必要なことを整理すると以下のとおりとなります。

国の方針	意見の集約	代表的な意見
①地方に仕事をつくる	・様々な業種の確保(12件)	・楽しい職業、やりたい仕事がある、IT系、幅の広い職種、やりがい 等
	・経済的な安定(7件)	・金銭面の援助、サポート 等
	・町内企業数の確保(4件)	・職場を増やす、働きたいと思える場所 等
	・町内企業の情報発信	・就職先のPR
	・職場の福利厚生	・仕事のモチベーション、イベント
②人の流れをつくる	・居住に便利な施設(7件)	・暮らしやすい、公共施設が充実、利便さ、魅力 等
③結婚・出産・子育ての希望をかなえる	・仕事を通じた交流(2件)	・新たな人間関係、出会い
④魅力的な地域をつくる	・まちの成長(18件)	・都会のイメージ、人口増加、将来性や希望 等
	・商業施設の集積(17件)	・商業・娯楽施設、スーパー、飲食店、買い物しやすい 等
	・まちの活性化(5件)	・活気、にぎやかさ、都会感 等
	・羽幌町ならではの観光資源(3件)	・特産品や観光地、羽幌の強みを活かす 等

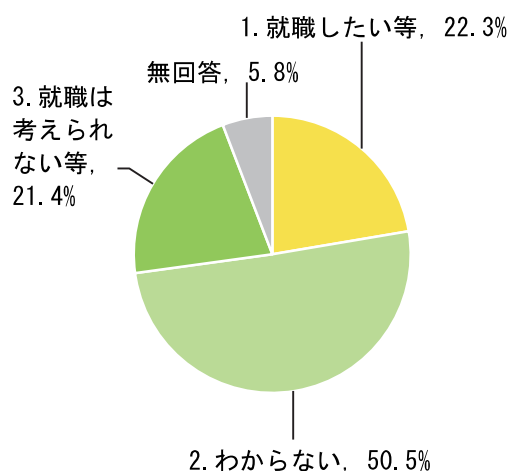
Q3-3. Q3で3、または、4をお答えの方への質問です。一度、出身地以外に就職し、しばらくたった後、また、出身地に就職（いわゆるUターン）することは考えられますか。（一つに○）

Uターンの可能性は「2.わからない」が 50.5%と最も多く、「1.就職したい等」の 22.3%と「3.就職は考えられない等」の 21.4%は概ね同数となっています。

2015 年調査と比較すると、「2.わからない」が 7.5 ポイント減少し、「1.就職したい等」が 12.2 ポイント増加しています。

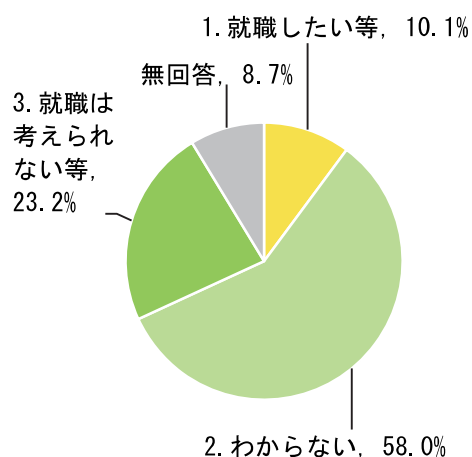
図表 2-19 Uターンの可能性（2024 年調査）

番号	選択肢	回答数
1	いずれは出身地で就職したい。または、就職することもあり得る	23
2	わからない	52
3	出身地で就職することは、あまり考えられない、または、全く考えられない	22
無回答		6
合計		103



図表 2-20 Uターンの可能性（2015 年調査）

番号	選択肢	回答数
1	いずれは出身地で就職したい。または、就職することもあり得る	14
2	わからない	80
3	出身地で就職することは、あまり考えられない、または、全く考えられない	32
無回答		12
合計		138



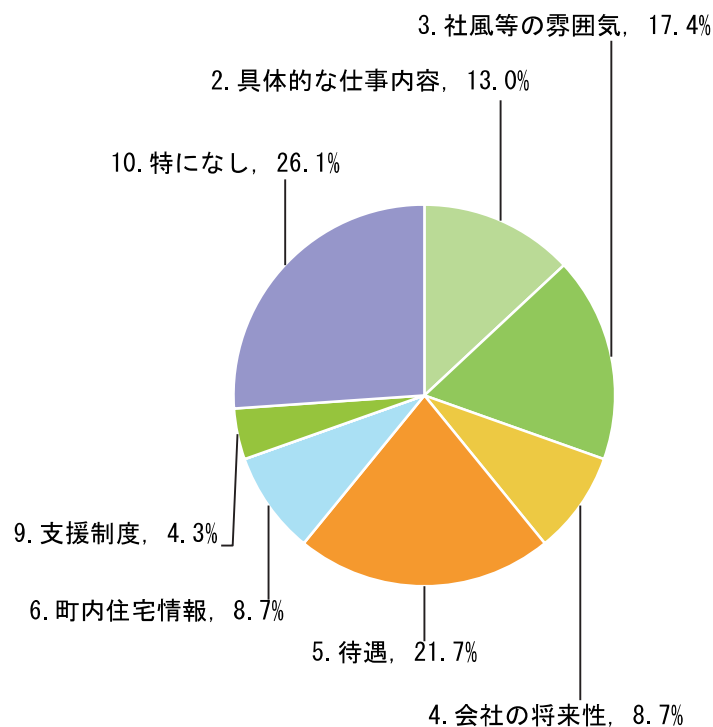
Q3-4. Q3-3で1をお答えの方への質問です。Uターンする場合、どのような情報があると便利だと感じますか。(一つに○)

Uターン時に必要な情報は、「10.特になし」が26.1%と最も多く、続いて「5.待遇」が21.7%、「3.社風等の雰囲気」が17.4%の順となっています。

2015年調査と比較すると、「10.特になし」が13.6ポイント増加し、「2.具体的な仕事内容」が12.0ポイント減少しています。

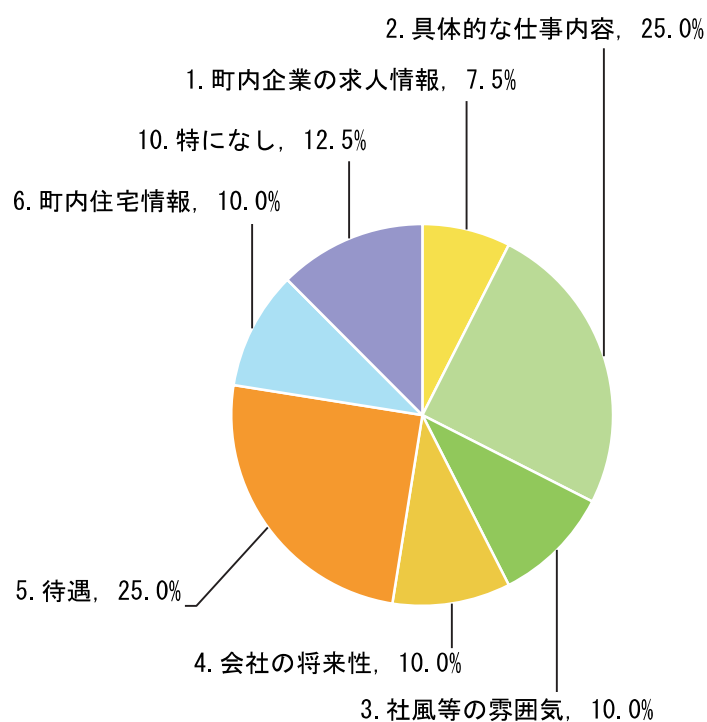
図表 2-21 Uターン時に必要な情報（2024年調査）

番号	選択肢	回答数
1	羽幌町内の企業だけを特定した求人情報	0
2	具体的な仕事内容	3
3	社風や社内の雰囲気	4
4	会社の将来性	2
5	入社後の待遇（給与条件、休暇等）	5
6	羽幌町内の住宅情報（空家情報、家賃等の諸条件）	2
7	現在は求人していないものの、将来、後継者を求める企業の情報	0
8	Uターン時にかかわらず、定期的に役場から発信される町内情報	0
9	奨学資金返還支援などのUターンの方への支援制度	1
10	特になし	6
合計		23



図表 2-22 Uターン時に必要な情報（2015 年調査）

番号	選択肢	回答数
1	羽幌町内の企業だけを特定した求人情報	3
2	具体的な仕事内容	10
3	社風や社内の雰囲気	4
4	会社の将来性	4
5	入社後の待遇（給与条件、休暇等）	10
6	羽幌町内の住宅情報（空家情報、家賃等の諸条件）	4
7	現在は求人していないものの、将来、後継者を求める企業の情報	0
8	Uターン時にかかわらず、定期的に役場から発信される町内情報	-
9	奨学資金返還支援などのUターンの方への支援制度	-
10	特になし	5
合計		40



Q3-5. 前向きにUターンを検討するために必要なこと

前向きにUターンを検討するために必要なことを整理すると以下のとおりとなります。

国の方針	意見の集約	代表的な意見
①地方に仕事をつくる	・様々な業種の確保（10件）	・IT系、職業の選択肢、仕事環境の向上、自分に合った仕事 等
	・町内企業数の確保（3件）	・仕事場が増える、働く選択肢 等
	・休暇の確保	・休日
	・大手企業の誘致	・大手企業があるとUターン
②人の流れをつくる	・居住に便利な施設（4件）	・病院、住みやすさ、子育てしやすさ 等
	・個々の意識改革	・個々の気持ち
③結婚・出産・子育ての希望をかなえる	・経済的な安定（8件）	・金銭面の援助、十分な生活ができる所得安定した収入 等
	・仕事を通じた交流	・出会い
④魅力的な地域をつくる	・まちの成長（9件）	・人口増加、まちの発展、将来性や希望、等
	・商業施設の集積（6件）	・買物しやすい、商業施設を増やす、遊べる場所 等
	・まちの魅力向上（5件）	・過ごしたいと思えるまち、魅力的なまち、魅力の再発見 等
	・まちの活性化（3件）	・活気、賑わい、活発
	・まちの魅力発信（3件）	・まちの良さの伝え方、知名度 等
⑤その他	—	・羽幌を好きになること

問3. 人口減少対策について、お答えください。

Q1. 羽幌町の人口の減少率を軽減、または、人口を増加させていくためのご意見等がありましたらお書きください。(自由に意見を記載)

人口の減少率を軽減、または人口を増加させるための意見を整理すると以下のとおりとなります。

国の方針	意見の集約	代表的な意見
①地方に仕事をつくる	・経済的な安定(4件)	・金銭面、若い人向けの支援 等
	・町内企業数の確保(2件)	・仕事場を増やす 等
	・大手企業の誘致	・大きい工場を建てる
	・求人情報の発信	・求人情報
②人の流れをつくる	・イベントの増加(7件)	・イベントを増やす、増毛町のように、廃止したイベントの復活 等
	・居住に便利な施設(6件)	・住まいや公共施設の充実、生活利便性の向上 等
	・Uターンの促進(3件)	・大学卒業後のUターンのしやすさ 等
	・移住者への支援(3件)	・支援金や設備を整える、移住者を増やす 等
③結婚・出産・子育ての希望をかなえる	・子育て支援(18件)	・出産時の支援、子どもを増やす、経済的な支援、支援の充実、給付金、子どもが遊べる場所、教育費の支援 等
	・婚活(2件)	・結婚して子どもを産む、出会い
④魅力的な地域をつくる	・魅力的な商業・娯楽施設(12件)	・中高生が楽しめる、映画館、大型スーパー、ファーストフード、店を増やす、国道沿道への集積 等
	・まちの魅力発信(8件)	・羽幌を前面に出す、知名度アップ、魅力のアピール、外部から人を呼ぶ 等
	・羽幌町ならではの魅力づくり(3件)	・聖地をつくる、まちを綺麗にする 等
	・まちの成長(3件)	・都会、発展 等
	・交通利便性の向上(2件)	・交通の便を良く 等
	・まちの活性化(2件)	・活性化
	・市町村合併	・合併
	・医療技術の向上	・平均寿命を上げる

Q2. 羽幌町のまちづくりについて必要だと思うことをお書きください。(自由に意見を記載)

羽幌町のまちづくりについて必要なことを整理すると以下のとおりとなります。

国の方針	意見の集約	代表的な意見
①地方に仕事をつくる	・経済的な安定（6件）	・財力、お金 等
	・町内企業数の確保	・仕事場を増やす
	・事業継承	・若者が何かを継ぐ
	・企業間の連携	・行動力と民間の団結力
	・官民による連携	・町民と役場の協力
②人の流れをつくる	・イベントの増加（3件）	・イベントで活性化 等
	・居住に便利な施設（2件）	・暮らしやすい、過ごしやすい地域
	・空き家の解体と土地の転売	・廃墟を壊して土地を売り出す
③結婚・出産・子育ての希望をかなえる	・子育て支援（9件）	・子ども達が楽しく過ごせる、教育面への経済支援、若者が参加しやすい 等
④魅力的な地域をつくる	・魅力的な商業・娯楽施設（16件）	・学生が遊べる、飲食チェーン店、キッチンカー 等
	・まちの魅力発信（6件）	・羽幌ならではの、特産品、インスタ、魅力のアピール 等
	・観光振興（6件）	・観光地、本土に観光資源を作る、お土産を販売する所 等
	・建築物を増やす（5件）	・建物の増加、改修 等
	・良好な環境を守る清掃活動（4件）	・海辺のごみを減らす、清掃活動 等
	・まちの成長（4件）	・人口増加 等
	・羽幌町ならではの魅力づくり（4件）	・羽幌ならではの、特産品の活用 等
	・まちの活性化（3件）	・経済交流の場、活気 等
	・まち並みの整備（3件）	・花壇、まち並み 等
	・道路交通網の整備	・交通・道路整備
	・公共施設の立地	・新しい施設があると良い
	・現状維持	・今までで良い
	・海鳥センターの活用	・海鳥を推す
	・医療施設の充実	・病院を増やす

(2) 一般向けアンケート調査

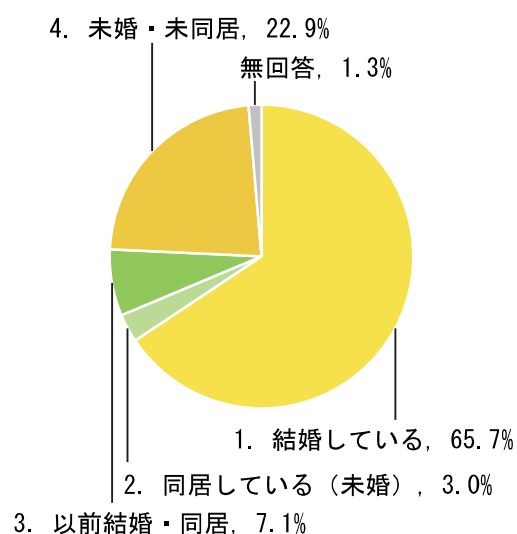
問1. 結婚について、お答えください。

Q1. あなたは結婚していますか。

結婚の有無は「1.結婚している」が65.7%と「4.未婚・未同居」の22.9%を上回っています。
2015年調査と比較すると、「4.未婚・未同居」が増加し、「1.結婚している」が減少しています。

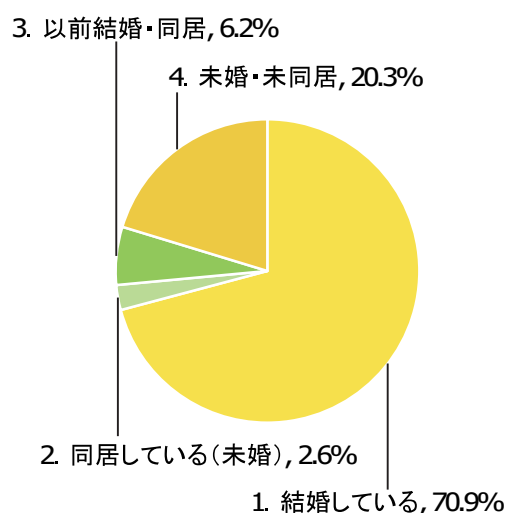
図表 2-23 結婚の有無（2024年調査）

番号	選択肢	回答数
1	結婚している (配偶者がいる)	195
2	未入籍で同居している (パートナーがいる)	9
3	配偶者・パートナーが以前いたことがある	21
4	配偶者・パートナーはこれまで得たことはない	68
無回答		4
合計		297



図表 2-24 結婚の有無（2015年調査）

番号	選択肢	回答数
1	結婚している (配偶者がいる)	241
2	未入籍で同居している (パートナーがいる)	9
3	配偶者・パートナーが以前いたことがある	21
4	配偶者・パートナーはこれまで得たことはない	69
無回答		0
合計		340



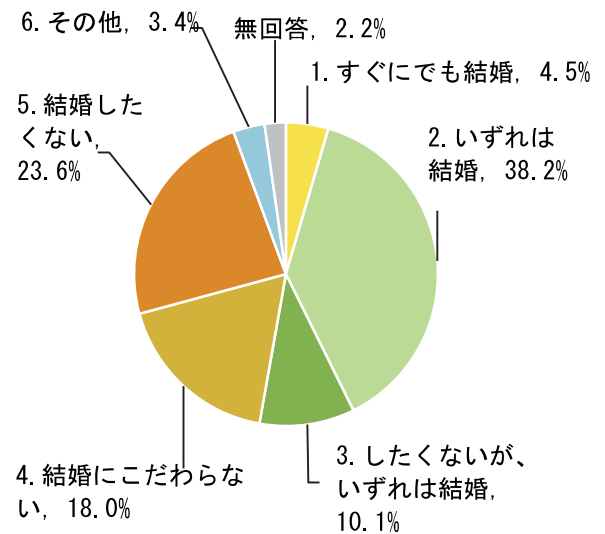
Q1-1. Q1で3、または、4をお答えの方への質問です。今後、結婚したいと思いますか。（一つに○）

結婚願望は「2.いずれは結婚」が38.2%と最も多く、続いて「5.結婚したくない」が23.6%、「4.結婚にこだわらない」が18.0%の順となっています。

2015年調査と比較すると、「2.いずれは結婚」が減少する分、「4.結婚にこだわらない」と「5.結婚したくない」が増加しています。

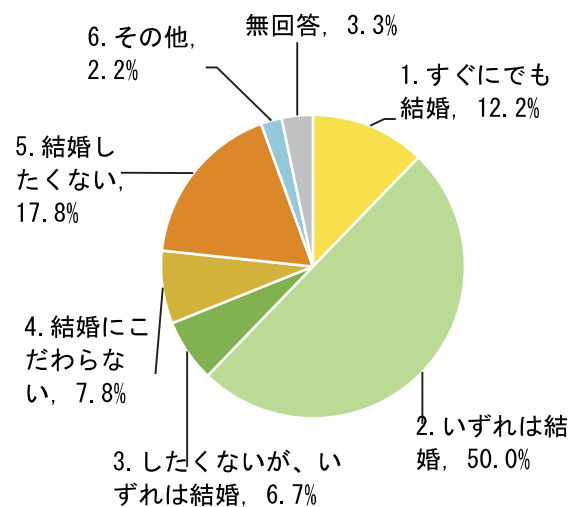
図表 2-25 結婚願望（2024年調査）

番号	選択肢	回答数
1	できればすぐにでも結婚したい	4
2	いずれは結婚したい	34
3	それほどしたくないが、いずれ結婚することになるだろう	9
4	戸籍上の結婚にこだわらないが、パートナーは欲しい	16
5	できれば結婚もしたくないし、パートナーも特に欲しいとは思わない	21
6	その他	3
無回答		2
合計		89



図表 2-26 結婚願望（2015年調査）

番号	選択肢	回答数
1	できればすぐにでも結婚したい	11
2	いずれは結婚したい	45
3	それほどしたくないが、いずれ結婚することになるだろう	6
4	戸籍上の結婚にこだわらないが、パートナーは欲しい	7
5	できれば結婚もしたくないし、パートナーも特に欲しいとは思わない	16
6	その他	2
無回答		3
合計		90



Q2. 配偶者（パートナー）を得ることによるメリット（いい影響や利点）は、どのようなことだと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

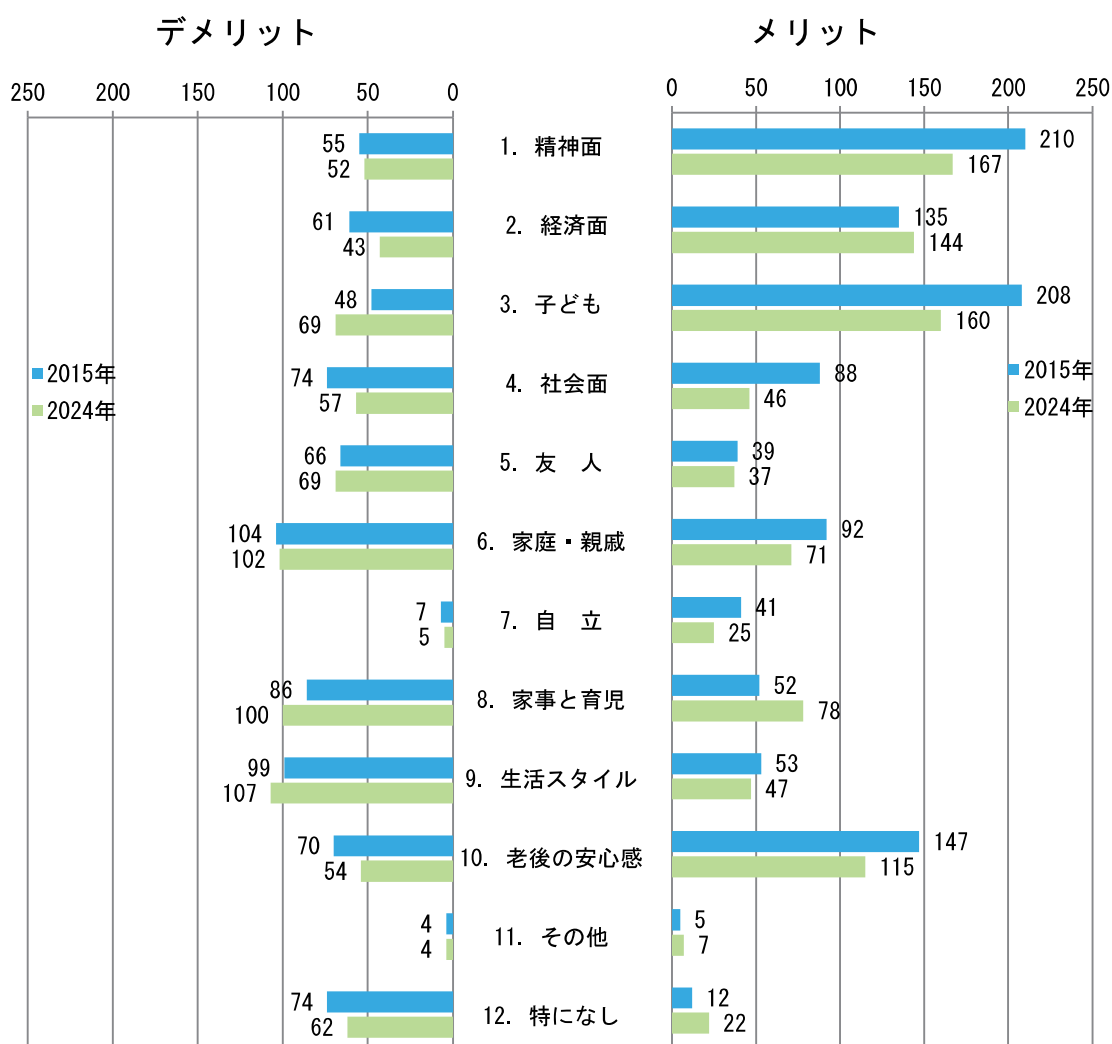
Q3. 配偶者（パートナー）を得ることによって生じる問題点は、どのようなことだと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

結婚することのメリットは「1.精神面」が167件と最も多く、続いて「3.子ども」が160件、「2.経済面」が144件の順となっています。

2015年調査と比較すると、同様の傾向となっています。

デメリットは「9.生活スタイル」が107件と最も多く、続いて「6.家族・親戚」が102件、「8.家事と育児」が100件の順となっています。

2015年調査と比較すると、上位にあたる3つの選択肢の順番が変わる程度で概ね同様の傾向となっています。



図表 2-27 結婚することのメリット・デメリット（2015年調査と2024年調査の比較）

問2. 子育てについて、お答えください。

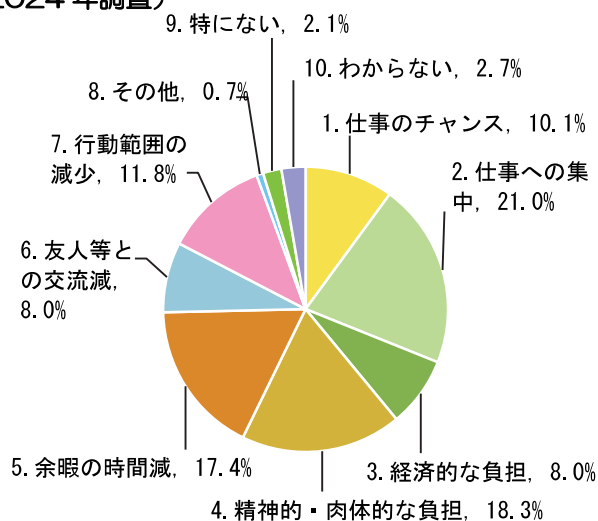
Q1. 子育ての経験にかかわらず、皆さんへの質問です。妊娠、出産、子育てに関する不安は、どのようなところにあると思いますか。(あてはまるもの全てに○)

妊娠、出産、子育てに関する不安は「2.仕事への集中」が21.0%と最も多く、続いて「4.精神的・肉体的な負担」が18.3%、「5.余暇の時間減」が17.4%となっています。

2015年調査と比較すると、同様の傾向となっています。

図表 2-28 妊娠、出産、子育てに関する不安（2024年調査）

番号	選択肢	回答数
1	仕事をするチャンスが減る（無くなる）	81
2	仕事に集中できない	169
3	経済的に苦しくなる	64
4	精神的・肉体的に負担が大きい	147
5	余暇の時間が持てない	140
6	家庭の外の人と交流する機会や時間が減る	64
7	行動範囲が狭くなる	95
8	その他（自由記述）	6
9	特にない	17
10	わからない	22
合計		805

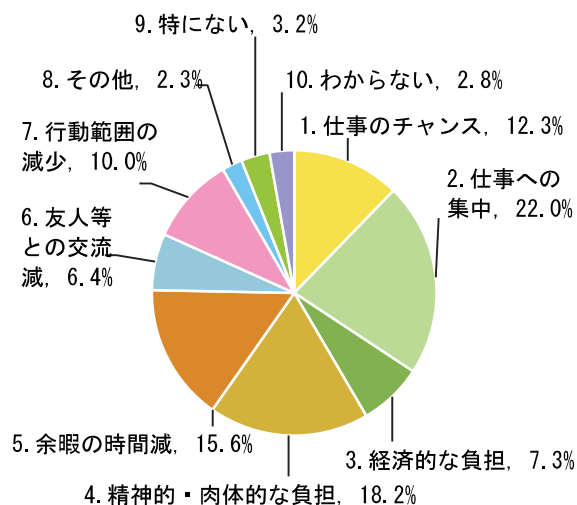


○その他の内容

- ・行政による子育て支援が確立していない
- ・妊娠は計画的にいかない
- ・生まれてくる子どもがかわいそうな世の中である
- ・安全に生み育てられる医療や子育てサポート環境が整っておらず不安
- ・医療環境が少なく、必要な時に医療を受けることができない
- ・仕事と子育ての両立が不安

図表 2-29 妊娠、出産、子育てに関する不安（2015年調査）

番号	選択肢	回答数
1	仕事をするチャンスが減る（無くなる）	106
2	仕事に集中できない	190
3	経済的に苦しくなる	63
4	精神的・肉体的に負担が大きい	157
5	余暇の時間が持てない	135
6	家庭の外の人と交流する機会や時間が減る	55
7	行動範囲が狭くなる	86
8	その他（自由記述）	20
9	特にない	28
10	わからない	24
合計		864



Q2. お子さんは何人ぐらいほしいですか（ほしかったですか）。 （一つに○）

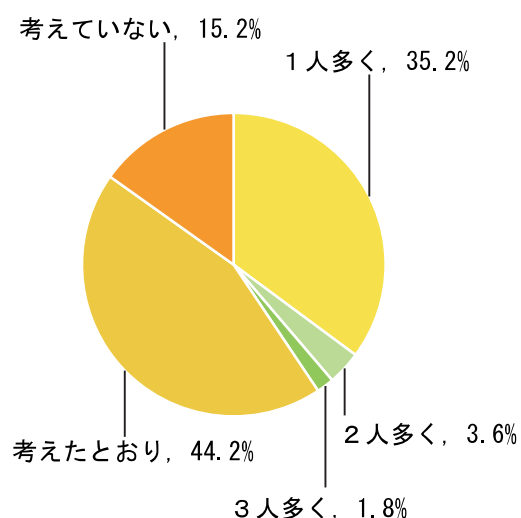
【子どもがいる世帯】

理想と現実の子どもの人数の差は「4.考えたとおり」が44.2%と最も多く、続いて「1人多く」が35.2%の順となっています。

2015年調査と比較すると、同様の傾向となっています。

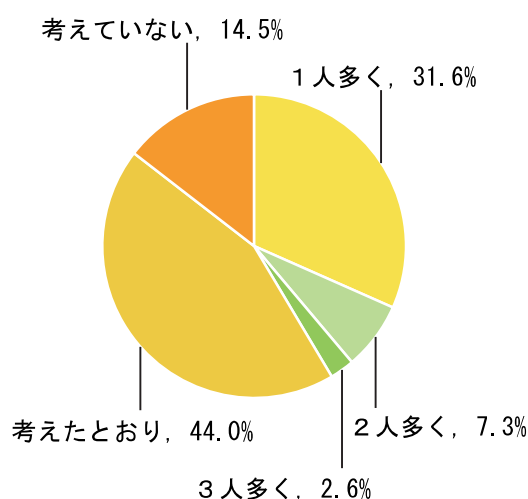
図表 2-30 理想と現実の子どもの人数の差（2024年調査）

番号	選択肢	回答数
1	1人ほしい（ほしかった）	58
2	2人ほしい（ほしかった）	6
3	3人ほしい（ほしかった）	3
4	現在の子どもの数は、考えていたとおりである	73
5	子どもの数は考えていない（いなかった）	25
合計		165



図表 2-31 理想と現実の子どもの人数の差（2015年調査）

番号	選択肢	回答数
1	1人ほしい（ほしかった）	61
2	2人ほしい（ほしかった）	14
3	3人ほしい（ほしかった）	5
4	現在の子どもの数は、考えていたとおりである	85
5	子どもの数は考えていない（いなかった）	28
合計		193



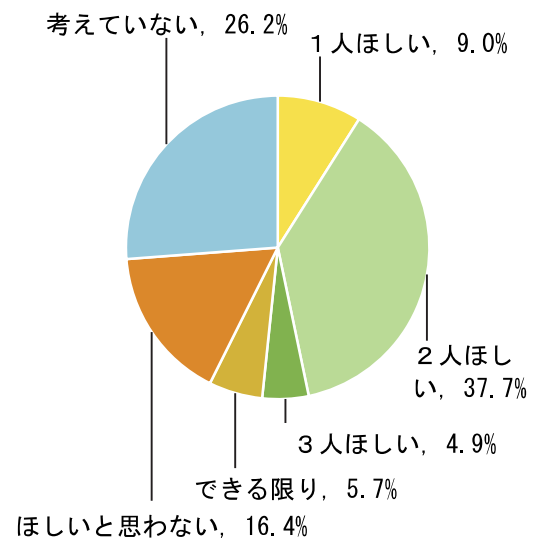
【子どもがいない世帯】

希望する子どもの人数は「2人ほしい」が37.7%と最も多く、続いて「考えていない」が26.2%、「ほしいとは思わない」が16.4%の順となっています。

2015年調査と比較すると、「ほしいとは思わない」が増加する分、「3人ほしい」、「できる限りほしい」が減少しています。

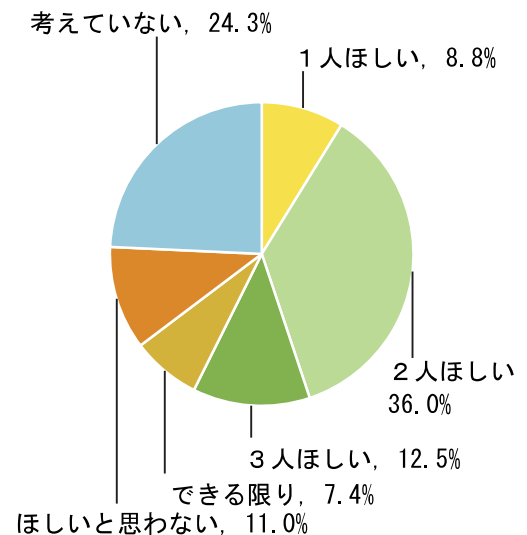
図表 2-32 希望する子どもの人数（2024年調査）

番号	選択肢	回答数
1	1人ほしい（ほしかった）	11
2	2人ほしい（ほしかった）	46
3	3人ほしい（ほしかった）	6
4	出来る限りほしい	7
5	ほしいとは思わない （思わなかった）	20
6	子どもの数は考えていない （いなかった）	32
合計		122



図表 2-33 希望する子どもの人数（2015年調査）

番号	選択肢	回答数
1	1人ほしい（ほしかった）	12
2	2人ほしい（ほしかった）	49
3	3人ほしい（ほしかった）	17
4	出来る限りほしい	10
5	ほしいとは思わない （思わなかった）	15
6	子どもの数は考えていない （いなかった）	33
合計		136



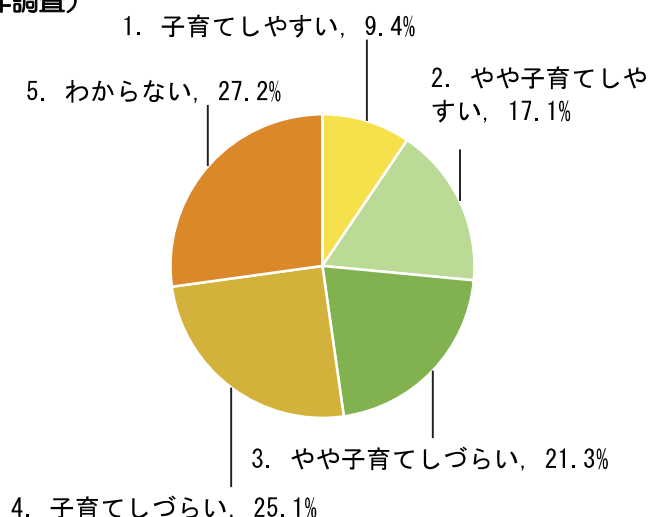
Q3. 羽幌町は、子育てしやすい環境にあると思いますか。(一つに○)

羽幌町の子育てしやすさは「5.わからない」が27.2%と最も多く、続いて「4.子育てしづらい」が25.1%、「3.やや子育てしづらい」が21.3%の順となっています。

2015年調査と比較すると、「2.やや子育てしやすい」、「4.子育てしづらい」とも増加しています。

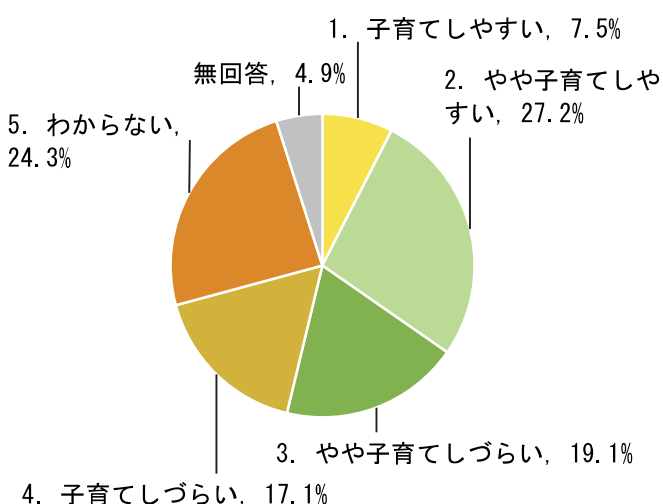
図表 2-34 羽幌町の子育てしやすさ (2024年調査)

番号	選択肢	回答数
1	子育てしやすい	27
2	やや子育てしやすい	49
3	やや子育てしづらい	61
4	子育てしづらい	72
5	わからない	78
無回答		0
合計		287



図表 2-35 羽幌町の子育てしやすさ (2015年調査)

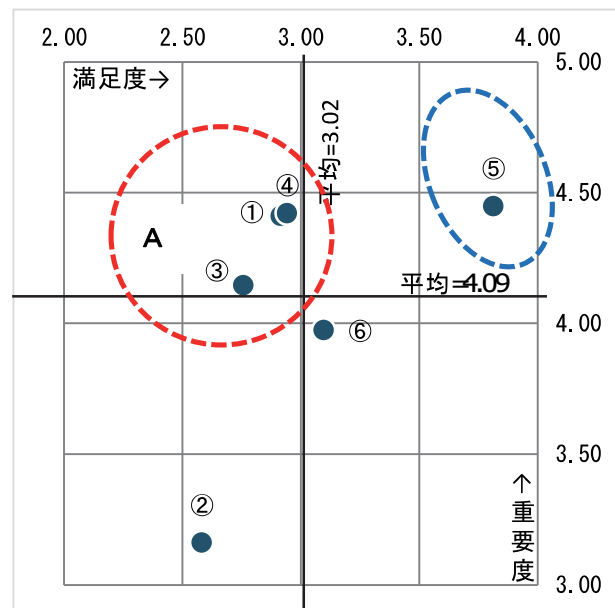
番号	選択肢	回答数
1	子育てしやすい	26
2	やや子育てしやすい	94
3	やや子育てしづらい	66
4	子育てしづらい	59
5	わからない	84
無回答		17
合計		346



Q4. 妊娠、出産、子育ての以下の支援策について、満足感と重要度をお答えください。(それぞれ一つずつ〇)

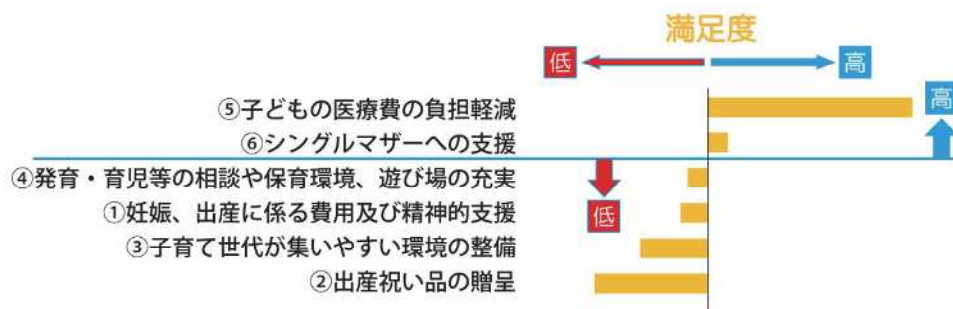
妊娠、出産、子育ての支援策について、満足度が低く重要度が高い施策「A」は「①妊娠、出産に係る費用及び精神的支援」、「④発育・育児等の相談や保育環境、遊び場の充実」及び「③子育て世代が集まりやすい環境の整備」となっています。

満足度が高く重要度が高い施策「B」は「⑤子どもの医療費の負担軽減」となっています。



図表 2-36 妊娠、出産、子育ての支援策についての満足度・重要度 (2024 年調査)

満足度が最も低い施策は「②出産祝い品の贈呈」、満足度及び重要度が最も高い施策は「⑤子どもの医療費の負担軽減」となっています。



図表 2-37 妊娠、出産、子育ての支援策についての満足度 (2024 年調査)



図表 2-38 妊娠、出産、子育ての支援策についての重要度 (2024 年調査)

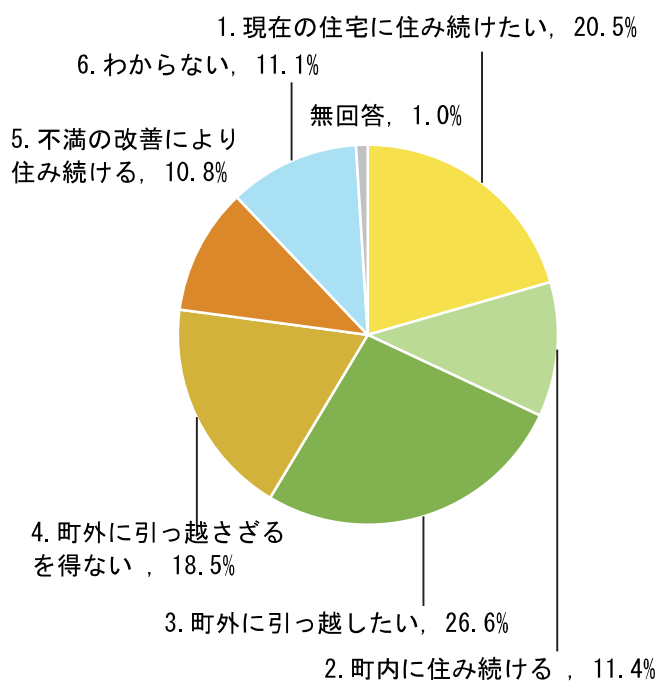
問3. 住み続けることについて、お答えください。

Q1. 今後も羽幌町に住み続けたいと思いますか。（一つに○）

羽幌町への継続的な居住意向は「3.町外に引っ越したい」が 26.6%と最も多く、続いて「1.現在の住宅に住み続けたい」が 20.5%、「4.町外に引っ越さざるを得ない」が 18.5%の順となっています。

図表 2-39 羽幌町への継続的な居住意向（2024 年調査）

番号	選択肢	回答数
1	現在の住宅にこれからも住み続けたい	61
2	転居するかもしれないが、羽幌町内に住み続けたい	34
3	将来は町外に引っ越したい	79
4	将来は町外に引っ越さざるを得ない	55
5	不満を感じている点が改善されれば、住み続けたい	32
6	わからない	33
無回答		3
合計		297



問4. 人口減少対策について、お答えください。

Q1. 婚姻率を高める方法として、効果的と思われる方法がありましたらお書きください。(自由に意見を記載)

婚姻率を高める方法として、効果的と思われる方法を「国の施策の方向」ごとに整理すると以下のとおりとなります。

国の施策の方向	意見
①地方に仕事をつくる	・若年層の雇用確保(12件)
②人の流れをつくる	・お見合いパーティー、若者の飲み会、まちコンなどの婚活イベントの開催(27件) ・移住定住施策(2件) ・町外での出張婚活イベント ・若者がUターンしやすい環境づくりと就労できる環境確保 ・若者と高齢者のイベントを行って、そこから始まる紹介があるかもしれない
③結婚・出産・子育ての希望をかなえる	・経済的支援で結婚できる環境整備(9件) ・産休・育休のとりやすさ(男女共に)(2件)
④魅力的な地域をつくる	・出産支援・子育て支援の強化(7件) ・給与の向上(6件) ・結婚祝い金の進呈(5件) ・住宅の支援(3件) ・町内飲食店でのイベントで出会いの機会をつくる(3件) ・買い物の不便さを解消する(2件) ・町内異業種交流会の創設(2件) ・農業・漁業体験での出会いの機会提供 ・羽幌町の発展と人口増加が必要 ・婚姻して〇年済続けると〇万円を給付する等の制度(結婚祝い金) ・事実婚やその他の形に対しても柔軟性がある町になるべき ・詐欺対策した上で結婚したら町から100万支給 ・町民へ問う前に、行政が考えつかないことが問題

Q2. 出生率を高める方法として、効果的と思われる方法や希望する支援策などがありましたらお書きください。(自由に意見を記載)

出産率を高める方法として、効果的と思われる方法を「国の施策の方向」ごとに整理すると以下のとおりとなります。

国の施策の方向	意見
①地方に仕事をつくる	—
②人の流れをつくる	—
③結婚・出産・子育ての希望をかなえる	・子ども一人でも育てていくためにある程度の年齢まで経済的な支援が必要(27件) ・めん羊布団だけではなく、隣接町のように出産祝い金が必要(27件) ・道立病院で産婦人科医(女医)を招聘するなど産婦人科・小児科の充実(18件) ・保育料などの減額・支援(12件) ・産休・育休の取りやすい職場環境(3件) ・託児所・保育園の増設、適切な人員配置(3件) ・再婚できる機会を増やす ・住民税の減免や給食費・教材費の無償化 ・役場の男性が育児休業を率先して取り、広報等で情報発信して、男性の育児休業を促す ・若者から高齢者に還元するイメージを変えて、若者に優しい町になる施策の検討 ・育休制度や看護休暇制度のある事業主への助成
④魅力的な地域をつくる	—

Ｑ３．人口減少に歯止めをかけるために行う方法として、効果的と思われる方法や希望する支援策などがありましたらお書きください。（自由に意見を記載）

人口減少に歯止めをかけるために行う方法として、効果的と思われる方法を「国の施策の方向」ごとに整理すると以下のとおりとなります。

国の施策の方向	意見
①地方に仕事をつくる	・働ける場所・働きやすい環境をつくる（２２件） ・企業誘致・リモートワークの実現（５件） ・農協や漁協に協力してもらい、若者が働ける環境を作ってほしい
②人の流れをつくる	・移住者来たくなる・地元出身者が戻りたくなるまちづくり（７件） ・住宅の整備（３件） ・民間アパートの家賃が高すぎる町営住宅は生活保護ばかり優先している ・病院、介護施設、障がい者が入居できる施設を建てれば、近隣の市町村から人が集まると思う
③結婚・出産・子育ての希望をかなえる	・医療・介護の環境づくり（８件） ・焼尻診療所の医師不在も問題 ・子どもに力をいれていくべきで、今すぐにも行動しないと羽幌町の未来はないと考える ・高校生までの子どもがいる世帯に一人ごとに子育て補助金１万円支給を新年度に支給する支援策 ・町内に病院があるが、対応の悪さのせいで町外に通院しているような気がする ・高校生までの子どもがいる世帯に一人ごとに子育て補助金１万円支給を新年度に支給する支援策
④魅力的な地域をつくる	・町の魅力を伝えるイベントの開催（６件） ・人が集まれる場所があるとよい（５件） ・天売島・焼尻島の交流を活発にし、花火大会はフェリーから見たりできるようにする ・高齢者に偏らない地方政治、子ども達の未来に繋がることを考えて欲しい。（１件） ・地元に残って働いてくれる若者（２０代）に毎年補助金を出す（月１～２万）

Q4. 生まれ育った町や地域に戻って就職（いわゆるUJ ターン）する方が増える方法として、効果的と思われる方法や希望する支援策などがありましたらお書きください。

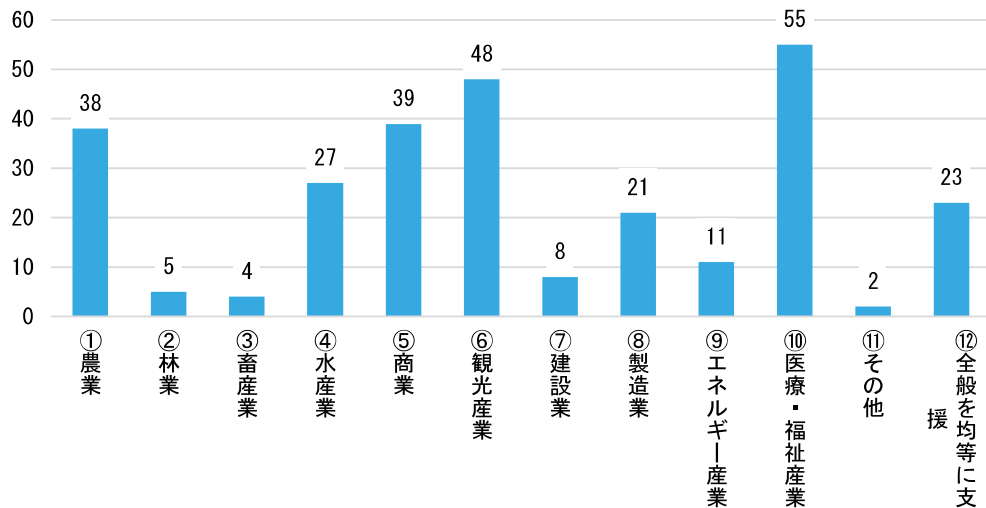
生まれ育った町や地域に戻って就職する方が増える方法として、効果的と思われる方法を「国の施策の方向」ごとに整理すると以下のとおりとなります。

国の施策の方向	意見
①地方に仕事をつくる	・働き口があること（24 件） ・就きたい職業を選択することができる（7 件） ・自衛隊の誘致、火力発電所の建設で雇用創生 炭鉱跡地の空地活用 ・農業・漁業の体験型実習 ・高齢化施設で雇用。給与も高くしてUターンを促進させる
②人の流れをつくる	・町外転出者へ年に 1 回程度広報やUターンのアピール、イベント開催（3 件） ・「おかえり助成」として U ターンして一定期間経過したら助成金を支給
③結婚・出産・子育ての希望をかなえる	・子育て支援策の充実（8 件）
④魅力的な地域をつくる	・UJ ターン向けの住宅補助・住居の用意（13 件） ・安定した生活ができる給与がある（10 件） ・U ターンに特典やお祝い金、毎月の助成金を支給（6 件） ・地元で一定期間就職した場合に返済義務がなくなる奨学金（5 件） ・不便さを解消できる商業施設などがある（4 件） ・郷土愛をはぐくむ（4 件） ・若い人を育てていこうという意識・歓迎する意識（2 件） ・天売島・焼尻島のリゾート化 ・海士町（島根県）や東川町の支援策を見習う ・町民限定で稚内空港や旭川空港利用時に割引など補助金制度 ・町をよくする改善プロジェクトとして若い人を募る ・戻ってくれたら 100 万円 ・高校生が羽幌町で就職する場合、就職お祝い金 10 万円、羽幌町内にある企業が積極的に求人活動ができるよう、求職活動補助金を一企業あたり 100 万円支給 ・若者向け町営住宅 ・町に誇りを持ってもらうなど地元に残ってもらうには心理的な訴えかけも必要

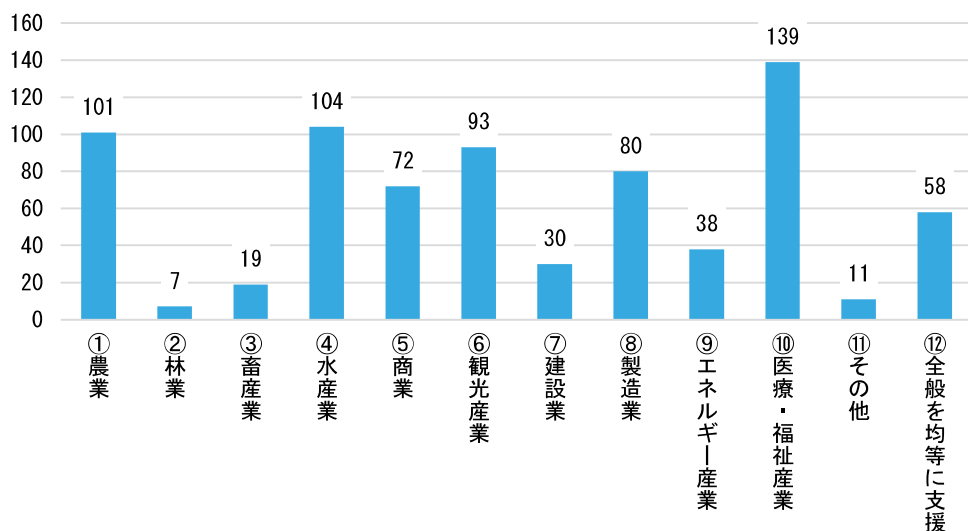
Q5. 若者等の職を確保するために、どのような産業分野を重点的に支援することが良いと考えますか。(三つまで○)

若者の職を確保するために重点的に支援する産業分野は「⑩医療・福祉産業」が 55 件と最も多く、続いて「⑥観光産業」が 48 件、「⑤商業」が 39 件の順となっています。

2015 年調査と比較すると、全ての産学分野において少なくなっています。



図表 2-40 重点的に支援する産業分野（2024 年調査）



図表 2-41 重点的に支援する産業分野（2015 年調査）

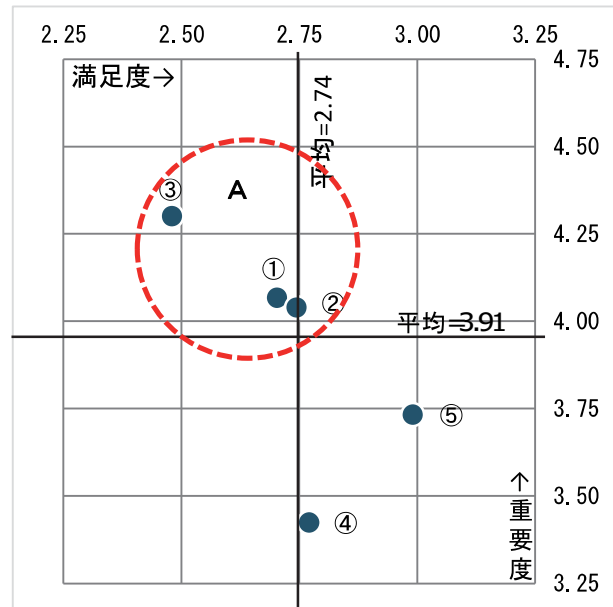
Q6. 20代、30代の女性の転出を防ぐための有効な対策がありましたらお書きください。
(自由に意見を記載)

20代、30代の女性の転出を防ぐための有効な対策を「国の施策の方向」ごとに整理すると以下のとおりとなります。

国の施策の方向	意見
①地方に仕事をつくる	・雇用の確保（13件） ・人材の積極採用 ・様々な人が暮らしやすく仕事がある環境の創出 ・若い人女性で運営するカフェなどの施設
②人の流れをつくる	・商業施設の充実（6件） ・町外の人を呼びこむイベントの開催（2件） ・若年男性の移住を促す（2件） ・婚活イベントの開催（5件） ・漁業、農業、その職業に携わりたい女性の募集、体験などのイベント
③結婚・出産・子育ての希望をかなえる	・産婦人科・小児科の充実（3件） ・子育てしやすいまちづくり（2件） ・病院へ行っても他の病院に回されてしまうので、小児科を作る ・天売島・焼尻島の整備・改修、診療所の再開
④魅力的な地域をつくる	・経済的支援（4件） ・住環境整備（4件） ・町内の男性と結婚できる環境・収入（3件） ・住宅費の補助（3件） ・花火大会をフェリーで見たり、観光スポットも増やす ・家賃や税金の補助 ・羽幌町で結婚した子育て世帯に補助金1世帯50万円 ・町民全員に月10万の支給 ・未婚でも出産、子育てできる環境。収入、資格取得促進 ・羽幌のためになることを、楽しみながらできること ・祭好きが多いから、今ある祭にもっと多くの方が参加できるとよい ・子育て支援に強い街だとアピールする

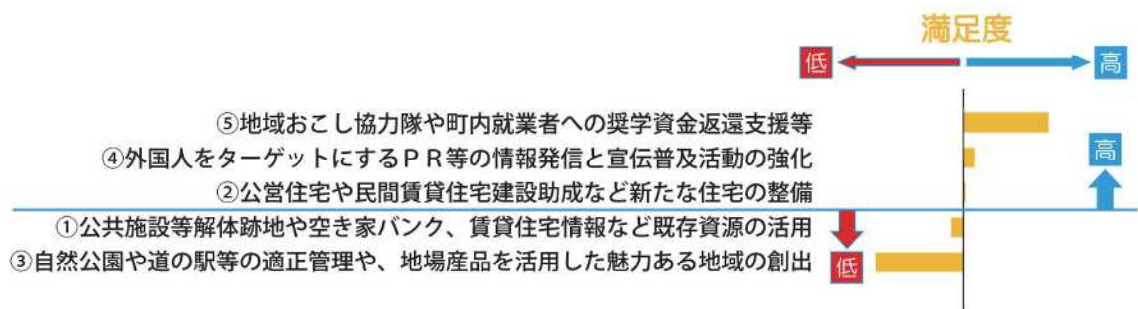
Q7.「人口減少対策」や「交流人口を増加させる施策」について、満足度と重要度をお答えください。（それぞれ一つずつ〇）

「人口減少対策」や「交流人口を増加させる施策」について、満足度が低く重要度が高い施策「A」は「③自然公園や道の駅等の適正管理」、「①公共施設等解体跡地や空き家バンク、賃貸情報など既存資源の活用」及び「②公営住宅や民間賃貸住宅建設助成など新たな住宅整備」となっています。

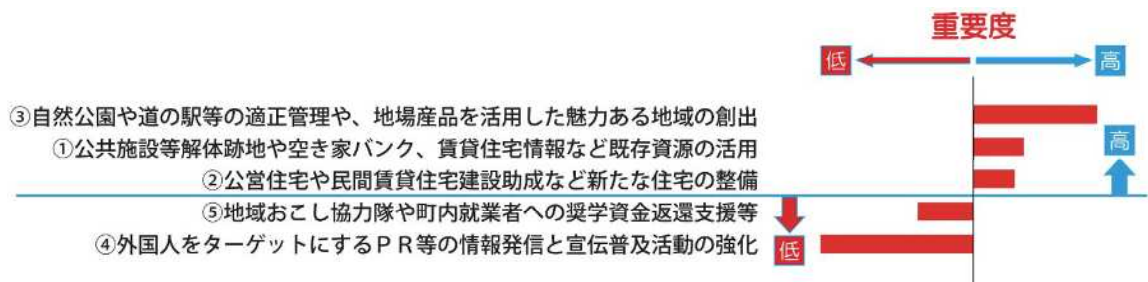


図表 2-42 人口減少対策や交流人口を増加させる施策の満足度・重要度

満足度が最も低い施策、重要度が最も高い施策とも「③自然公園や道の駅等の適正管理」となっています。



図表 2-43 人口減少対策や交流人口を増加させる施策の満足度（2024 年調査）



図表 2-44 人口減少対策や交流人口を増加させる施策の重要度（2024 年調査）

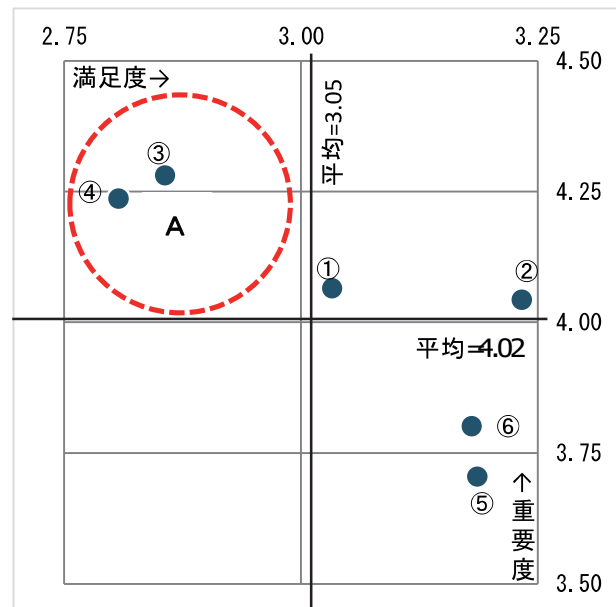
〔２〕一般向けアンケート調査

「人口減少対策」や「交流人口を増加させる施策」について、その他の住民が考える施策を「国の施策の方向」ごとに整理すると以下のとおりとなります。

国の施策の方向	意見
①地方に仕事をつくる	・地域おこし協力隊の支援充実させる
②人の流れをつくる	・道の駅の再整備（７件） ・天売島・焼尻島のPR（２件） ・ハンターを募り、鹿や熊等のジビエ料理で観光客を増やす ・町外から人が来るイベントを開催して、羽幌のアピールをする ・羽幌町でしかできない体験をできるようにする ・ホームページの賃貸情報が少なすぎて困るので、せめて部屋の間取図、写真、家賃、広さなど最低限は載せてほしい ・賃貸住宅など空いてる所があれば分かりやすく紹介して欲しい ・観光だけでなく、羽幌町の住民の人柄などの魅力を発信する ・キャンプ場の維持
③結婚・出産・子育ての希望をかなえる	・子育て世帯が優先して住める公営住宅の整備
④魅力的な地域をつくる	・障がいのある人が住み続けられる環境（２件） ・空き店舗の活用

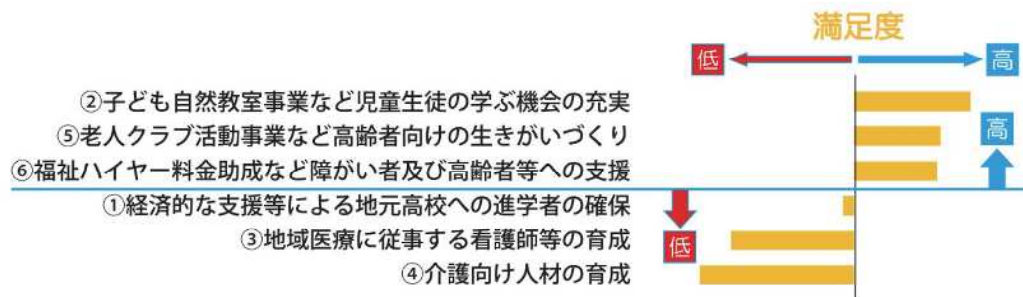
Q8.「住みよい環境のための施策」について、満足度と重要度をお答えください。

住みよい環境のための施策について、満足度が低く重要度が高い施策「A」は「④介護向け人材の育成」と「③地域医療に従事する看護師等の育成」となっています。

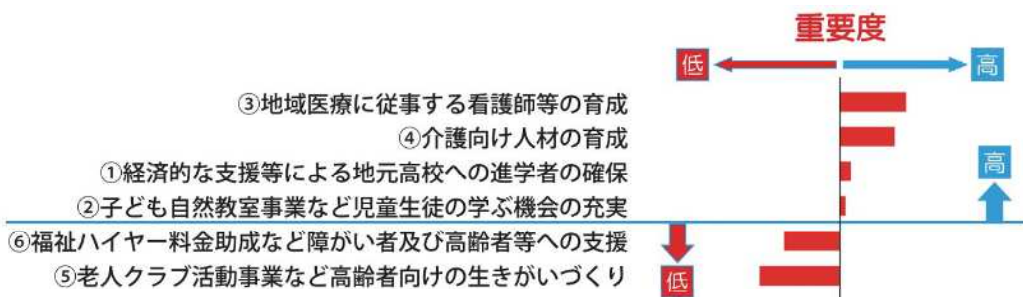


図表 2-45 住みよい環境のための施策の満足度・重要度

満足度が最も低い施策は「④介護向け人材の育成」、重要度が最も高い施策は「③地域医療に従事する看護師等の育成」となっています。



図表 2-46 住みよい環境のための施策の満足度（2024 年調査）



図表 2-47 住みよい環境のための施策の重要度（2024 年調査）

〔(2) 一般向けアンケート調査〕

「住みよい環境のための施策」について、その他の住民が考える施策を「国の施策の方向」ごとに整理すると以下のとおりとなります。

国の施策の方向	意見
①地方に仕事をつくる	・雇用の確保 ・障害がある人でも働ける場がない ・保育、教育、医療、福祉の高待遇化
②人の流れをつくる	・空き家バンクの拡充 ・移住者への支援 ・高齢者への支援よりも、20代、30代への支援
③結婚・出産・子育ての希望をかなえる	・福祉ハイヤーをもう少し利用しやすくしてほしい ・高齢者のハイヤー制度はあるのに、子育て（妊婦）世帯向けのハイヤー制度が無いのはおかしい ・子どもの教育支援 ・医師の育成・確保が重要 ・道立病院はほとんどの科が医師不足のため、完全予約制になっていることが問題
④魅力的な地域をつくる	・ゴミ回収の無償化・利用料が高いので上下水道料金を下げる

Q9. 交流人口を増加させるために、今後、ブランド化していく（価値を高める）ものとして効果的なものがありましたらお書きください。（自由に意見を記載）

今後、ブランド化（価値を高める）ものとして効果的なものを「国の施策の方向」ごとに整理すると以下のとおりとなります。

国の施策の方向	意見
①地方に仕事をつくる	—
②人の流れをつくる	・甘エビ不足はわかるが、えび祭りを止めるべきではない（2件）
③結婚・出産・子育ての希望をかなえる	—
④魅力的な地域をつくる	・道の駅の充実、刷新（10件） ・海産物などの地域ブランド化（7件） ・天売島・焼尻島の知名度向上（6件） ・甘エビ以外の地域食材のブランド化（6件） ・サンセットビーチと夕日の魅力（5件） ・ビーチでのライブイベント（3件） ・天売島・焼尻島の自然。アウトドアができる町。（3件） ・新たな羽幌ブランドの開発（2件） ・フェリーに乗って花火大会を見る ・オロ坊に新たな家族を作ってあげる ・漁業、農業、酪農業など食のコラボによるブランド化、地元食材を使った新しい料理 ・養殖や畜産で安定して供給できるものをPRする ・甘えび祭りに変わる羽幌のグルメのイベント ・オロちゃんランドの充実（遊具の更新、増設等） ・天売、焼尻、海鳥、我が町の自慢 ・海産物バーベキューや羊毛刈り体験 ・フェリーターミナルに朝市 ・サンセットビーチ こんなに素敵海があるのに今のままで はもったいない！ ・子育て支援を売りにした子育てしやすい町

問5. 最後にあなた自身について、お答えください。

Q1. 性別と年齢をお答えください。(一つに○)

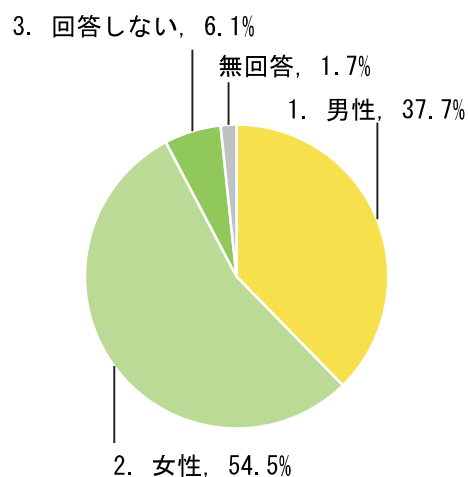
①性別

性別は「2.女性」が54.5%と、「1.男性」の37.7%を上回っています。

2015年調査と比較すると、「3.回答しない」が選択肢にない分、「1.男性」が減少しています。

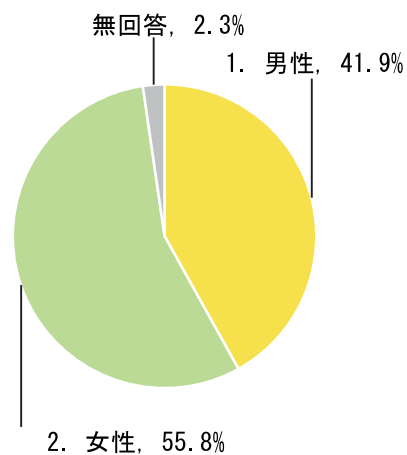
図表 2-48 性別（2024年調査）

番号	選択肢	回答数
1	男性	112
2	女性	162
3	回答しない	18
無回答		5
合計		297



図表 2-49 性別（2015年調査）

番号	選択肢	回答数
1	男性	145
2	女性	193
無回答		8
合計		346



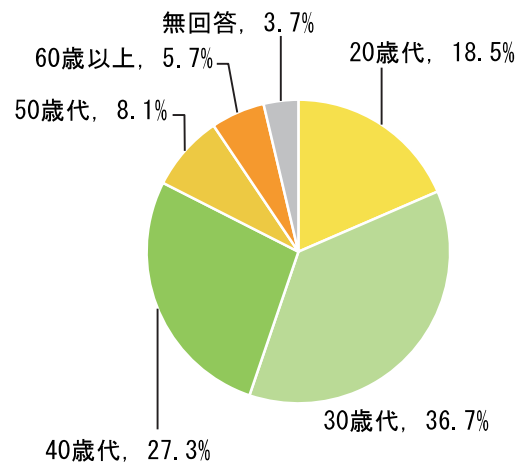
②年齢

年齢は「30 歳代」が 36.7%と最も多く、続いて「40 歳代」が 27.3%、「20 歳代」が 18.5%の順となっています。

2015 年調査と比較すると、「30 歳代」と「40 歳代」が多い分、「50 歳代」と「60 歳代」が少なくなっています。

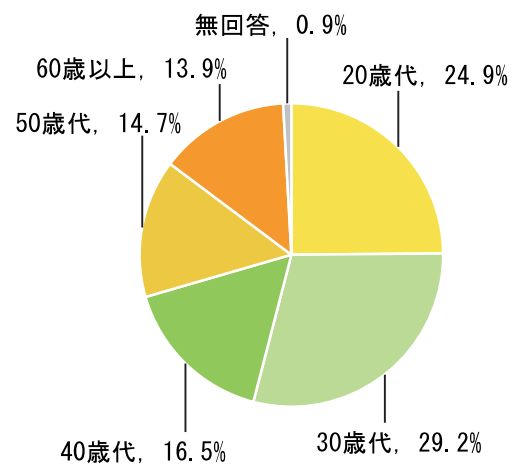
図表 2-50 年齢（2024 年調査）

番号	選択肢	回答数
1	20 歳代	55
2	30 歳代	109
3	40 歳代	81
4	50 歳代	24
5	60 歳以上	17
無回答		11
合計		297



図表 2-51 年齢（2015 年調査）

番号	選択肢	回答数
1	20 歳代	86
2	30 歳代	101
3	40 歳代	57
4	50 歳代	51
5	60 歳以上	48
無回答		3
合計		346



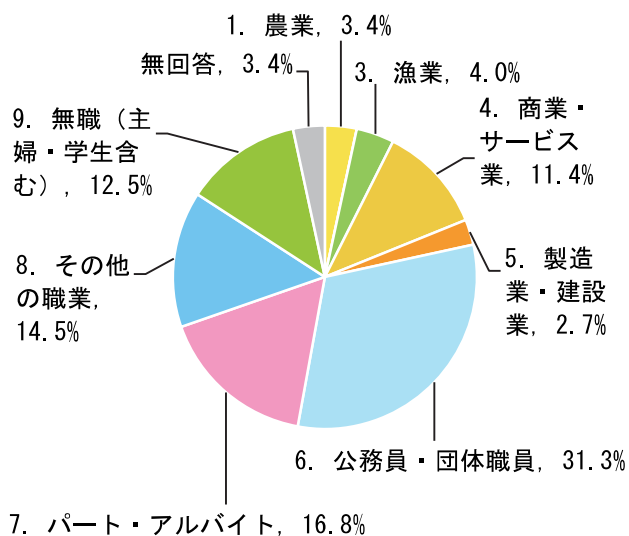
Q2. 職業をお答えください。(一つに〇)

職業は「6.公務員・団体職員」が31.3%と最も多く、続いて「7.パート・アルバイト」が16.8%、「8.その他の職業」が14.5%の順となっています。

2015年調査と比較すると、「6.公務員・団体職員」が多い分、「9.無職（主婦・学生含む）」が少なくなっています。

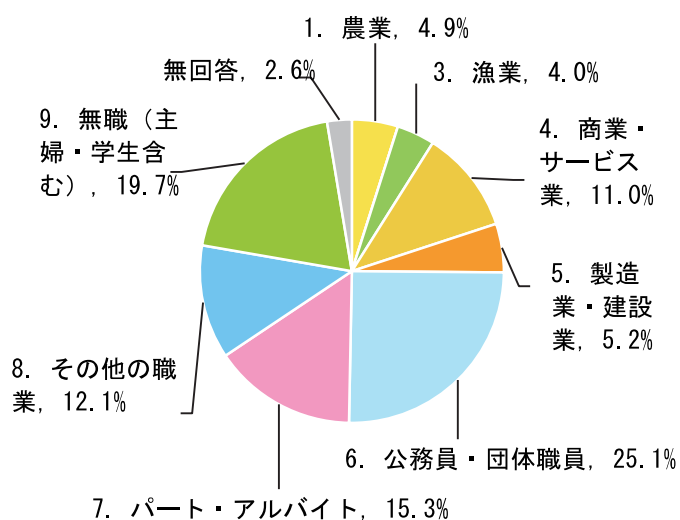
図表 2-52 職業（2024年調査）

番号	選択肢	回答数
1	農業	10
2	林業	0
3	漁業	12
4	商業・サービス業	34
5	製造業・建設業	8
6	公務員・団体職員	93
7	パート・アルバイト	50
8	その他の職業	43
9	無職（主婦・学生含む）	37
無回答		10
合計		297



図表 2-53 職業（2015年調査）

番号	選択肢	回答数
1	農業	17
2	林業	0
3	漁業	14
4	商業・サービス業	38
5	製造業・建設業	18
6	公務員・団体職員	87
7	パート・アルバイト	53
8	その他の職業	42
9	無職（主婦・学生含む）	68
無回答		9
合計		346



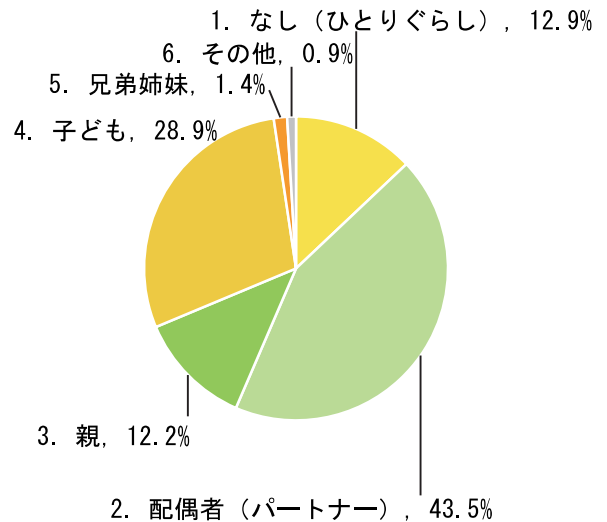
Q3. 現在、あなたは、どなたと同居していますか。(あてはまるもの全てに○)

同居人は「2.配偶者（パートナー）」が43.5%と最も多く、続いて「4.子ども」が28.9%、「1.なし（ひとりぐらし）」が12.9%の順となっています。

2015年調査と比較すると、「3.親」が少ない分、「1.なし（ひとりぐらし）」が多くなっています。

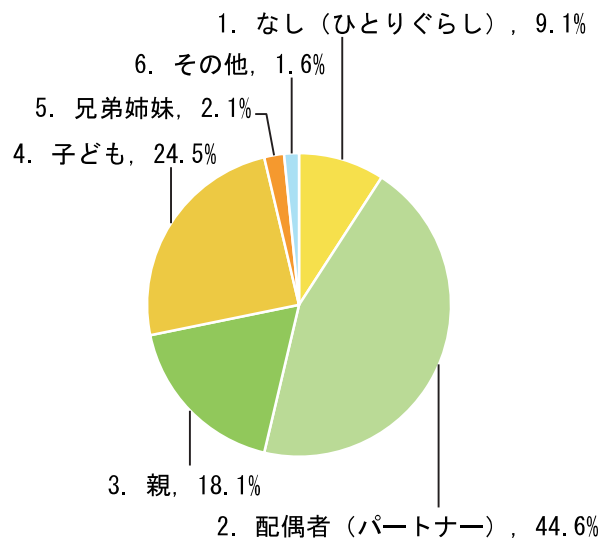
図表 2-54 同居人（2024年調査）

番号	選択肢	回答数
1	なし（ひとりぐらし）	55
2	配偶者（パートナー）	185
3	親	52
4	子ども	123
5	兄弟姉妹	6
6	その他	4
合計		425



図表 2-55 同居人（2015年調査）

番号	選択肢	回答数
1	なし（ひとりぐらし）	47
2	配偶者（パートナー）	229
3	親	93
4	子ども	126
5	兄弟姉妹	11
6	その他	8
合計		514



Q4. お子さんの人数について、お答えください。（人数を記載）

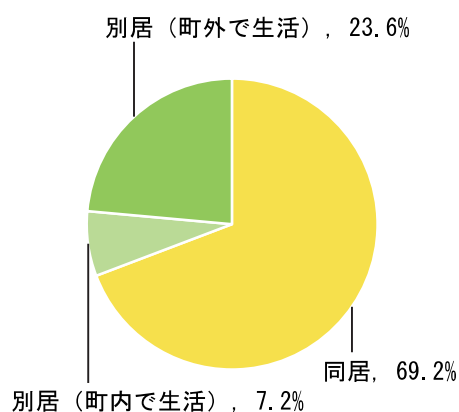
【子どもとの同居状況】

子どもとの同居状況は「同居」が69.2%と最も多く、続いて「別居（町外で生活）」が23.6%の順となっています。

2015年調査と比較すると、「同居」が多い分、「別居（町外で生活）」が少なくなっています。

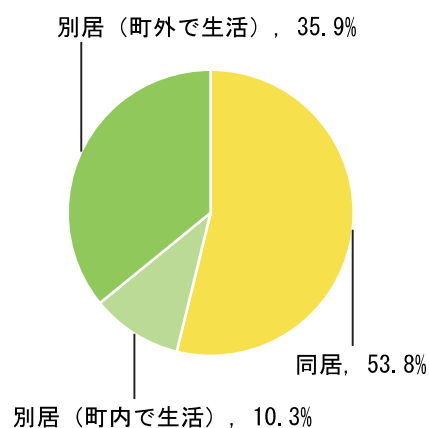
図表 2-56 子どもとの同居状況（2024年調査）

番号	選択肢	回答数
1	同居	135
2	別居（町内で生活）	14
3	別居（町外で生活）	46
合計		195



図表 2-57 子どもとの同居状況（2015年調査）

番号	選択肢	回答数
1	同居	141
2	別居（町内で生活）	27
3	別居（町外で生活）	94
合計		262



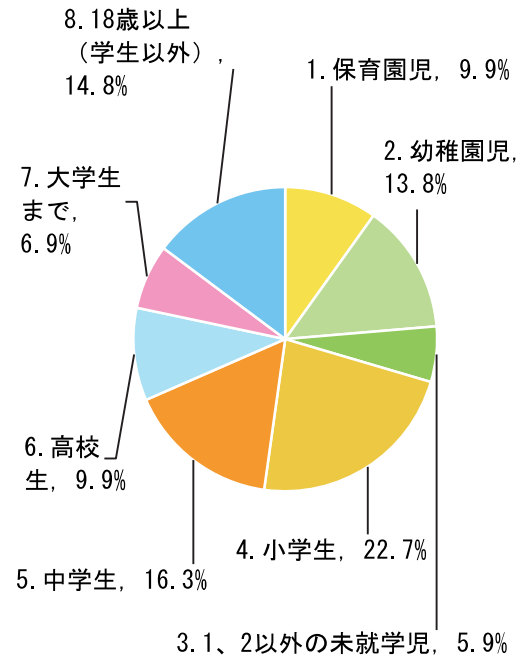
Q5. お子さんの年齢について、お答えください。(あてはまるもの全てに○、人数を記載)

子どもの年齢は「小学生」が22.7%と最も多く、続いて「中学生」が16.3%、「18歳以上（学生以外）」が14.8%の順となっています。

2015年調査と比較すると、「18歳以上（学生以外）」が少ない分、「中学生」以下の年齢が多くなっています。

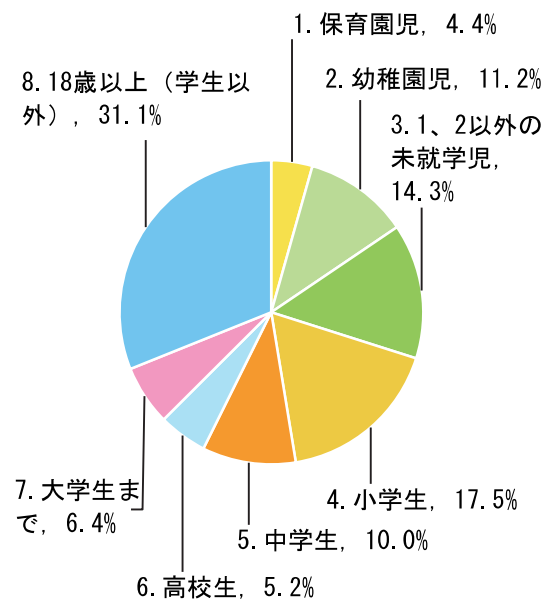
図表 2-58 子どもの年齢（2024年調査）

番号	選択肢	1人	2人	3人以上	小計
1	保育園児、または、認定こども園保育部門	19	1	0	20
2	幼稚園児、または、認定こども園幼稚園部門	26	2	0	28
3	1と2以外の未就学児	12	0	0	12
4	小学生	35	10	1	46
5	中学生	26	7	0	33
6	その他	16	4	0	20
7	18歳以上の学生（大学生・専門学校生など）	12	2	0	14
8	18歳以上の学生以外の方	9	16	5	30
合計		155	42	6	203



図表 2-59 子どもの年齢（2015年調査）

番号	選択肢	1人	2人	3人以上	小計
1	保育園児、または、認定こども園保育部門	7	4	0	11
2	幼稚園児、または、認定こども園幼稚園部門	21	7	0	28
3	1と2以外の未就学児	29	7	0	36
4	小学生	30	13	1	44
5	中学生	22	3	0	25
6	その他	12	0	1	13
7	18歳以上の学生（大学生・専門学校生など）	11	4	1	16
8	18歳以上の学生以外の方	17	47	14	78
合計		149	85	17	251



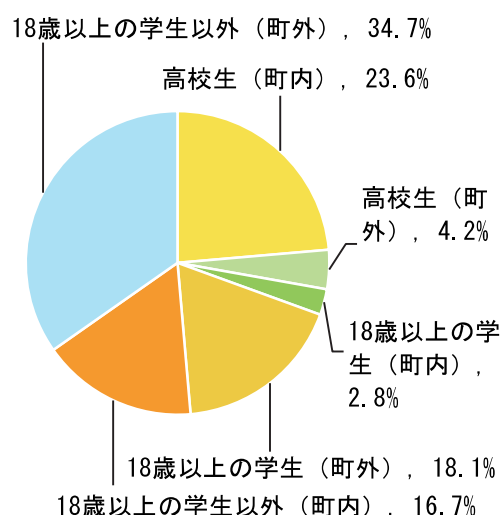
【高校生以上の居住地】

高校生以上の居住地は「18 歳以上の学生以外（町外）」が 34.7%と最も多く、続いて「高校生（町内）」が 23.6%、「高校生以上の学生（町外）」が 18.1%の順となっています。

2015 年調査と比較すると、「18 歳以上の学生以外（町外）」と「18 歳以上の学生以外（町内）」が少ない分、他の選択肢が多くなっています。

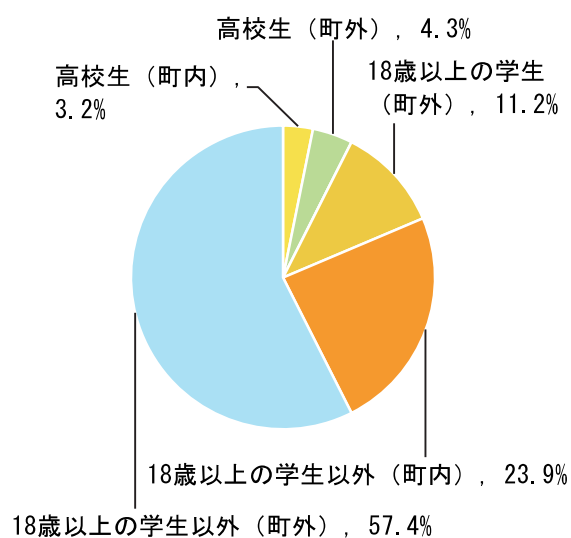
図表 2-60 高校生以上の居住地（2024 年調査）

番号	選択肢	町内	町外	小計
1	高校生	17	3	20
2	18 歳以上の学生 （大学生・専門学校生など）	2	13	15
3	18 歳以上の学生 以外の方	12	25	37
合計		31	41	72



図表 2-61 高校生以上の居住地（2015 年調査）

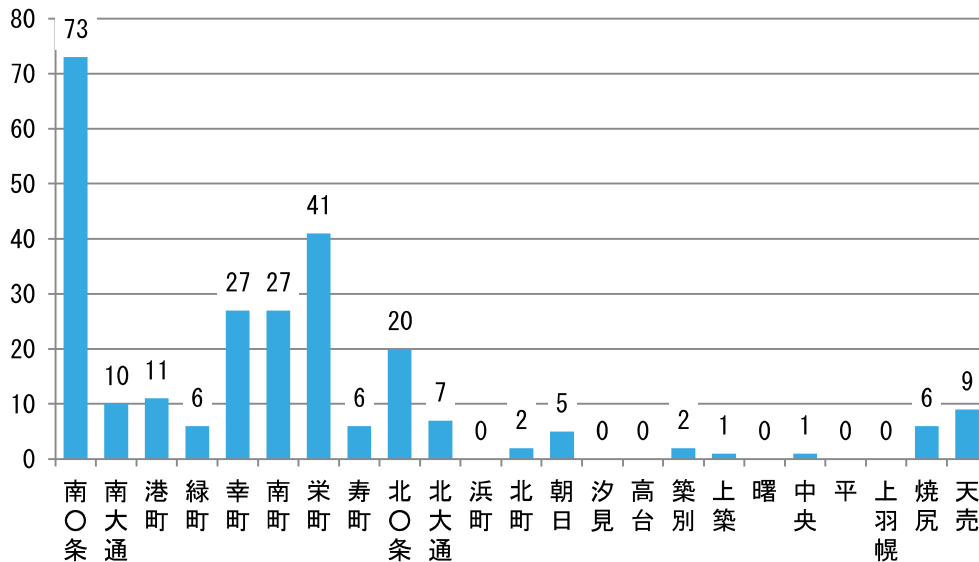
番号	選択肢	町内	町外	小計
1	高校生	6	9	15
2	18 歳以上の学生 （大学生・専門学校生など）	0	22	22
3	18 歳以上の学生 以外の方	47	110	157
合計		53	141	194



Q6. あなたのお住まいをお答えください。(一つに〇)

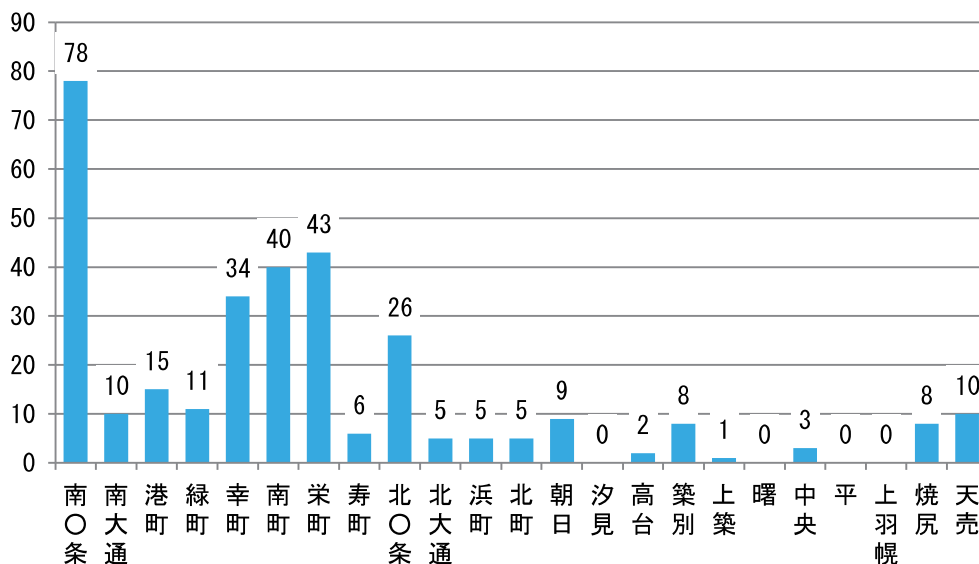
居住地域は「南〇条」が73件と最も多く、続いて「栄町」が41件、「幸町」と「南町」が27件の順となっています。

2015年調査と比較すると、同様の傾向となっています。



南〇条：南1条～南7条、北〇条：北1条～北6条

図表 2-62 居住地域 (2024年調査)



南〇条：南1条～南7条、北〇条：北1条～北6条

図表 2-63 居住地域 (2015年調査)

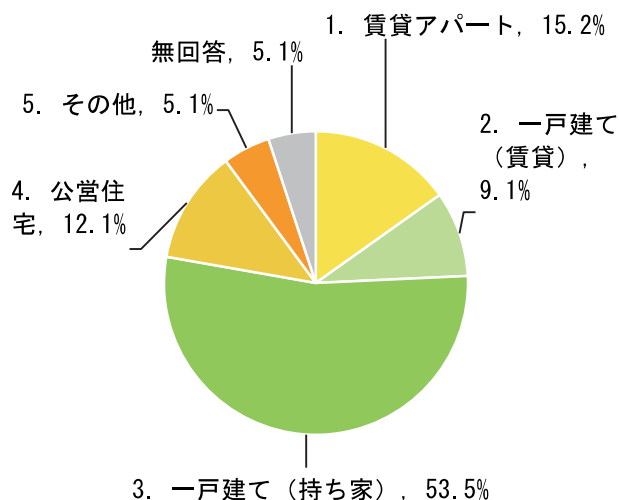
Q7. お住まいになっている住居について、お答えください。(一つに〇)

居住形態は「3.一戸建て(持ち家)」が53.5%と最も多く、続いて「1.賃貸アパート」が15.2%、「4.公営住宅」が12.1%の順となっています。

2015年調査と比較すると、概ね同様の傾向となっています。

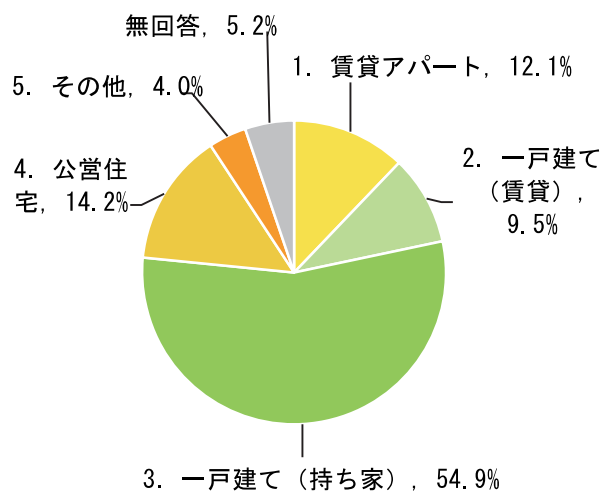
図表 2-64 居住形態(2024年調査)

番号	選択肢	回答数
1	賃貸アパート	45
2	一戸建て(賃貸)	27
3	一戸建て(持ち家)	159
4	公営住宅	36
5	その他	15
無回答		15
合計		297



図表 2-65 居住形態(2015年調査)

番号	選択肢	回答数
1	賃貸アパート	42
2	一戸建て(賃貸)	33
3	一戸建て(持ち家)	190
4	公営住宅	49
5	その他	14
無回答		18
合計		346



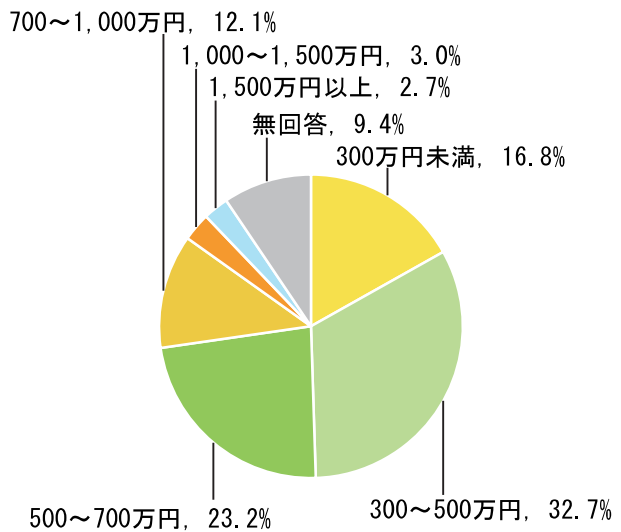
Q8. 世帯全体の1年間の収入について、お答えください。(一つに〇)

世帯年収は「300～500万円」が32.7%と最も多く、続いて「500～700万円」が23.2%、「300万円未満」が16.8%の順となっています。

2015年調査と比較すると、「500～700万円」が多い分、「300万円未満」が少なくなっています。

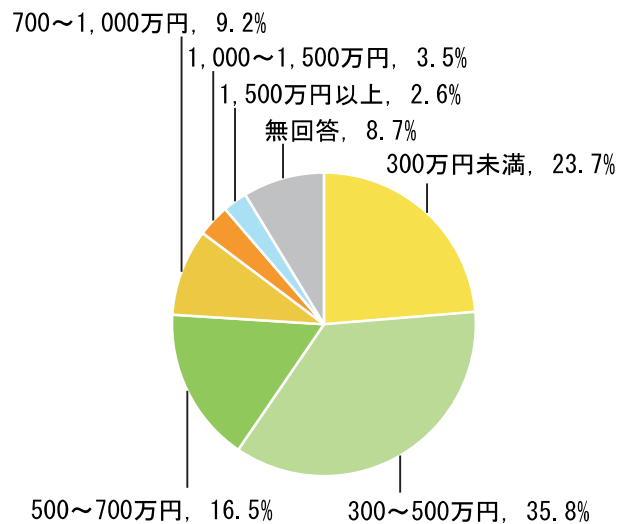
図表 2-66 世帯年収 (2024 年調査)

番号	選択肢	回答数
1	300万円未満	50
2	300～500万円	97
3	500～700万円	69
4	700～1,000万円	36
5	1,000～1,500万円	9
6	1,500万円以上	8
無回答		28
合計		297



図表 2-67 世帯年収 (2015 年調査)

番号	選択肢	回答数
1	300万円未満	82
2	300～500万円	124
3	500～700万円	57
4	700～1,000万円	32
5	1,000～1,500万円	12
6	1,500万円以上	9
無回答		30
合計		346



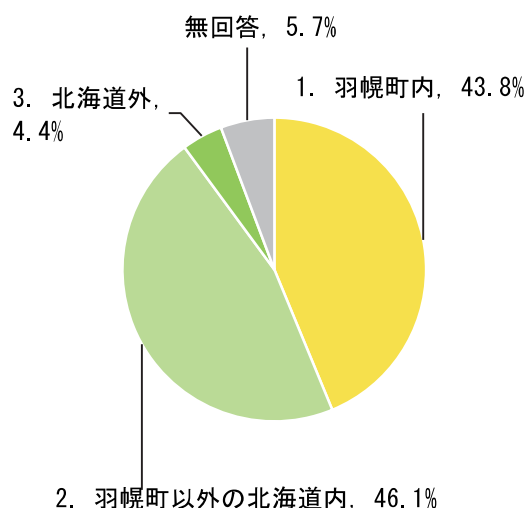
Q9. あなたの出身地について、お答えください。(一つに○)

出身地は「2.羽幌町以外の北海道」が46.1%と、「1.羽幌町内」の43.8%をやや上回っています。

2015年調査と比較すると、「2.羽幌町以外の北海道」が多い分、「1.羽幌町内」が少なくなっています。

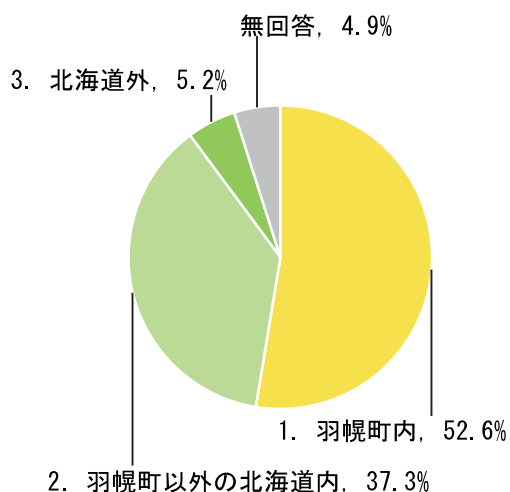
図表 2-68 出身地 (2024 年調査)

番号	選択肢	回答数
1	羽幌町内	130
2	羽幌町以外の北海道内	137
3	北海道外	13
無回答		17
合計		297



図表 2-69 出身地 (2015 年調査)

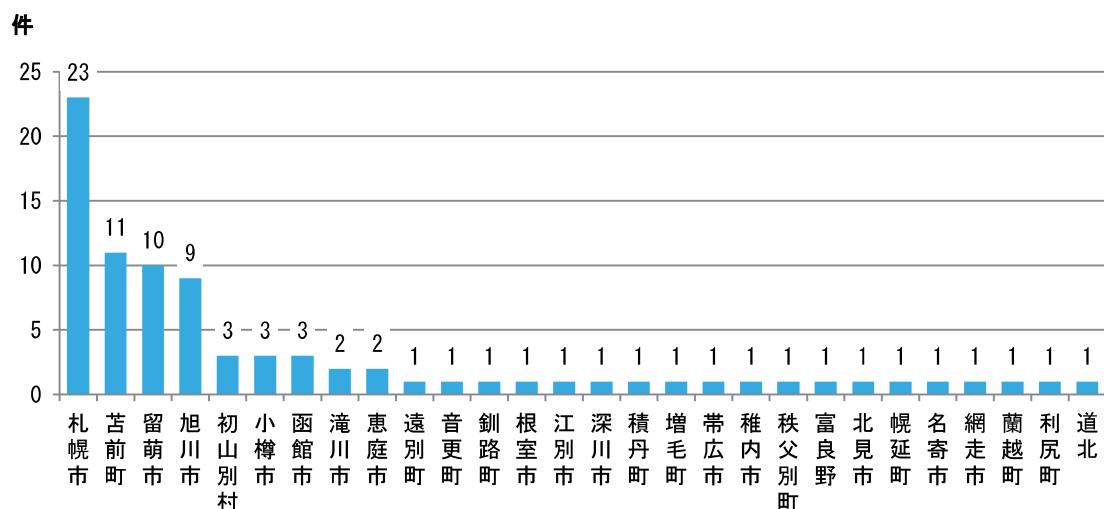
番号	選択肢	回答数
1	羽幌町内	182
2	羽幌町以外の北海道内	129
3	北海道外	18
無回答		17
合計		346



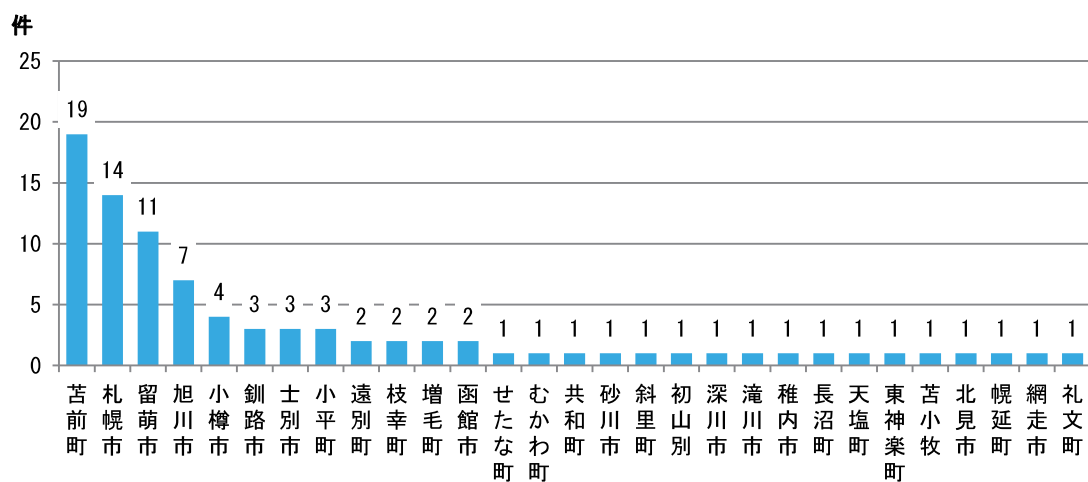
●羽幌町以外の北海道内内訳

羽幌町以外の北海道内出身地の内訳は、「札幌市」が23件と最も多く、続いて「苫前町」が11件、「留萌市」が10件の順となっています。

2015年調査と比較すると、上位の4市町は変わらないものの、上位2市町の「札幌市」と「苫前町」の順位が逆転しています。



図表 2-70 羽幌町以外の北海道内出身地の内訳（2024年調査）



図表 2-71 羽幌町以外の北海道内出身地の内訳（2015年調査）

(3) 転入者向けアンケート調査

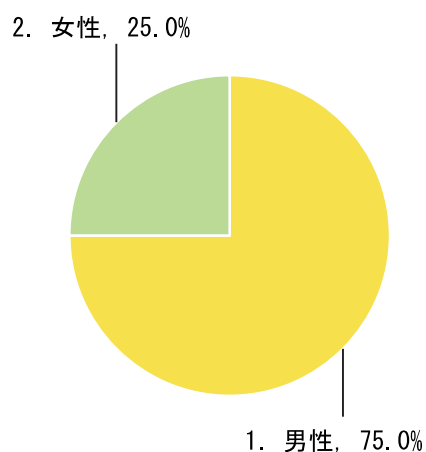
Q1. 「性別」と「年齢」をお答えください。(一つに〇)

①性別

性別は「1.男性」が75.0%と、「2.女性」の25.0%を大きく上回っています。
2015年調査は2024年調査と同様の傾向となっています。

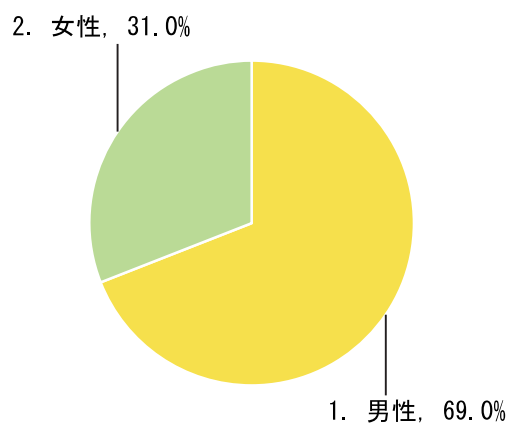
図表 2-72 性別（2024年調査）

番号	選択肢	回答数
1	男性	18
2	女性	6
合計		24



図表 2-73 性別（2015年調査）

番号	選択肢	回答数
1	男性	29
2	女性	13
合計		42



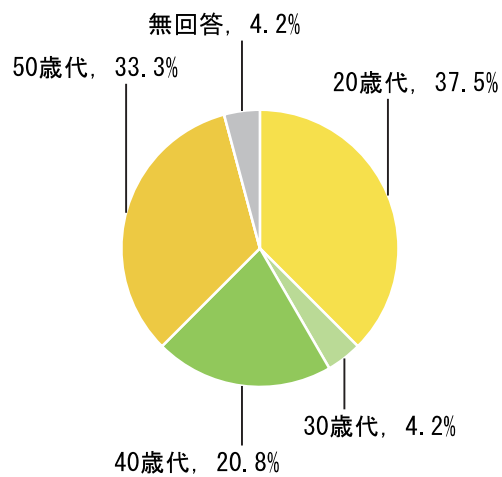
②年齢階級

年齢は「20 歳代」が 37.5%と最も多く、続いて「50 歳代」が 33.3、「40 歳代」が 20.8%の順となっています。

2015 年調査は「40 歳代」が最も多いことや、「30 歳代」の回答が多いことが 2024 年調査と異なります。

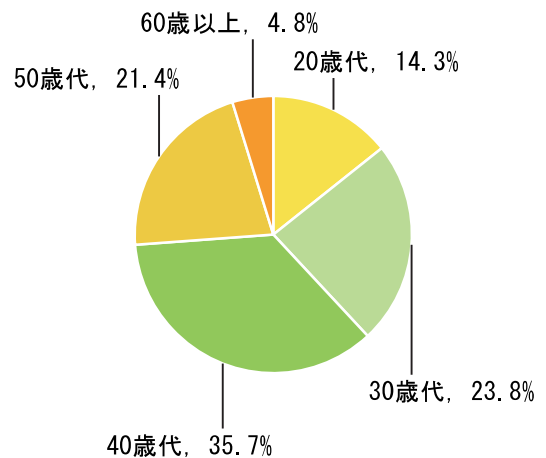
図表 2-74 年齢（2024 年調査）

番号	選択肢	回答数
1	20 歳代	9
2	30 歳代	1
3	40 歳代	5
4	50 歳代	8
5	60 歳以上	0
無回答		1
合計		24



図表 2-75 年齢（2015 年調査）

番号	選択肢	回答数
1	20 歳代	6
2	30 歳代	10
3	40 歳代	15
4	50 歳代	9
5	60 歳以上	2
無回答		0
合計		42



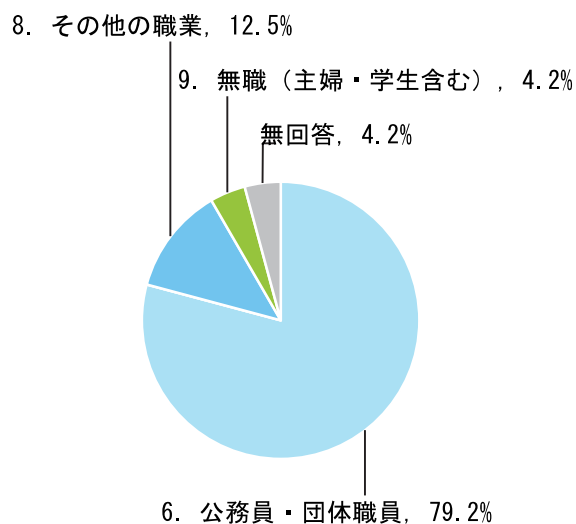
Q2. 職業をお答えください。(一つに○)

職業は「6.公務員・団体職員」が79.2%と、「8.その他の職業」の12.5%や「9.無職（主婦・学生含む）」の4.2%を大きく上回っています。

2015年調査と比較すると、「6.公務員・団体職員」が多い分、「4.商業・サービス業」、「7.パート・アルバイト」等を回答した方がゼロとなりました。

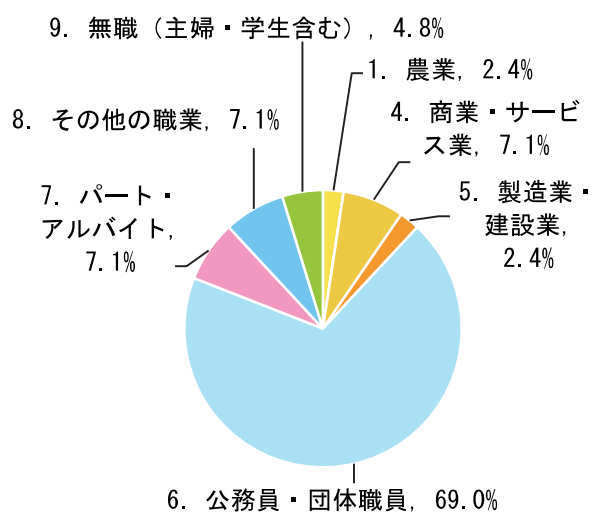
図表 2-76 職業（2024年調査）

番号	選択肢	回答数
1	農業	0
2	林業	0
3	漁業	0
4	商業・サービス業	0
5	製造業・建設業	0
6	公務員・団体職員	19
7	パート・アルバイト	0
8	その他の職業	3
9	無職（主婦・学生含む）	1
無回答		1
合 計		24



図表 2-77 職業（2015年調査）

番号	選択肢	回答数
1	農業	1
2	林業	0
3	漁業	0
4	商業・サービス業	3
5	製造業・建設業	1
6	公務員・団体職員	29
7	パート・アルバイト	3
8	その他の職業	3
9	無職（主婦・学生含む）	2
無回答		0
合 計		42



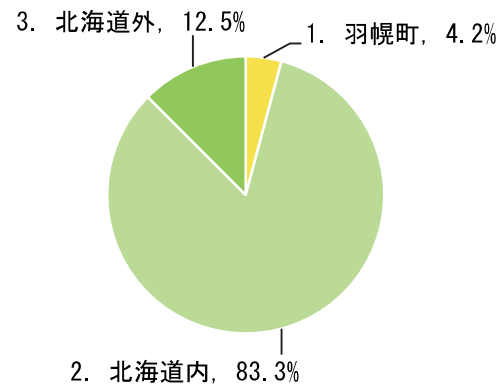
Q3. あなたの出身地は、どちらですか。(一つに〇)

出身地は「2.北海道内」が83.3%と、「3.北海道外」の12.5%、「1.羽幌町」の4.2%を大きく上回っています。

2015年調査と比較すると、「2.北海道内」が多い分、「1.羽幌町」が少なくなっています。

図表 2-78 出身地 (2024 年調査)

番号	選択肢	回答数
1	羽幌町	1
2	北海道内 (市町村名を記入)	20
3	北海道外 (都道府県名を記入)	3
合計		24



●「北海道内」の内訳

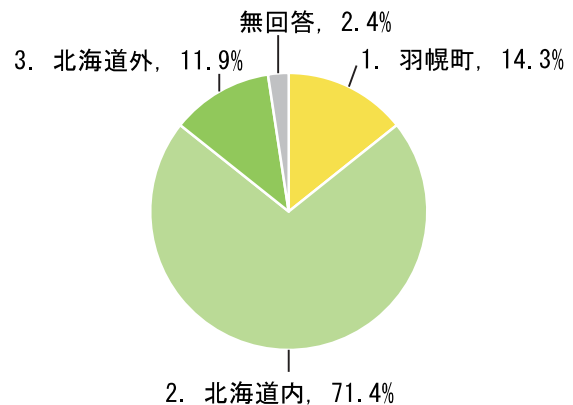
札幌市 (6)、留萌市 (3)、旭川市 (2)、安平町、岩見沢市、小平町、函館市、紋別市、釧路市、室蘭市、帯広市、無回答 (1) / 計 20

●「北海道外」の内訳

岩手県、神奈川県、埼玉県 / 計 3

図表 2-79 出身地 (2015 年調査)

番号	選択肢	回答数
1	羽幌町	6
2	北海道内 (市町村名を記入)	30
3	北海道外 (都道府県名を記入)	5
無回答		1
合計		43



●「北海道内」の内訳

札幌市 (7)、苫前町 (4)、士別市 (2)、小平町、北見市、留萌市、せたな町、旭川市、岩見沢市、砂川市、室蘭市、帯広市、滝川市、長沼町、苫小牧市、美深町、網走市、無回答 (1) / 計 30

●「北海道外」の内訳

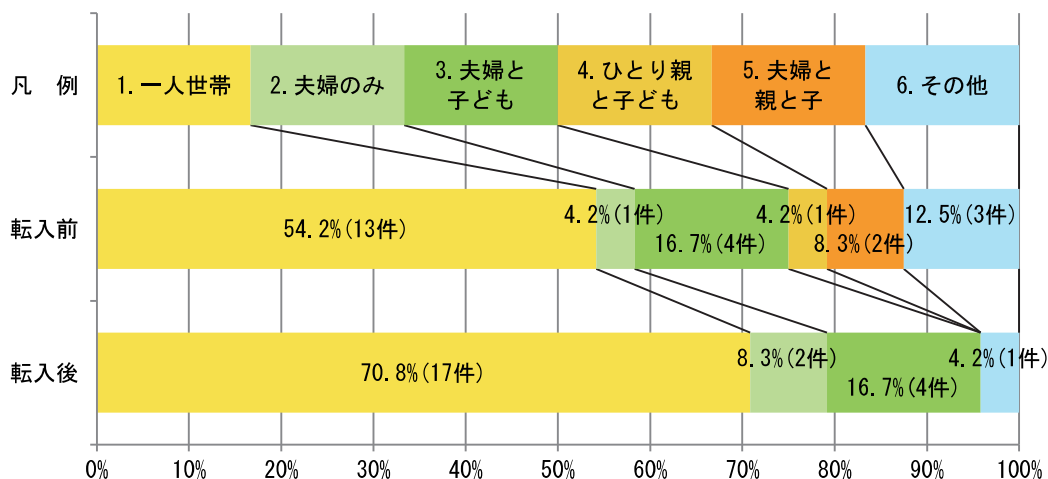
埼玉県、大分県、千葉県、兵庫県、無回答 / 計 5

〔3〕 転入者向けアンケート調査

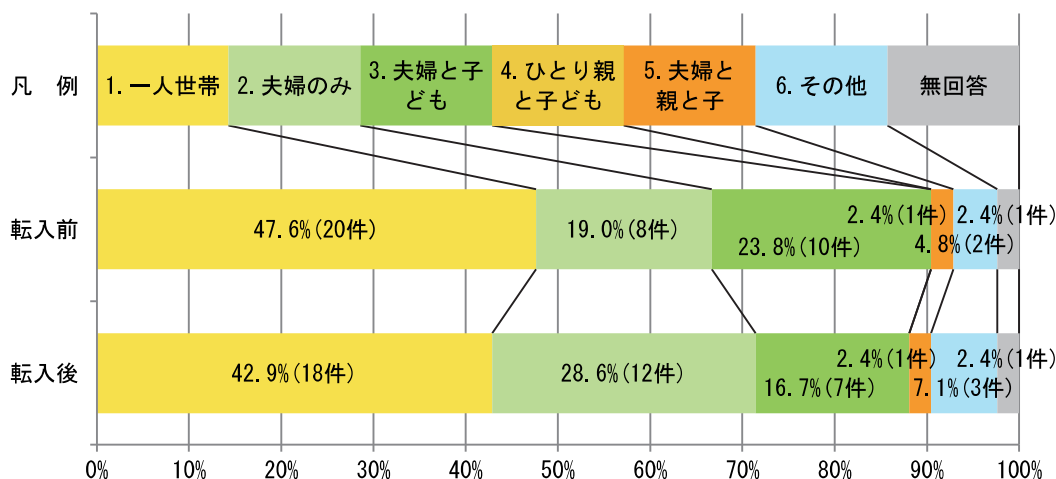
Q4. 転入前後の家族構成についてお答えください。（転入前、転入後とも一つに○）

家族構成は転入前後とも「1.一人世帯」が最も多く、それぞれ54.2%、70.8%となっており、続いて「3.夫婦と子ども」が転入前・転入後とも16.7%となっています。

2015年調査と比較すると、「1.一人世帯」が最も多い状況は変わりませんが、2024年調査が「20歳代」の回答が少ないこともあり、割合は減少しています。



図表 2-80 家族構成（2024年調査）

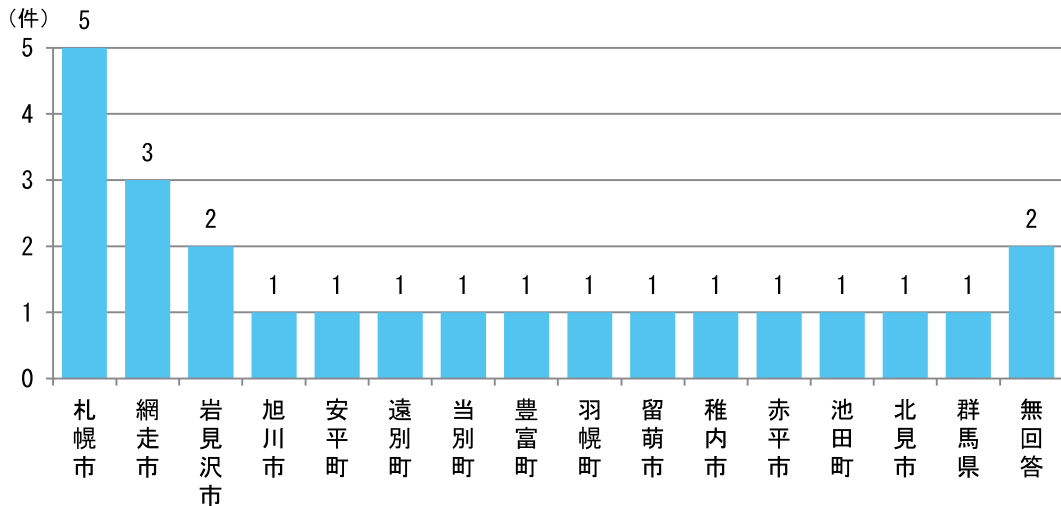


図表 2-81 家族構成（2015年調査）

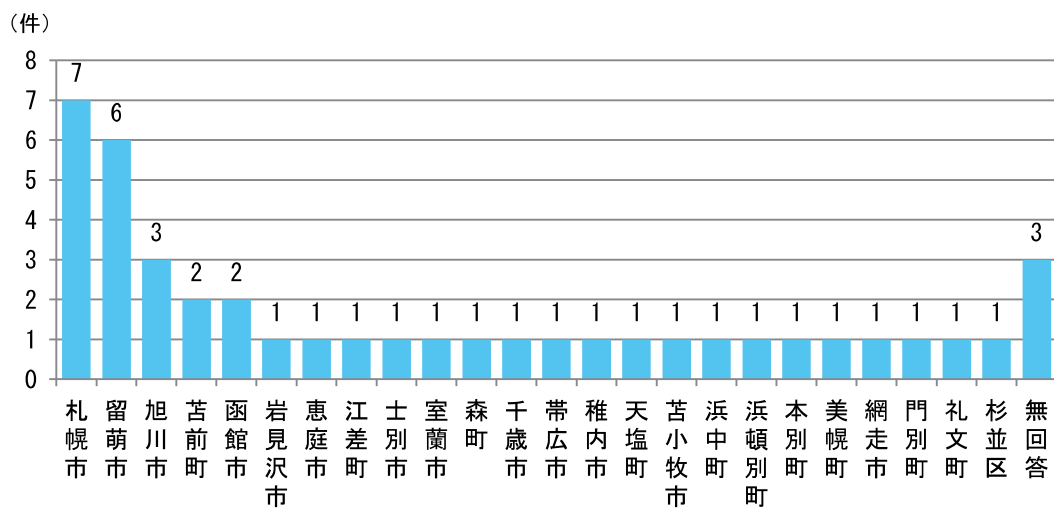
Q5. 転入前のお住まいをお答えください。(必要な事項を記載)

転入前の居住地は「札幌市」が5件と最も多く、続いて「網走市」が3件、「岩見沢市」が2件の順となっています。

2015年調査と比較すると「留萌市」と「旭川市」等が少なくなっています。



図表 2-82 転入前の居住地（2024年調査） 転入前の市町村

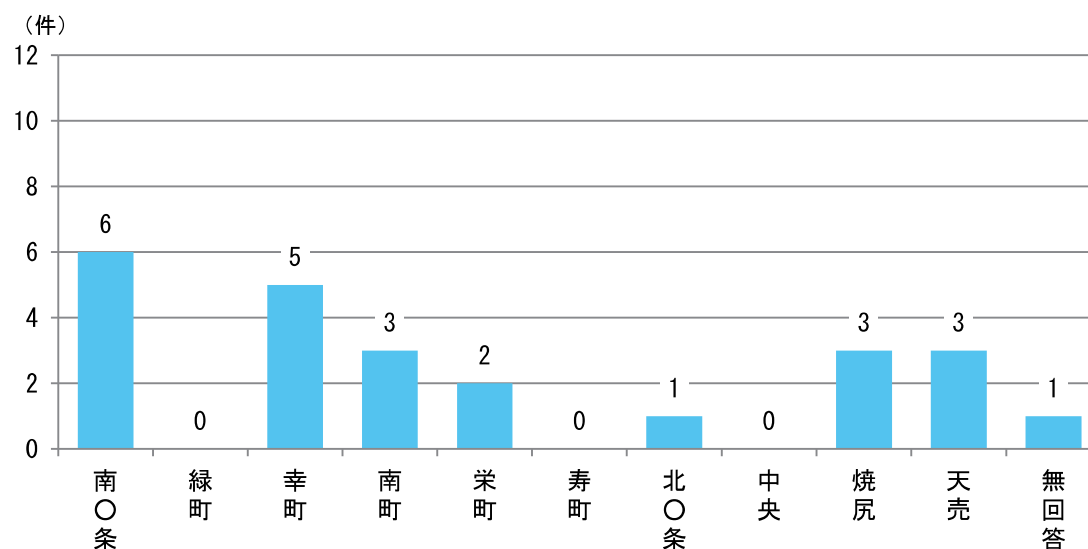


図表 2-83 転入前の居住地（2015年調査） 転入前の市町村

Q6. 現在のお住まいをお答えください。（一つに○）

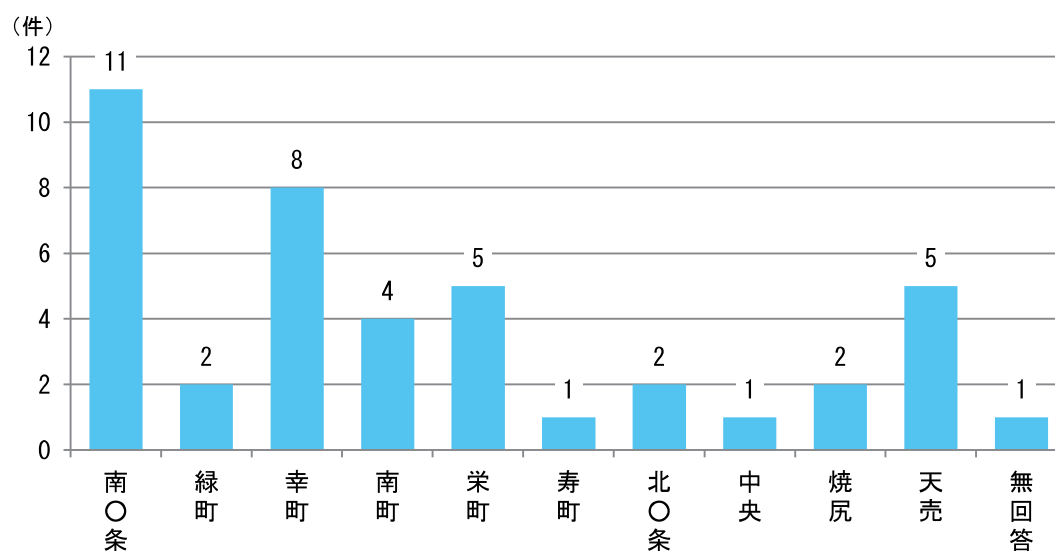
現在の居住地域は「南〇条」が6件と最も多く、続いて「幸町」が5件、「南町」、「焼尻」及び「天売」が3件の順となっています。

2015年調査と比較すると、減少している居住地域が多いです。



南〇条：南1条～南7条、北〇条：北1条～北6条

図表 2-84 現在の居住地域（2024年調査）



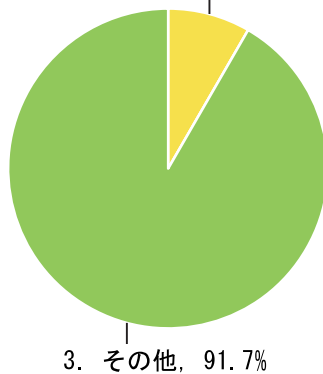
南〇条：南1条～南7条、北〇条：北1条～北6条

図表 2-85 現在の居住地域（2015年調査）

Q7. 転入された時の気持ちで、あてはまるものはどれですか。(一つに○)

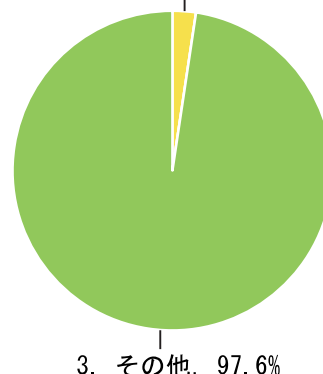
転入時の気持ちは「1.羽幌町に魅力を感じて転入した」が8.3%（2名）で、2015年調査の1名よりも増加しています。

1. 羽幌町に魅力を感じて転入した, 8.3%



3. その他, 91.7%

1. 羽幌町に魅力を感じて転入した, 2.4%



3. その他, 97.6%

図表 2-86 転入時の気持ち
(2024年調査)

図表 2-87 転入時の気持ち
(2015年調査)

Q7-1. Q7で1をお答えの方への質問です。どのような点に魅力を感じましたか。
(自由な意見を記載)

転入時の羽幌町の魅力は「素敵なものに会えると思った」と「高校進学」となっています。

- ・今まで住んだことのある市町村とは印象がだいぶ違ったので、何が魅力かは分からないけれど、素敵なものには会えそうだと感じた。
- ・高校進学

Q7-2. Q7で2をお答えの方への質問です。どのような点が周辺市町村と比較して良いと感じましたか。(自由な意見を記載)

該当なし。

Q7-3. 転入される前に、町について、検索や情報収集をしましたか。(一つに○)

転入される前の町についての情報収集は2名の方が行っており、情報の中で気になった内容は「エビ」、「ビーチ」及び「美しい夕日」となっています。

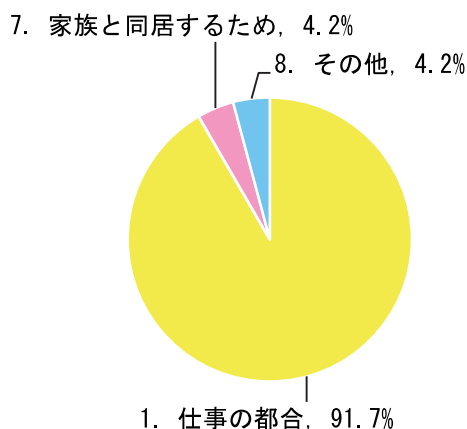
Q8. 転入されることになった最も大きなきっかけは何ですか。(一つに○)

転入の目的は「仕事の都合」が91.7%と、「7.家族と同居するため」の4.2%を大きく上回っています。

2015年調査と比較すると、「4.結婚のため」が4.8%（2件）ありました。

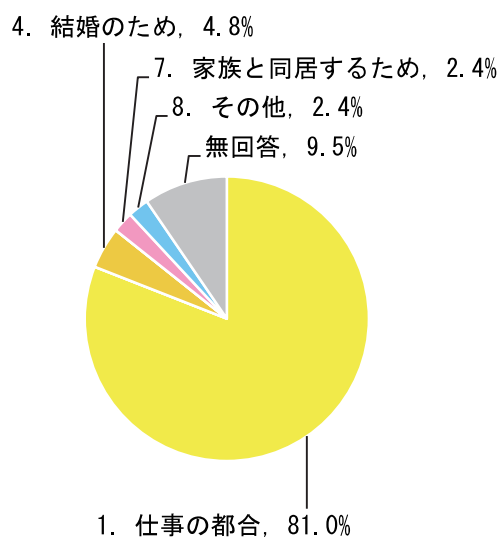
図表 2-88 転入の目的（2024年調査）

番号	選択肢	回答数
1	仕事の都合（就職、転職、転勤、退職など）	22
2	お子さんの学校の都合	0
3	住宅の都合（広さ、設備、家賃）	0
4	結婚のため	0
5	離婚のため	0
6	家族から独立するため	0
7	家族と同居するため	1
8	その他	1
無回答		0
合計		24



図表 2-89 転入の目的（2015年調査）

番号	選択肢	回答数
1	仕事の都合（就職、転職、転勤、退職など）	34
2	お子さんの学校の都合	0
3	住宅の都合（広さ、設備、家賃）	0
4	結婚のため	2
5	離婚のため	0
6	家族から独立するため	0
7	家族と同居するため	1
8	その他	1
無回答		4
合計		42



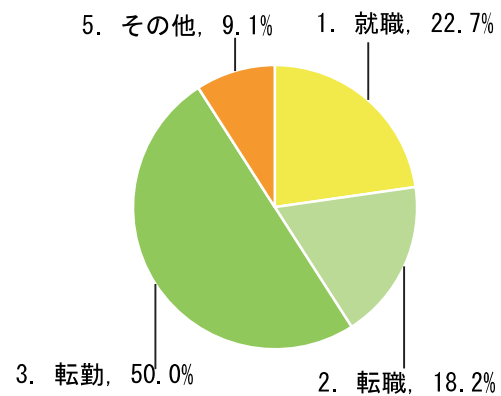
Q8-1. Q8で1をお答えの方への質問です。仕事の都合は、どの内容ですか。
(一つに〇)

仕事の都合の内容は「3.転勤」が50.0%と最も多く、続いて「1.就職」が22.7%、「2.転職」が18.2%の順となっています。

2015年調査と比較すると、「3.転勤」が少ない分、「1.就職」と「2.転職」が多くなっています。

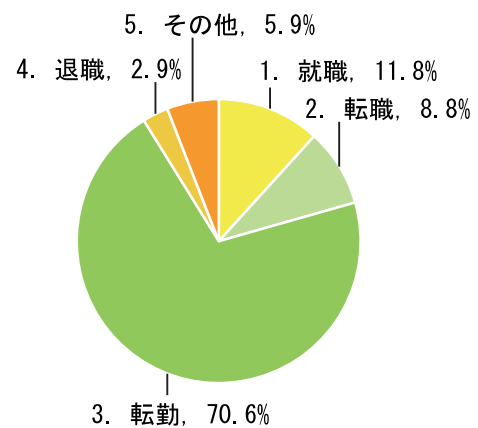
図表 2-90 仕事の都合の内容（2024年調査）

番号	選択肢	回答数
1	就職	5
2	転職	4
3	転勤	11
4	退職	0
5	その他	2
合計		22



図表 2-91 仕事の都合の内容（2015年調査）

番号	選択肢	回答数
1	就職	4
2	転職	3
3	転勤	24
4	退職	1
5	その他	2
合計		34

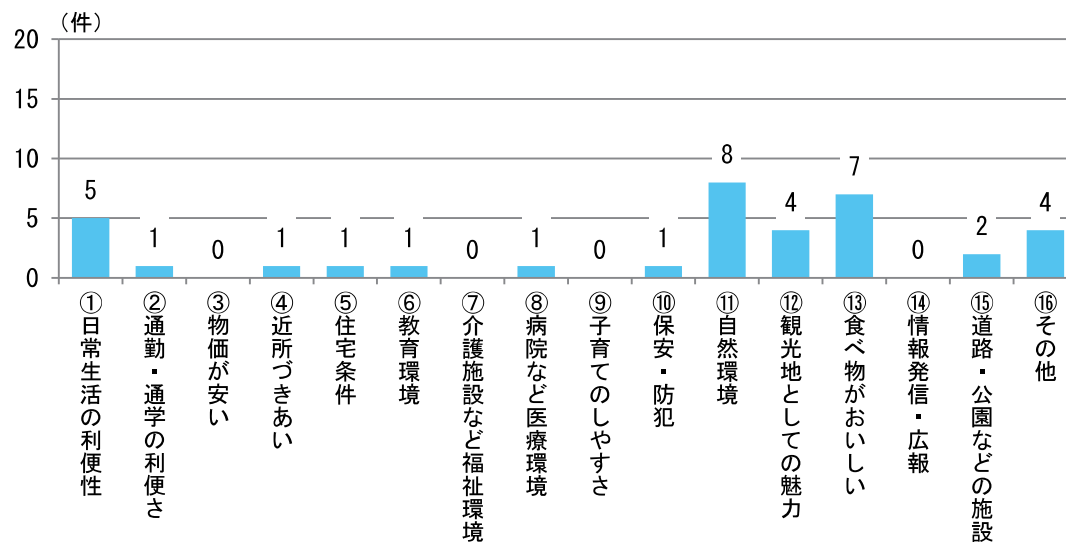


〔3〕転入者向けアンケート調査〕

Q9. 羽幌町に住んでみて、どの点に魅力を感じていますか。（あてはまるもの全てに○）

居住して魅力を感じた点は「⑪自然環境」が 8 件と最も多く、続いて「⑬食べ物おいしい」が 7 件、「①日常生活の利便性」が 5 件の順となっています。

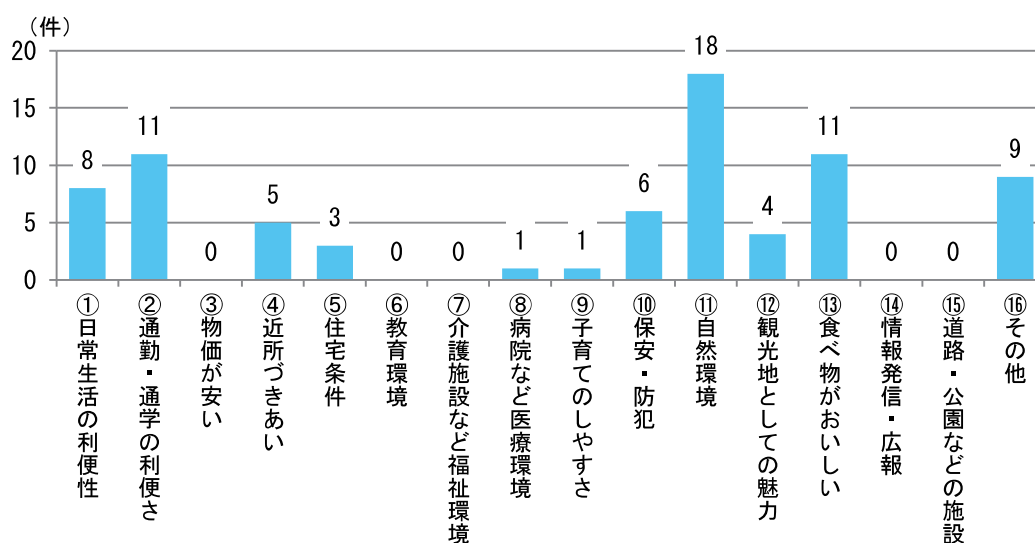
2015 年調査と比較すると、「②通勤・通学の利便さ」が少なくなっています。



図表 2-92 居住して魅力を感じた点（2024 年調査）

○その他の内容

- ・交通量が少なく運転しやすい
- ・穏やかな気持ちを取り戻すことができる

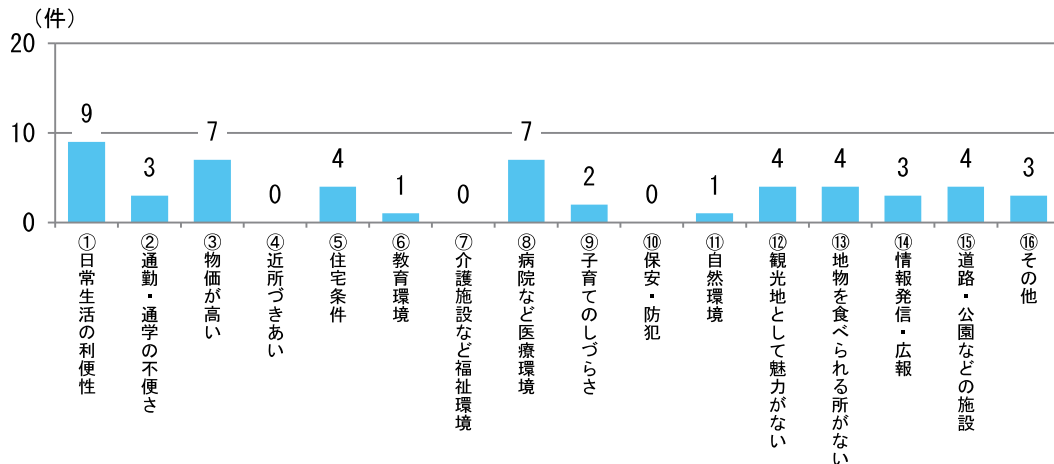


図表 2-93 居住して魅力を感じた点（2015 年調査）

Q10. 羽幌町に住んでみて、どの点に不満を感じていますか。(あてはまるもの全てに○)

居住して不満に感じた点は「①日常生活の利便性」が9件と最も多く、続けて「③物価が高い」と「⑧病院などの医療環境」が7件となっています。

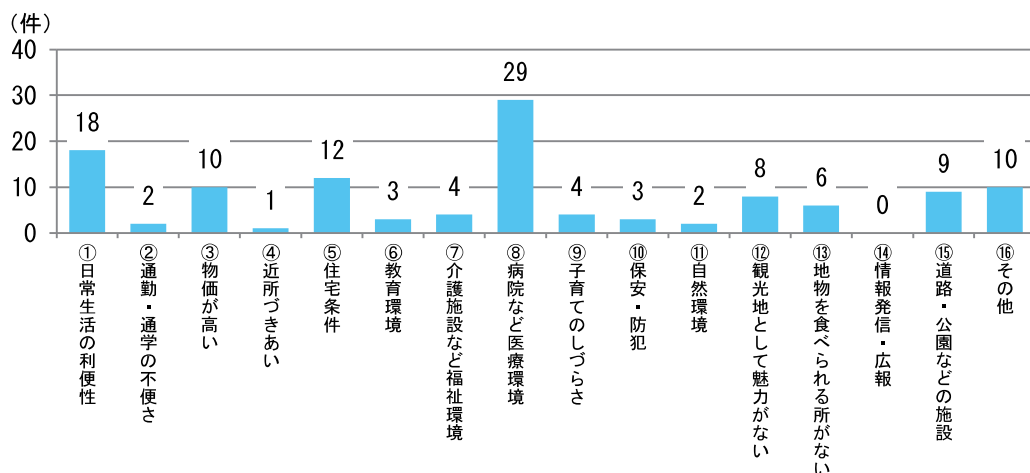
2015年調査と比較すると、「⑤住宅条件」が少なくなっています。



図表 2-94 居住して不満に感じた点 (2024年調査)

○その他の内容

- ・大きなイベント(町民同士のつながり)が少ない
- ・海岸線の汚さ(清掃等が必要)



図表 2-95 居住して不満に感じた点 (2015年調査)

○その他の内容

- ・娯楽施設が少ない
- ・就職先が少ない
- ・芸術文化的な行事や催しが少ない
- ・水がおいしくない
- ・おいしいものを食べることができる店が少ない
- ・風が強い、上下水道料金やガス料金が安い
- ・札幌市や旭川市への移動が不便

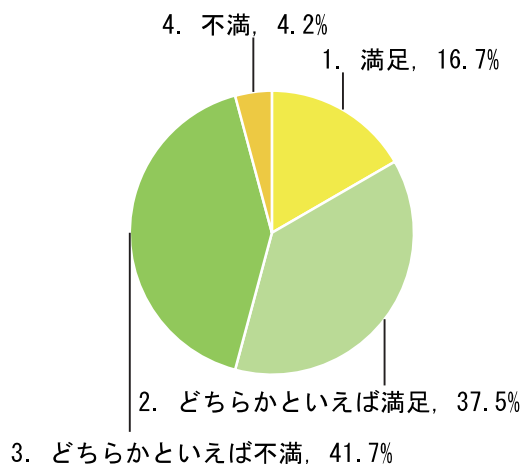
Q11. 羽幌町に住んで、現時点で満足していますか。(一つに○)

居住満足度は「3.どちらかといえば不満」が41.7%と最も多く、続いて「2.どちらかといえば満足」が37.5%、「1.満足」が16.7%の順となっています。

2015年調査と比較すると、「2.どちらかといえば満足」が減少し、「3.どちらかといえば不満」が増加しています。

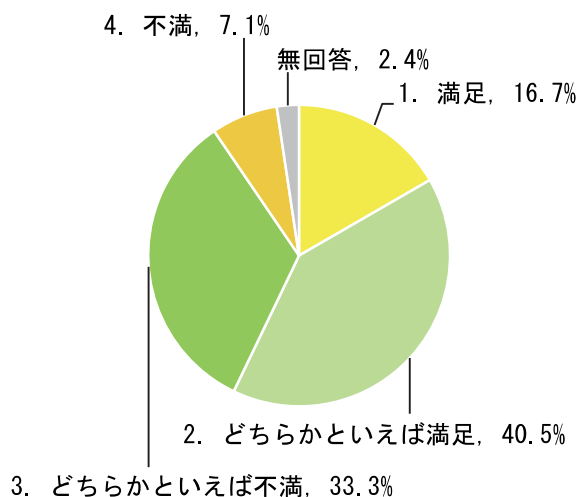
図表 2-96 居住満足度（2024年調査）

番号	選択肢	回答数
1	満足	4
2	どちらかといえば満足	9
3	どちらかといえば不満	10
4	不満	1
無回答		0
合計		24



図表 2-97 居住満足度（2015年調査）

番号	選択肢	回答数
1	満足	7
2	どちらかといえば満足	17
3	どちらかといえば不満	14
4	不満	3
無回答		1
合計		42



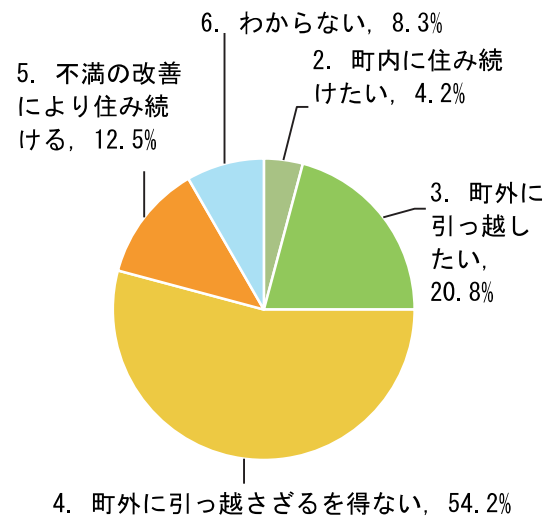
Q12. 今後とも羽幌町に住みつづけたいと思いますか。(一つに〇)

今後の居留意向は「4.町外に引っ越さざるを得ない」が54.2%と最も多く、続いて「3.町外に引っ越したい」が20.8%、「5.不満の改善により住み続ける」が12.5%の順となっています。

2015年調査と比較すると、「4.町外に引っ越さざるを得ない」と「5.不満の改善により住み続ける」が多く、「2.町内に住み続けたい」が少なくなっています。

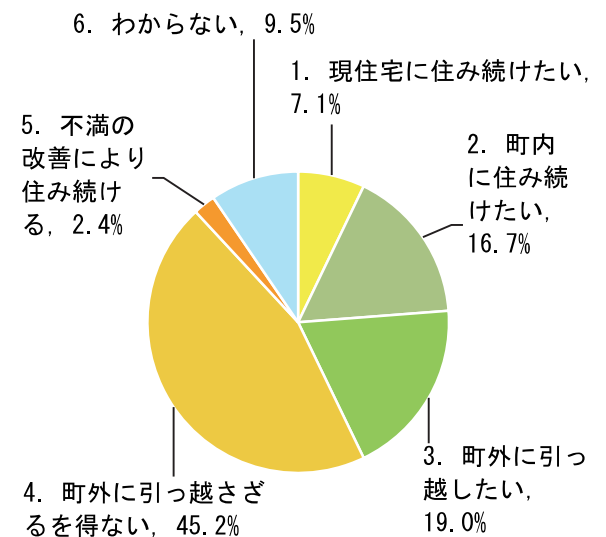
図表 2-98 居住満足度（2024 年調査）

番号	選択肢	回答数
1	現在の住宅にこれからも住みつづけたい	0
2	転居するかもしれないが、羽幌町内に住みつづけたい	1
3	将来は町外に引っ越したい	5
4	将来は町外に引っ越さざるを得ない	13
5	不満を感じている点が改善されれば、住みつづけたい	3
6	わからない	2
合計		24



図表 2-99 居住満足度（2015 年調査）

番号	選択肢	回答数
1	現在の住宅にこれからも住みつづけたい	3
2	転居するかもしれないが、羽幌町内に住みつづけたい	7
3	将来は町外に引っ越したい	8
4	将来は町外に引っ越さざるを得ない	19
5	不満を感じている点が改善されれば、住みつづけたい	1
6	わからない	4
合計		42



Q13. その他、羽幌町に住んでいて感じることや、人口減少対策に関するご意見などありましたら、お書きください。(自由に意見を記載)

羽幌町の居住や人口減少対策についての意見について、「国の施策の方向」ごとに整理すると以下のとおりとなります。

国の施策の方向	意見
①地方に仕事をつくる	—
②人の流れをつくる	・住居の確保 ・島留学の学生を呼び込む ・離島居住者への経済的な支援 ・観光振興 ・空き家バンクの充実 ・ホームページの充実 ・港まつりの企画・開催
③結婚・出産・子育ての希望をかなえる	—
④魅力的な地域をつくる	・住民税や水道料金の減免 ・医療サービスの質の向上 ・ゴミの分別方法の周知

(4) 転出者向けアンケート調査

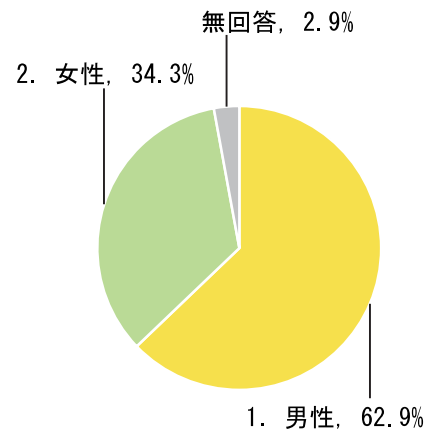
Q1.「性別」と「年齢」をお答えください。(一つに○)

①性別

性別は「1.男性」が62.9%と、「2.女性」の34.3%を大きく上回っています。
2015年調査は2024年調査と同様の傾向となっています。

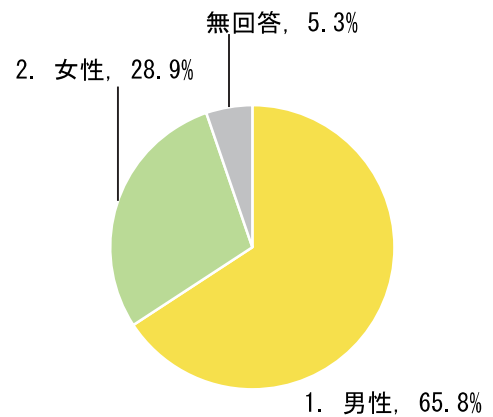
図表 2-100 性別（2024年調査）

番号	選択肢	回答数
1	男性	22
2	女性	12
無回答		1
合計		35



図表 2-101 性別（2015年調査）

番号	選択肢	回答数
1	男性	25
2	女性	11
無回答		2
合計		38



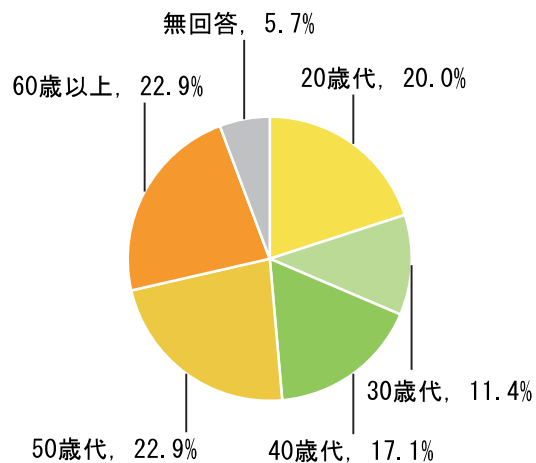
②年齢階級

年齢は「30 歳代」が 11.4%となっていますが、他の年齢階層は 20%前後の回答を得ることができました。

2015 年調査は 2024 年調査と同様の傾向となっています。

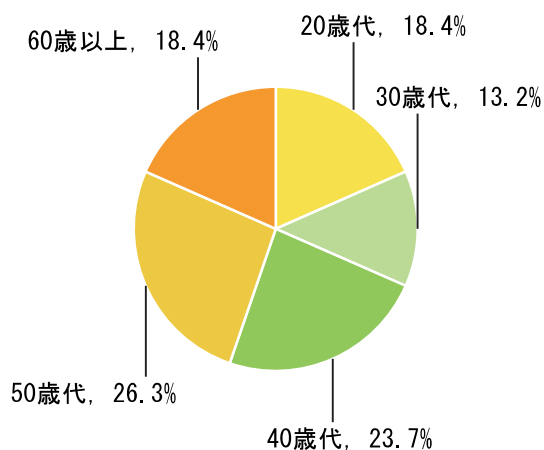
図表 2-102 年齢（2024 年調査）

番号	選択肢	回答数
1	20 歳代	7
2	30 歳代	4
3	40 歳代	6
4	50 歳代	8
5	60 歳以上	8
無回答		2
合計		35



図表 2-103 年齢（2015 年調査）

番号	選択肢	回答数
1	20 歳代	7
2	30 歳代	5
3	40 歳代	9
4	50 歳代	10
5	60 歳以上	7
無回答		0
合計		38



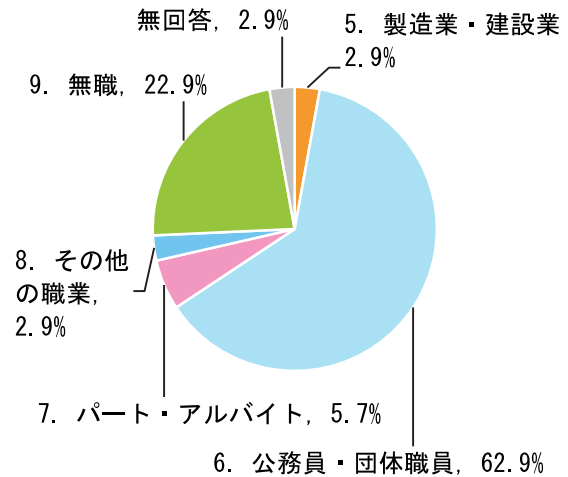
Q2. 職業をお答えください。(一つに〇)

職業は「6.公務員・団体職員」が62.9%と最も多く、続いて「9.無職」が22.9%、「7.パート・アルバイト」が5.7%の順となっています。

2015年調査と比較すると、「7.パート・アルバイト」がなく、「6.公務員・団体職員」と「4.商業・サービス業」が多くなっています。

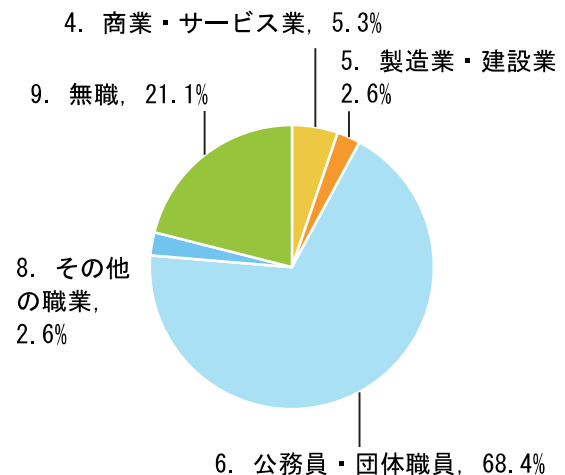
図表 2-104 職業 (2024 年調査)

番号	選択肢	回答
1	農業	0
2	林業	0
3	漁業	0
4	商業・サービス業	0
5	製造業・建設業	1
6	公務員・団体職員	22
7	パート・アルバイト	2
8	その他の職業	1
9	無職 (主婦・学生含む)	8
無回答		1
合 計		35



図表 2-105 職業 (2015 年調査)

番号	選択肢	回答
1	農業	0
2	林業	0
3	漁業	0
4	商業・サービス業	2
5	製造業・建設業	1
6	公務員・団体職員	26
7	パート・アルバイト	0
8	その他の職業	1
9	無職 (主婦・学生含む)	8
無回答		0
合 計		38



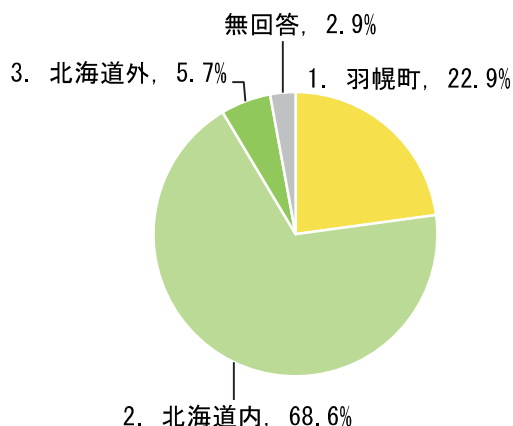
Q3. あなたの出身地は、どちらですか。（一つに〇）

出身地は「2.北海道内」が68.6%と最も多く、続いて「1.羽幌町」が22.9%、「3.北海道外」が5.7%の順となっています。

2015年調査と比較すると、「1.羽幌町」が多い分「2.北海道内」が少なくなっています。

図表 2-106 出身地（2024年調査）

番号	選択肢	回答数
1	羽幌町	8
2	北海道内（市町村名を記入）	24
3	北海道外（都道府県名を記入）	1
合計		35



●「北海道内」の内訳

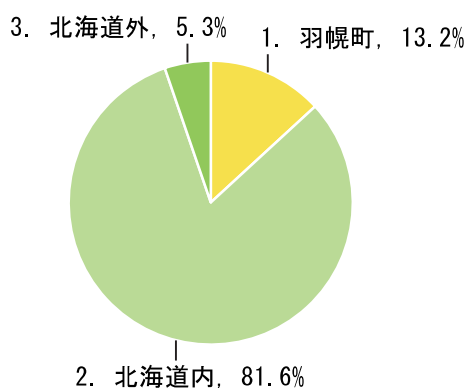
札幌市（6）、旭川市（2）、室蘭市（2）、岩見沢市、滝川市、千歳市、天塩町、苫前町、根室市、稚内市、音更町、士幌町、壮瞥町、函館市、北見市、北広島市、留萌市／計24

●「北海道外」の内訳

青森県、滋賀県／計2

図表 2-107 出身地（2015年調査）

番号	選択肢	回答数
1	羽幌町	5
2	北海道内（市町村名を記入）	31
3	北海道外（都道府県名を記入）	2
合計		38



●「北海道内」の内訳

札幌市（7）、旭川市（2）、恵庭市（2）、小樽市（2）、芽室町、岩見沢市、士別市、七飯町、朱鞠内、小平町、松前町、赤平市、帯広市、稚内市、長万部町、苫前町、函館市、豊富町、夕張市、留萌市、無回答（2）／計31

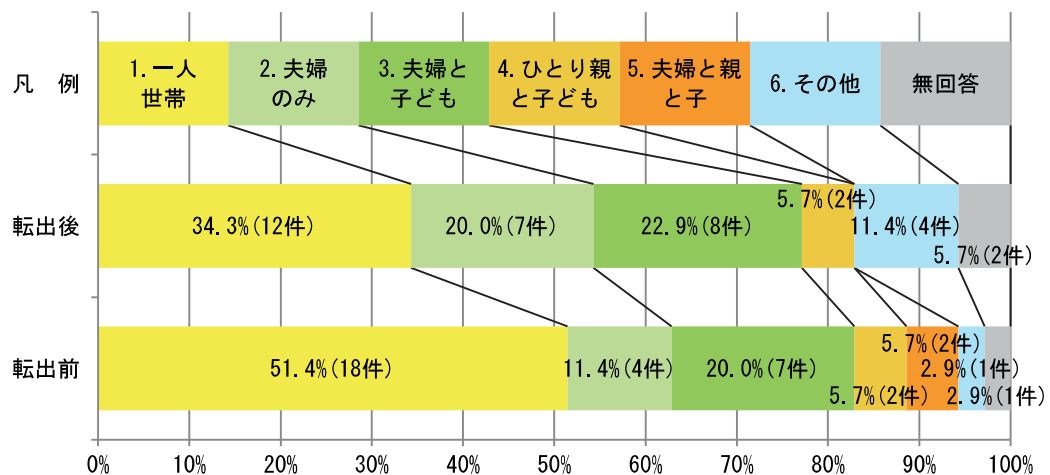
●「北海道外」の内訳

大阪府、宮城県／計2

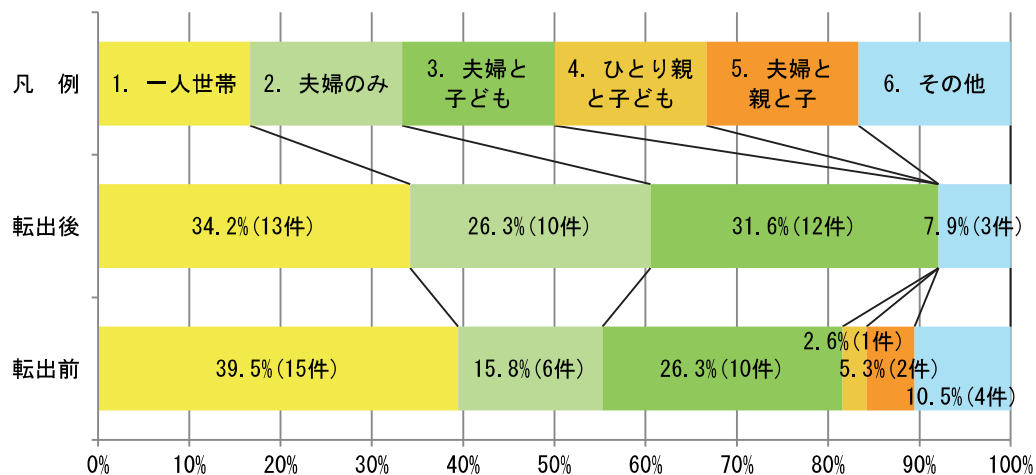
Ｑ４．羽幌町に住まわれた時と、現在の家族構成についてお答えください。
（それぞれ一つに○）

転出前後の家族構成は転出前で「１.一人世帯」が 51.4％に対し、転出後は「１.一人世帯」が 34.3％に減少する一方で、「３.夫婦と子ども」が 22.9％、「２.夫婦のみ」が 20.0％に増加しています。

2015 年調査においても同様の傾向となっていますが、「３.夫婦と子ども」でより増加しています。



図表 2-108 転出前後の家族構成（2024 年調査）

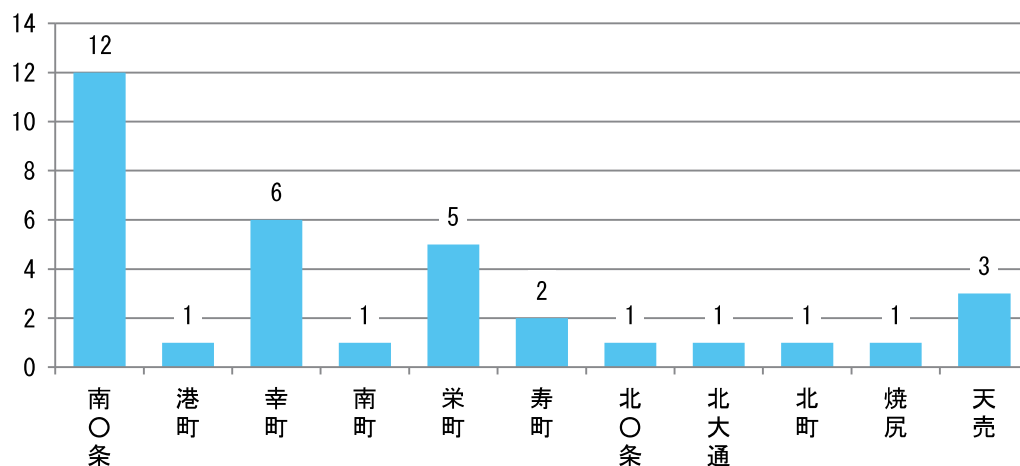


図表 2-109 転出前後の家族構成（2015 年調査）

Ｑ５．羽幌町に住まわれていた時の地域をお答えください。（一つに○）

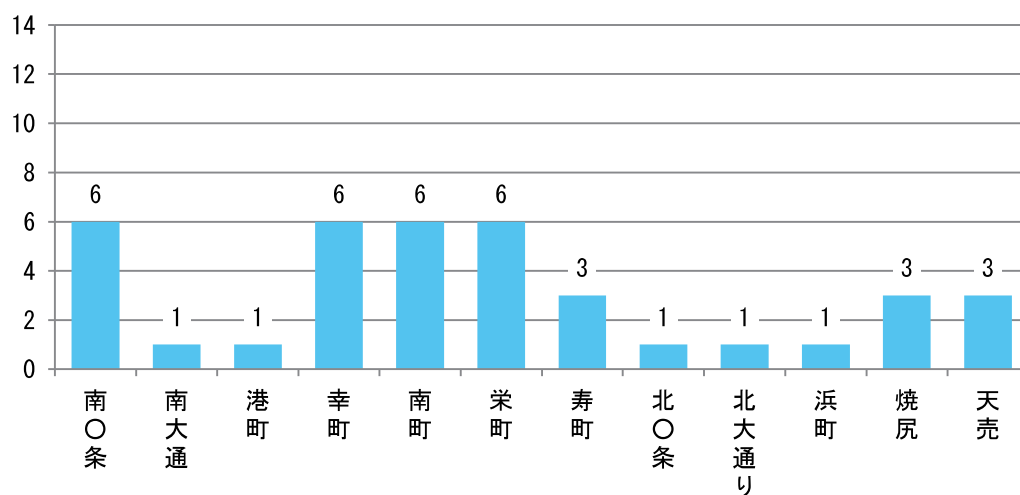
転出前の居住地域は「南〇条」が１２件と最も多く、続いて「幸町」が６件、「栄町」が５件の順となっています。

２０１５年調査と比較すると、概ね市街地全域に分布している状況が、２０２４年調査においては中心部に集中して居住する傾向となっています。



南〇条：南１条～南７条、北〇条：北１条～北６条

図表 ２-１１０ 転出前の居住地域（２０２４年調査）



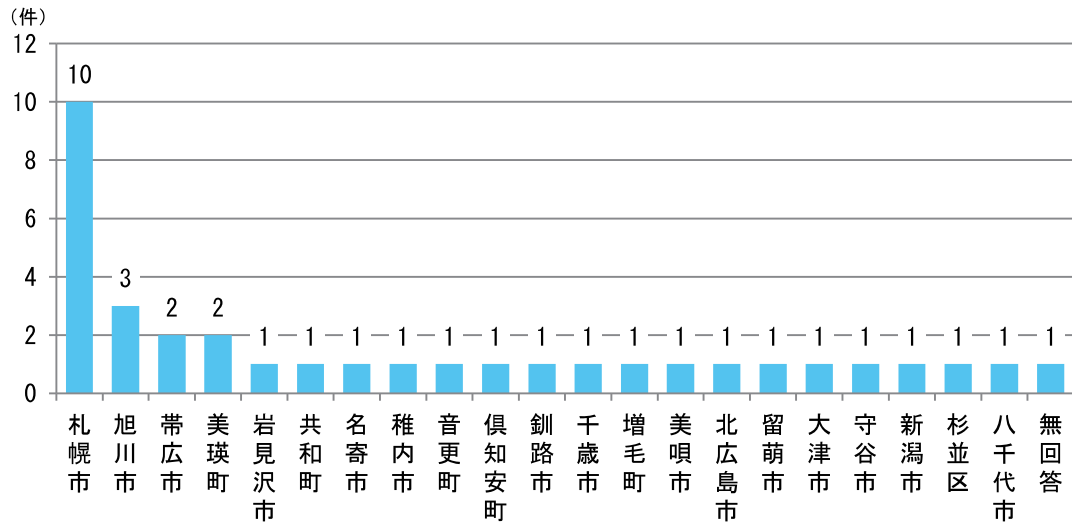
南〇条：南１条～南７条、北〇条：北１条～北６条

図表 ２-１１１ 転出前の居住地域（２０１５年調査）

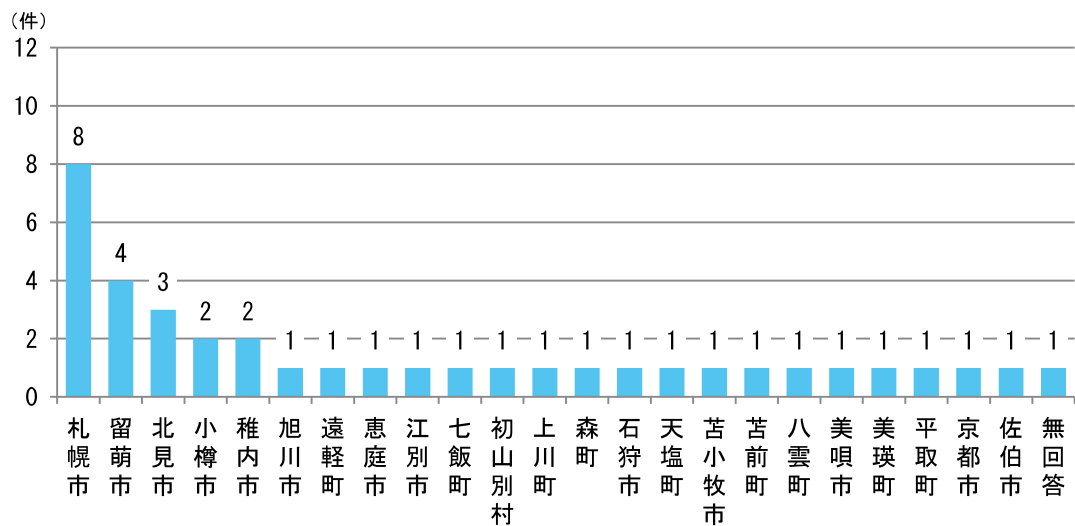
Ｑ６．現在の居住地をお答えください。（必要な事項を記載）

現在の居住地は「札幌市」が 10 件と最も多く、続いて「旭川市」が 3 件、「帯広市」と「美瑛町」が 2 件の順となっています。

2015 年調査と比較すると、旭川市が多い一方で、留萌市が少なくなっています。



図表 2-112 現在の居住地（2024 年調査）



図表 2-113 現在の居住地（2015 年調査）

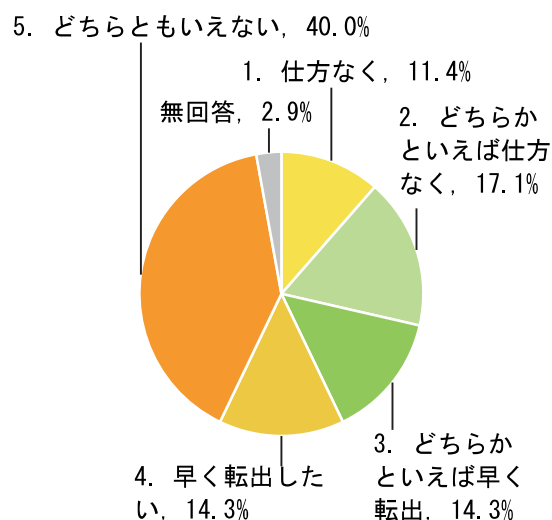
Ｑ７．羽幌町から転出された時の気持ちで、あてはまるものはどれですか。（一つに〇）

転出した時の気持ちは「5.どちらともいえない」が40.0%と最も多く、続いて「2.どちらかといえば仕方なく」が17.1%、「3.どちらかといえば早く転出」と「4.早く転出」が14.3%との順となっています。

2015年調査と比較すると、「5.どちらともいえない」が多い分、「1.仕方なく」と「2.どちらかといえば仕方なく」が少なくなっています。

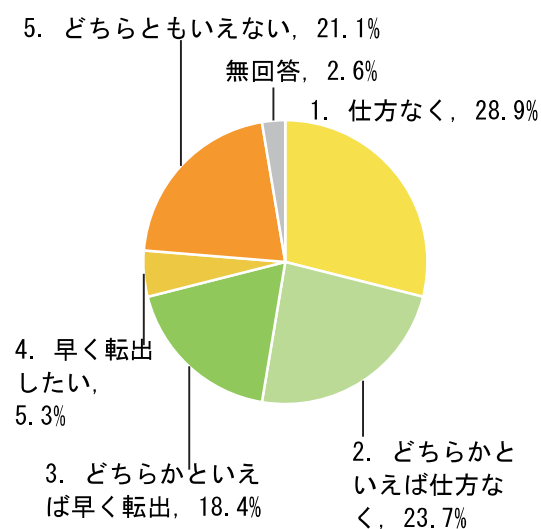
図表 2-114 転出した時の気持ち（2024年調査）

番号	選択肢	回答数
1	仕方なく転出した	4
2	どちらかといえば、仕方なく転出した	6
3	どちらかといえば、早く転出したかった	5
4	早く転出したかった	5
5	どちらともいえない	14
無回答		1
合計		35



図表 2-115 転出した時の気持ち（2015年調査）

番号	選択肢	回答数
1	仕方なく転出した	11
2	どちらかといえば、仕方なく転出した	9
3	どちらかといえば、早く転出したかった	7
4	早く転出したかった	2
5	どちらともいえない	8
無回答		1
合計		38

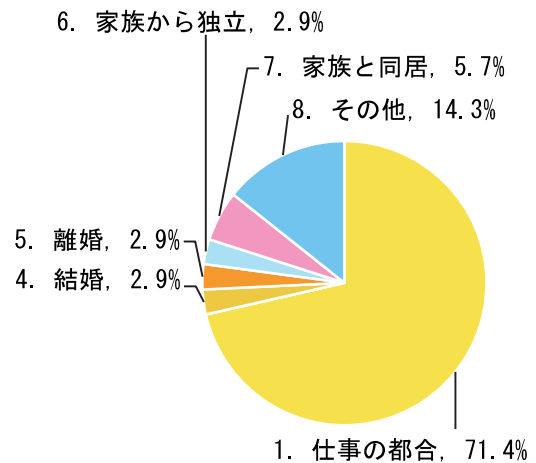


Q8. 転出されることになった最も大きなきっかけは何ですか。（一つに○）

転出の目的は「1.仕事の都合」が71.4%と、他の目的を大きく上回っています。
2015年調査と比較すると、「1.仕事の都合」が減少しています。

図表 2-116 転出の目的（2024年調査）

番号	選択肢	回答数
1	仕事の都合（就職、転職、転勤、退職など）	25
2	お子さんの学校の都合	0
3	住宅の都合（広さ、設備、家賃）	0
4	結婚のため	1
5	離婚のため	1
6	家族から独立するため	1
7	家族と同居するため	2
8	その他（自由記述）	5
合計		35

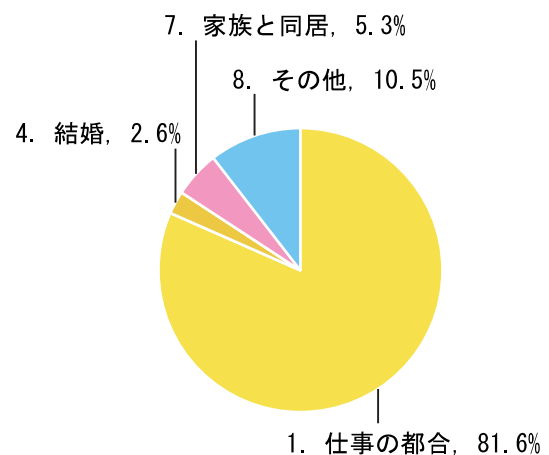


その他の内容

・家族が住んでいる（2）

図表 2-117 転出の目的（2015年調査）

番号	選択肢	回答数
1	仕事の都合（就職、転職、転勤、退職など）	31
2	お子さんの学校の都合	0
3	住宅の都合（広さ、設備、家賃）	0
4	結婚のため	1
5	離婚のため	0
6	家族から独立するため	0
7	家族と同居するため	2
8	その他（自由記述）	4
合計		38



その他の内容

・進学のため ・病気のため ・特別養護老人ホーム（しあわせ荘の退去）

〔４）転出者向けアンケート調査〕

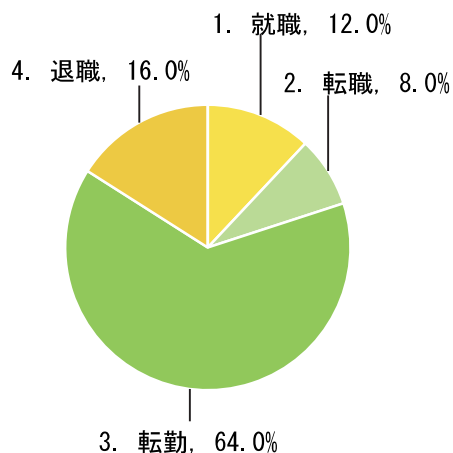
Ｑ８－１．Ｑ８で１をお答えの方への質問です。仕事の都合は、どの内容ですか。
(一つに〇)

仕事の都合の内容は「3.転勤」が64.0%と最も多く、続いて「4.退職」が16.0%、「1.就職」が12.0%の順となっています。

2015年調査と比較すると、「1.就職」、「2.転職」及び「3.転勤」が増加しています。

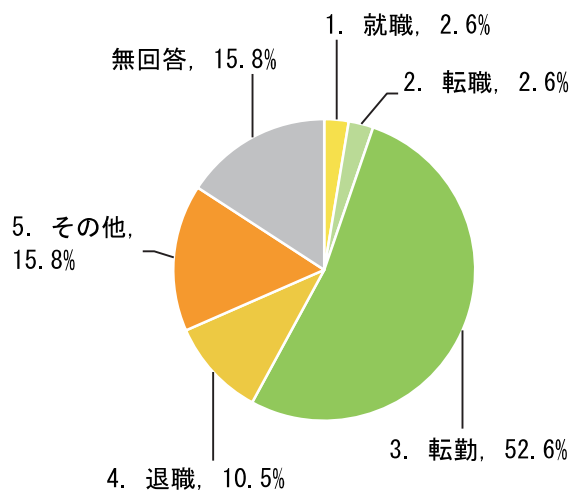
図表 2-118 仕事の都合の内容（2024年調査）

番号	選択肢	回答数
1	就職	3
2	転職	2
3	転勤	16
4	退職	4
5	その他	0
無回答		0
合計		25



図表 2-119 仕事の都合の内容（2015年調査）

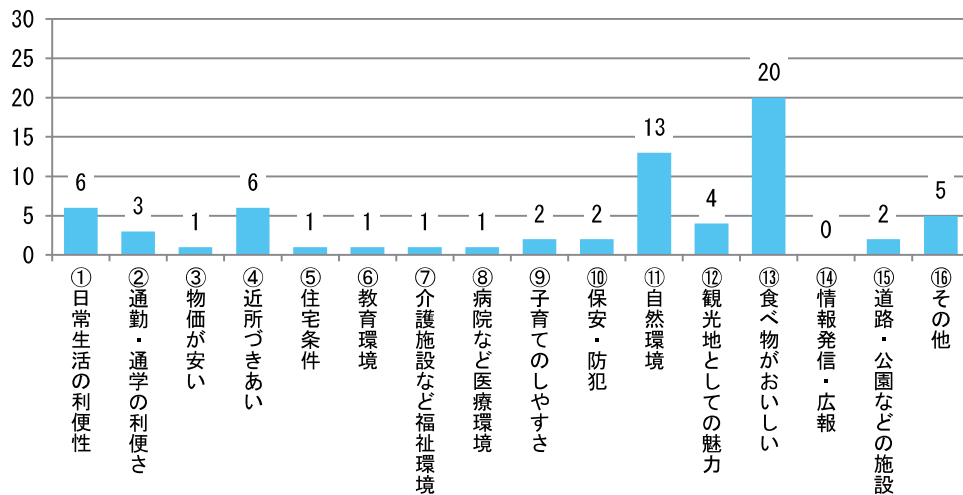
番号	選択肢	回答数
1	就職	1
2	転職	1
3	転勤	20
4	退職	4
5	その他	6
無回答		6
合計		38



Ｑ９．羽幌町に住んでいて、どの点に魅力を感じていましたか。
（あてはまるもの全てに○）

居住して魅力を感じた点は「⑬食べ物おいしい」が２０件と最も多く、続いて「⑪自然環境」が１３件、「①日常生活の利便性」と「④近所づきあい」が６件の順となっています。

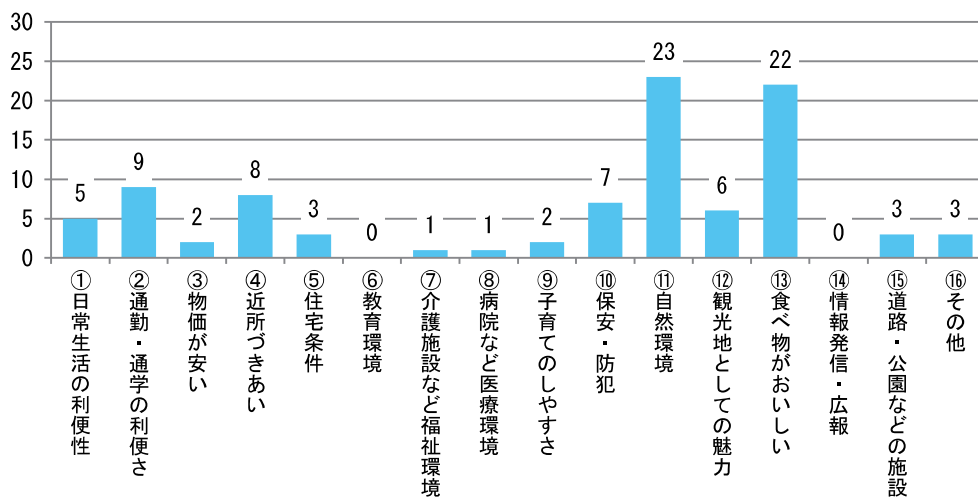
２０１５年調査と比較すると、「⑪自然環境」と「②通勤・通学の利便さ」が減少している以外は同様の傾向となっています。



図表 2-120 居住して魅力を感じた点（2024年調査）

○その他の内容

・生まれ故郷（２） ・温泉が近くにたくさんある。



図表 2-121 居住して魅力を感じた点（2015年調査）

○その他の内容

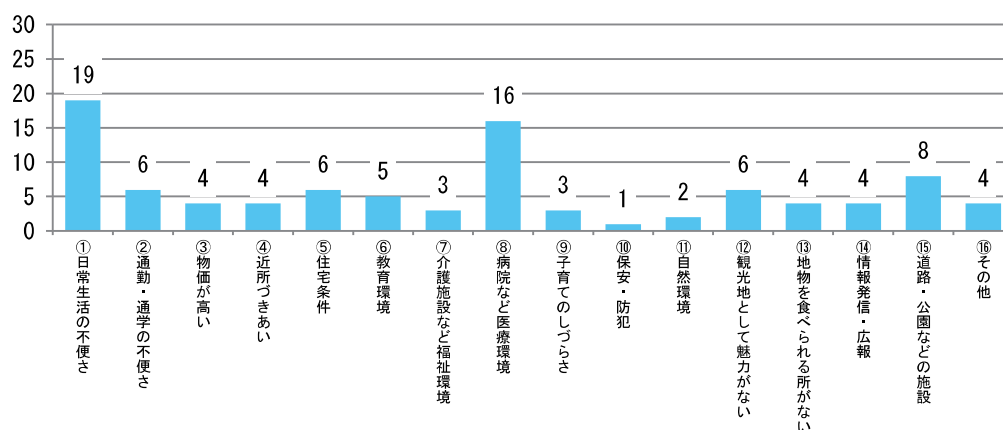
・甘エビ、島、炭鉱 ・離島なのでないです。 ・人が良い

〔４）転出者向けアンケート調査〕

Ｑ１０．羽幌町に住んでいて、どの点に不満を感じていましたか。
（あてはまるもの全てに○）

居住して不満を感じた点は「①日常生活の不便さ」が 19 件と最も多く、続いて「⑧病院などの医療環境」が 16 件、「⑮道路・公園などの施設」が 8 件の順となっています。

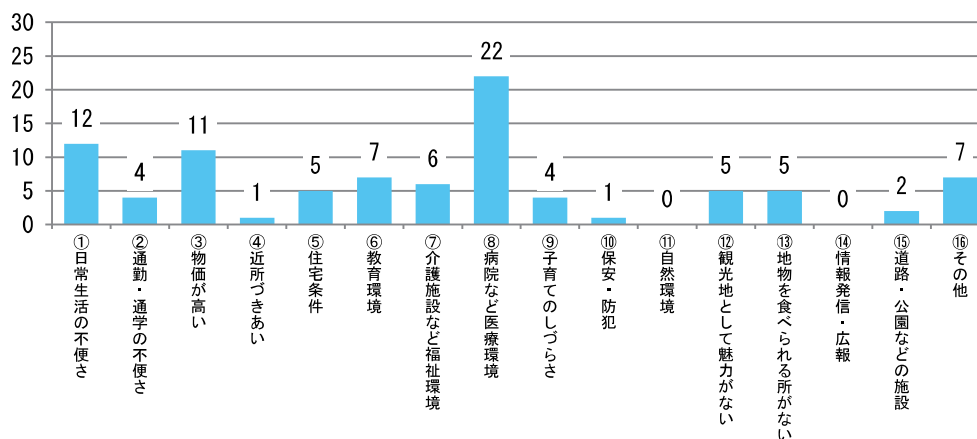
2015 年調査と比較すると、「③物価が高い」が減少している以外は同様の傾向となっています。



図表 2-122 居住して不満を感じた点（2024 年調査）

○その他の内容

- ・水道料金が低い。
- ・娯楽施設。



図表 2-123 居住して不満を感じた点（2015 年調査）

○その他の内容

- ・観光者用の宿泊施設・水産業の発信力の弱さ
- ・挨拶しても返されないことが多かった
- ・観光資源である天売・焼尻島へ、町の子供たちも（親も）行きやすい環境が必要だと思います。※交通費、島の周遊設備等
- ・ゴミ収集の曜日が少ない。
- ・出産できない
- ・ホワイトアウトになる強風

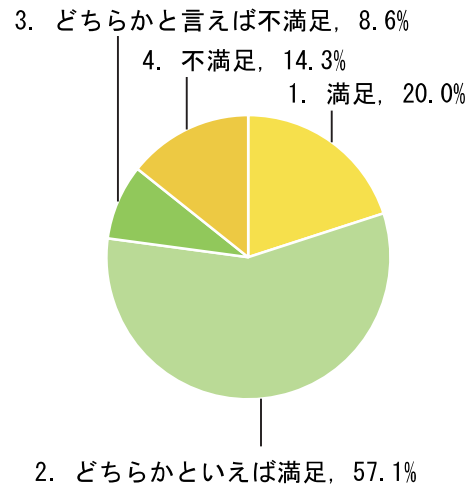
Ｑ１１．羽幌町に住んで、満足でしたか。（一つに○）

居住満足度は「2.どちらかといえば満足」が57.1%と最も多く、続いて「1.満足」が20.0%、「4.不満」が14.3%の順となっています。

2015年調査と比較すると、「1.満足」が減少して「4.不満」が増加しています。

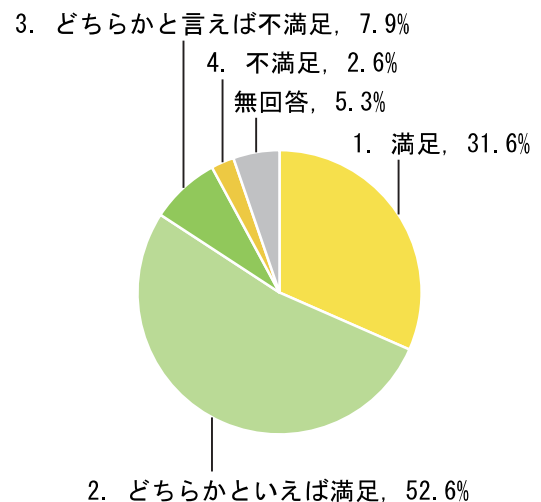
図表 2-124 居住満足度（2024年調査）

番号	選択肢	回答数
1	満足	7
2	どちらかといえば満足	20
3	どちらかといえば不満	3
4	不満	5
無回答		0
合計		35



図表 2-125 居住満足度（2015年調査）

番号	選択肢	回答数
1	満足	12
2	どちらかといえば満足	20
3	どちらかといえば不満	3
4	不満	1
5	無回答	2
合計		38



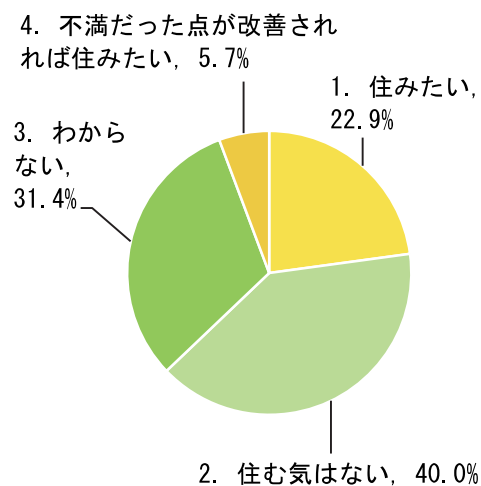
Ｑ１２．もし、機会があれば、羽幌町にもう一度住みたいと思いますか。（一つに○）

再居住の意向は「2.住む気はない」が40.0%と最も多く、続いて「3.わからない」が31.4%、「1.住みたい」が22.9%の順となっています。

2015年調査と比較すると、「2.住む気はない」が増加し、「1.住みたい」が減少しています。

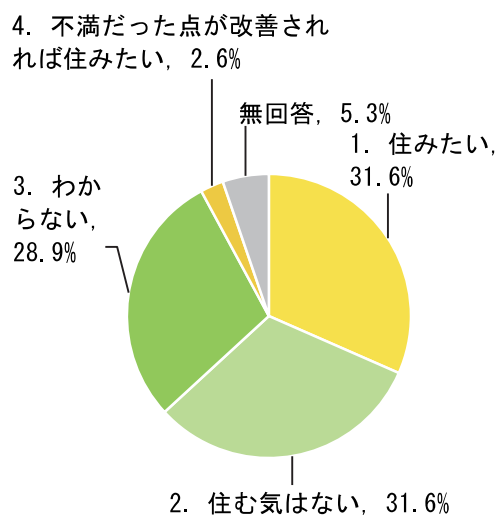
図表 2-126 再居住の意向（2024年調査）

番号	選択肢	回答数
1	住みたい	8
2	住む気はない	14
3	わからない	11
4	不満だった点が改善されれば住みたい	2
無回答		0
合計		35



図表 2-127 再居住の意向（2015年調査）

番号	選択肢	回答数
1	住みたい	12
2	住む気はない	12
3	わからない	11
4	不満だった点が改善されれば住みたい	1
無回答		2
合計		38



Q13. 羽幌町に住んでいて良かったこと、不便を感じたこと、または、人口減少対策に関するご意見などありましたらお書きください。(自由に意見を記載)

羽幌町の居住や人口減少対策についての意見について、「国の施策の方向」ごとに整理すると以下のとおりとなります。

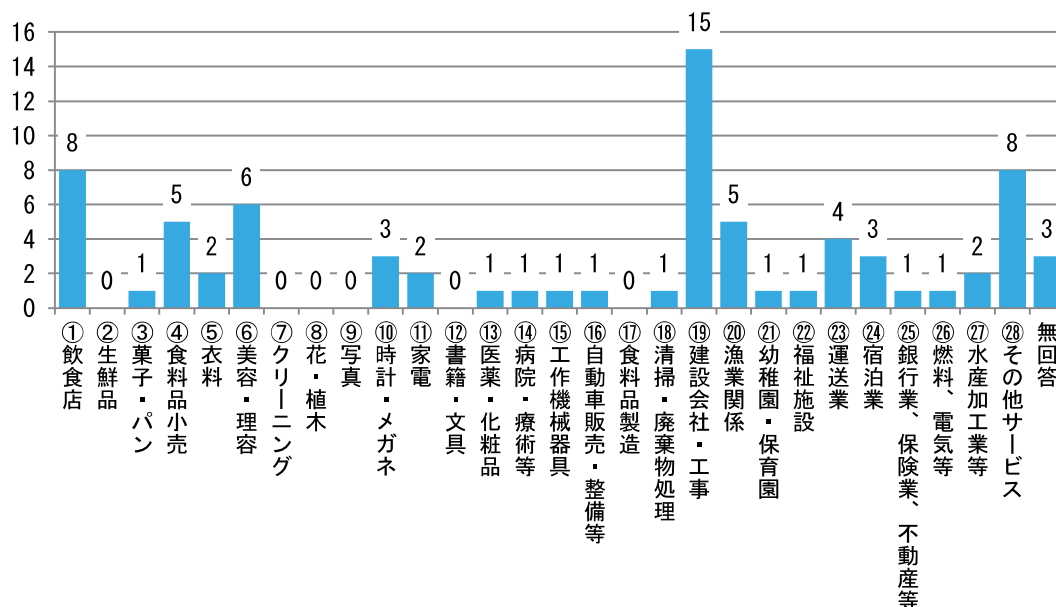
国の施策の方向	意見
①地方に仕事をつくる	—
②人の流れをつくる	・親切で楽しく暮らせた（2件） ・人口減少は受け入れるべき（2件） ・サンセットプラザホテルが近く低料金で利用できた ・一度転出しまうと戻りたいと思うほど魅力を感じない ・観光施設を活用して外から人を呼び込む
③結婚・出産・子育ての希望をかなえる	・教育費への支援
④魅力的な地域をつくる	・日常の買い物には困らなかった（4件） ・医療サービスが不満 ・こまめな除雪に満足 ・降雪が多く除雪に苦しんだ ・図書館に自習スペースの設置 ・中学校の総合学習で取り組んでいることを町内に発信 ・水道光熱費と食料品が割高 ・スクラップ&ビルドを強力に進めないと過疎化が進む ・医療は質の悪い道立病院のみ ・飲食店がすくない

(5) 企業向けアンケート調査

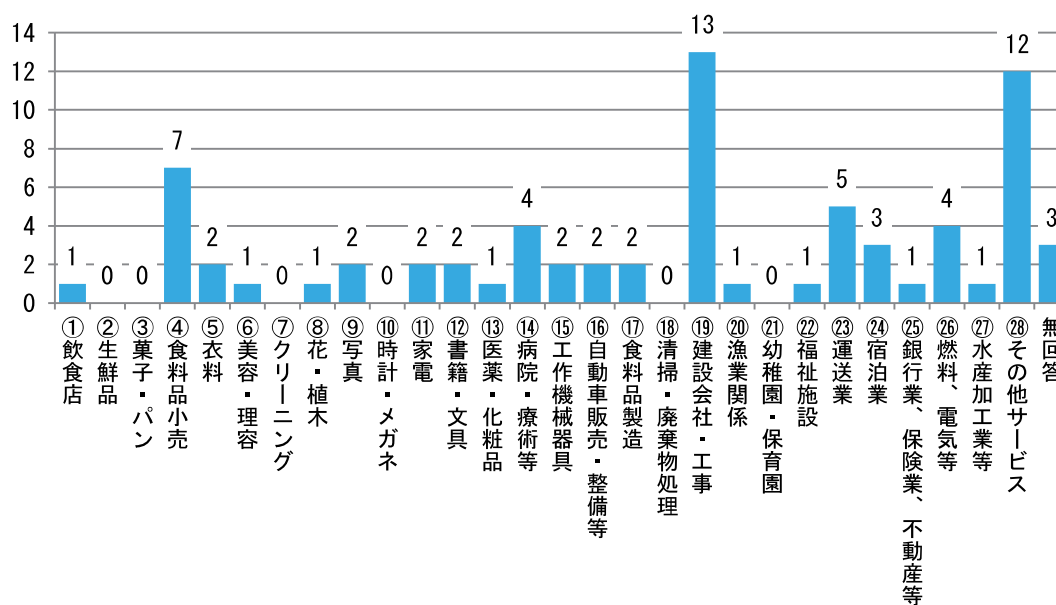
Q1. 営んでいる業種についてお答えください。(一つに〇)

業種は「⑱建設会社・工事」が15件と最も多く、続いて「①飲食店」と「⑳その他サービス」が8件、「⑥美容・理容」が6件の順となっています。

2015年調査と比較すると、「①飲食店」と「⑥美容・理容」が多い状況です。



図表 2-128 業種 (2024年調査)

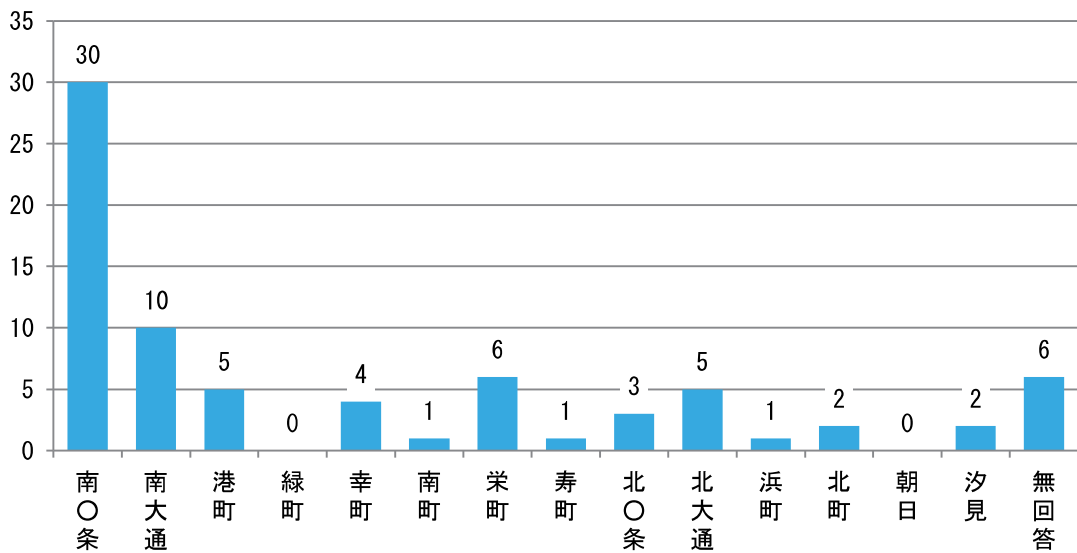


図表 2-129 業種 (2015年調査)

Q2. 経営されている場所（地区名）をお答えください。（一つに○）

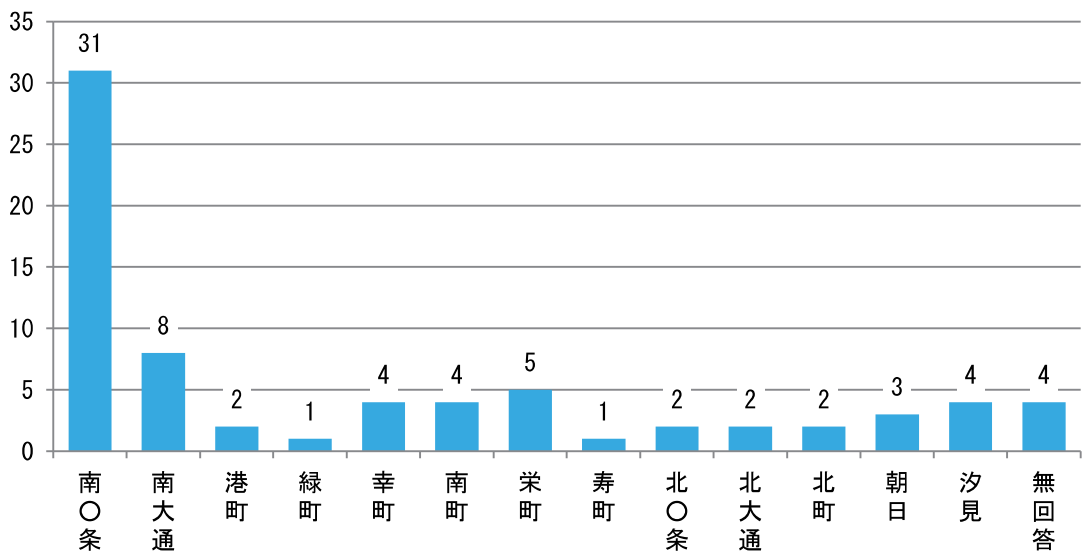
事業地は「南〇条」が 30 件と最も多く、続いて「南大通」が 10 件、「栄町」が 6 件の順となっています。

2015 年調査と比較すると、同様の傾向となっています。



南〇条：南 1 条～南 7 条、北〇条：北 1 条～北 6 条

図表 2-130 事業地（2024 年調査）



図表 2-131 事業地（2015 年調査）

Q3. 経営者の方の性別と年齢をお答えください。(一つに○)

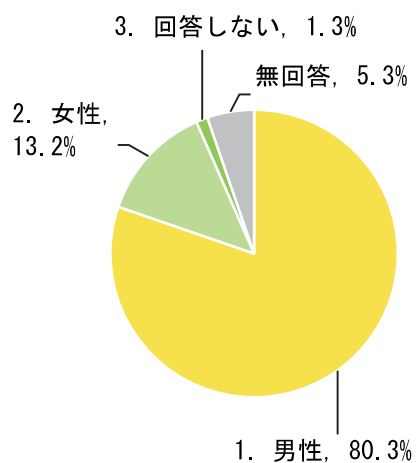
①経営者の性別

性別は「1.男性」が80.3%と、「2.女性」の13.2%を大きく上回っています。

2015年調査と比較すると、「2.女性」が若干、増加しています。

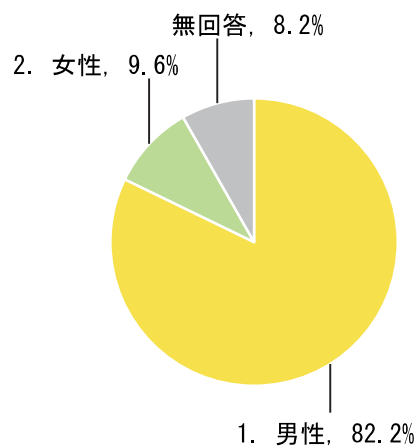
図表 2-132 経営者の性別（2024年調査）

番号	選択肢	回答数
1	男性	61
2	女性	10
3	回答しない	1
無回答		4
合計		76



図表 2-133 経営者の性別（2015年調査）

番号	選択肢	回答数
1	男性	60
2	女性	7
3	回答しない	0
無回答		6
合計		73



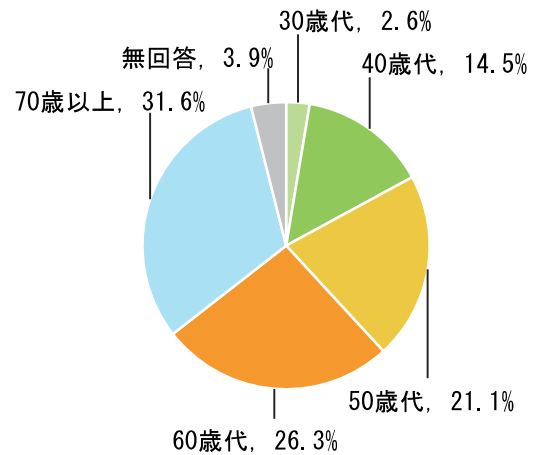
②経営者の年齢

年齢は「70 歳以上」が 31.6%と最も多く、続いて「60 歳代」が 26.3%、「50 歳代」が 21.1%の順となっています。

2015 年調査と比較すると、「60 歳代」が少ない分、「70 歳代」が多くなっているため、2024 年調査は経営者の高齢化が進んでいることとなります。

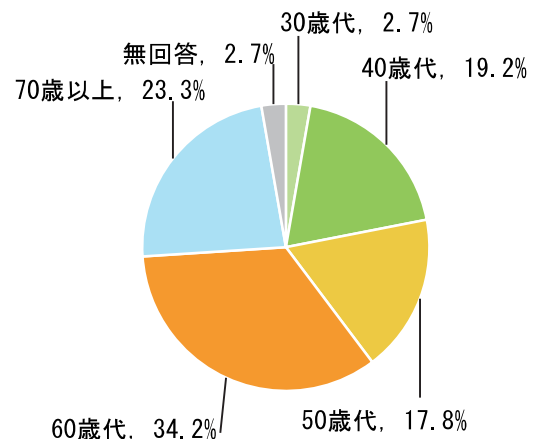
図表 2-134 経営者の年齢（2024 年調査）

番号	選択肢	回答数
1	20 歳代	0
2	30 歳代	2
3	40 歳代	11
4	50 歳代	16
5	60 歳以上	20
6	70 歳上	24
無回答		3
合計		76



図表 2-135 経営者の年齢（2015 年調査）

番号	選択肢	回答数
1	20 歳代	0
2	30 歳代	2
3	40 歳代	14
4	50 歳代	13
5	60 歳以上	25
6	70 歳上	17
無回答		2
合計		73



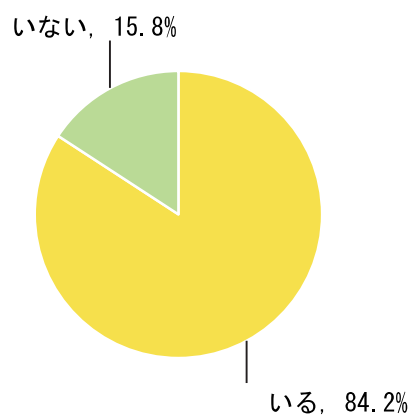
Ｑ４．貴社に勤務されている従業員（パート含む）は、何名いますか。また、町外から通勤している従業員は何名いますか。（人数、必要な事項を記載）

①従業員の有無

従業員の有無は「いる」が84.2%と、「いない」の15.8%を大きく上回っています。
2015年調査と同様の傾向となっています。

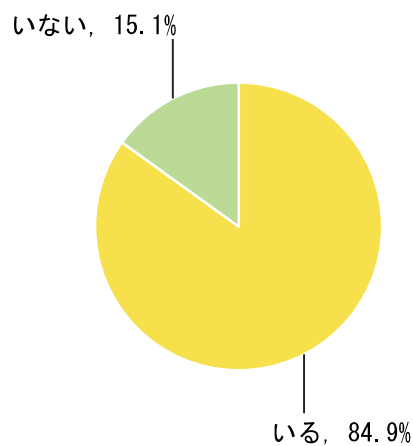
図表 2-136 従業員の有無（2024年調査）

番号	従業員の有無	回答数
1	いる	64
2	いない	12
合計		76



図表 2-137 従業員の有無（2015年調査）

番号	従業員の有無	回答数
1	いる	62
2	いない	11
合計		73



②従業員数

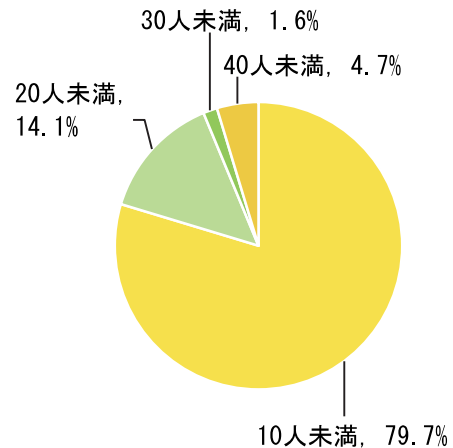
事業員の人数は「10 人未満」が 79.7%と、「20 人未満」よりも人数が多い事業所の率を大きく上回っています。

2015 年調査と比較すると、「10 人未満」が多く、「20 人未満」よりも人数が多い事業所が少なくなっているため、2024 年調査においては事業者人数が全体的に少なくなっている状況です。

図表 2-138 従業員の数（2024 年調査）

番号	従業員数	回答数
1	10 人未満	51
2	20 人未満	9
3	30 人未満	1
4	40 人未満	3
合計		64

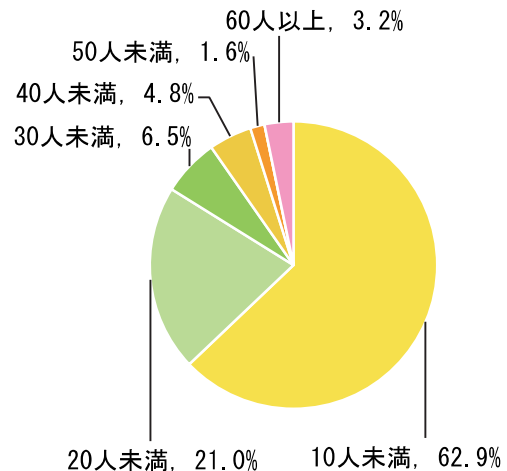
※従業員数 0 人の企業を除く



図表 2-139 従業員の数（2015 年調査）

番号	従業員数	回答数
1	10 人未満	39
2	20 人未満	13
3	30 人未満	4
4	40 人未満	3
5	50 人未満	1
6	60 人未満	0
7	60 人以上	2
合計		62

※従業員数 0 人の企業を除く



③家族従業員の人数

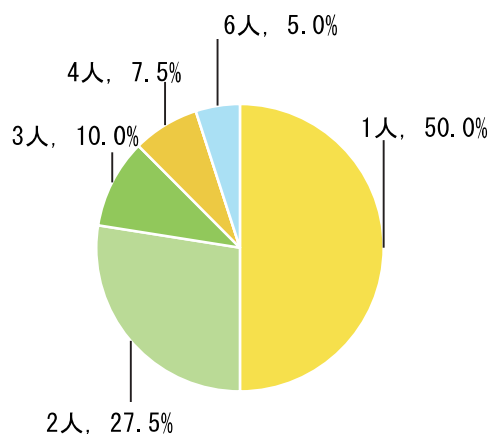
家族従業員の人数は「1 人」が 50.0%と最も多く、続いて「2 人」が 27.5%、「3 人」が 10.0%の順となっています。

2015 年調査と比較すると、「2 人」が多い分、「3 人」と「4 人」が少なくなっています。

図表 2-140 家族従業員の人数（2024 年調査）

番号	家族従業員数	会社数	人数
1	1 人	20	20
2	2 人	11	22
3	3 人	4	12
4	4 人	3	12
5	5 人	0	0
6	6 人	2	12
合計		40	78

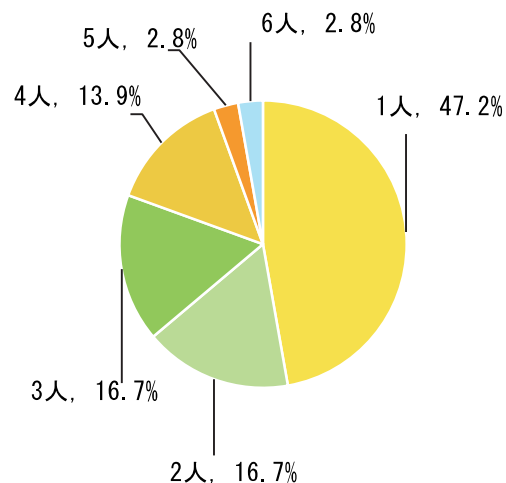
※従業員数0人の企業を除く



図表 2-141 家族従業員の人数（2015 年調査）

番号	家族従業員数	会社数	人数
1	1 人	17	17
2	2 人	6	12
3	3 人	6	18
4	4 人	5	20
5	5 人	1	5
6	6 人	1	6
合計		36	78

※従業員数0人の企業を除く



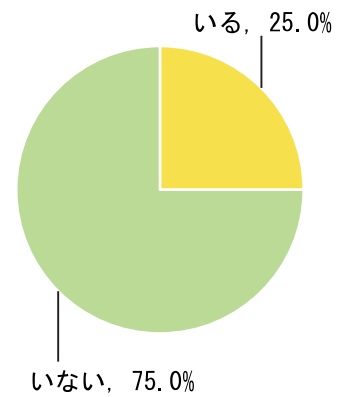
④町外から通勤する従業員

町外から通勤する従業員は「いない」が 75.0%と、「いる」の 25.0%を大きく上回っています。

2015 年調査と比較すると、「いない」が増加しているため、町内に居住している従業員の比率は減少しています。

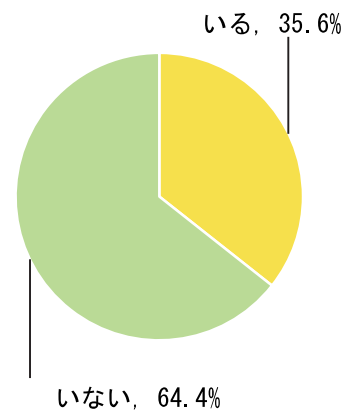
図表 2-142 町外から通勤する従業員（2024 年調査）

番号	町外から通勤している 従業員の有無	回答数
1	いる	16
2	いない	48
合計		64



図表 2-143 町外から通勤する従業員（2015 年調査）

番号	町外から通勤している 従業員の有無	回答数
1	いる	26
2	いない	47
合計		73



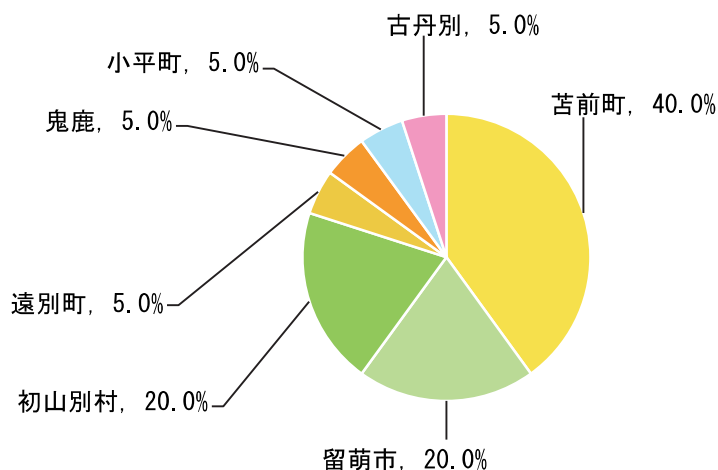
⑤町外から通勤している市町村の内訳

外から通勤している市町村の内訳は「苫前町」が40.0%と最も多く、続いて「留萌市」と「初山別村」が20.0%の順となっています。

2015年調査と比較すると、留萌管内に集中する状況となっています。

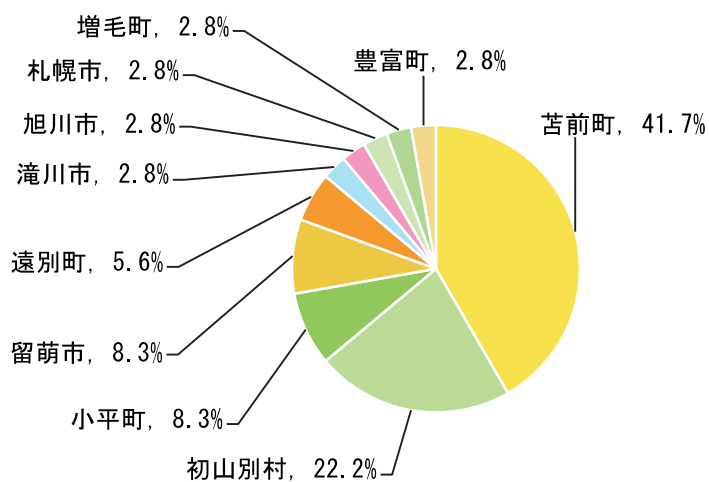
図表 2-144 町外から通勤している市町村の内訳（2024年調査）

番号	町外の市町村	回答数
1	苫前町	8
2	留萌市	4
3	初山別村	4
4	遠別町	1
5	鬼鹿	1
6	小平町	1
7	古丹別	1
合計		20



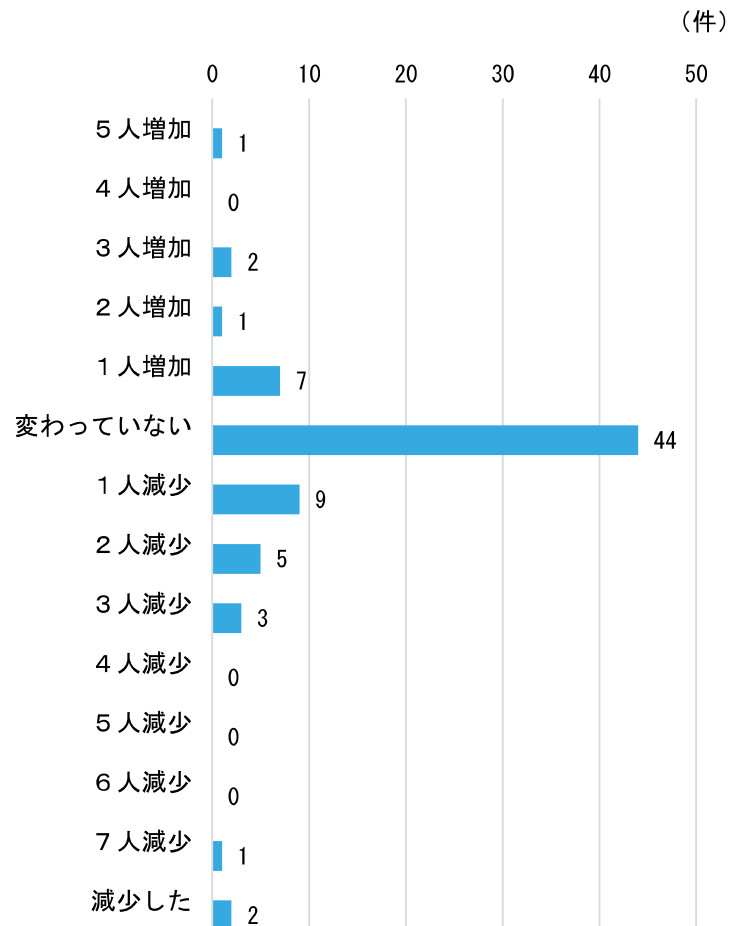
図表 2-145 町外から通勤する従業員（2015年調査）

番号	町外の市町村	回答数
1	苫前町	15
2	初山別村	8
3	小平町	3
4	留萌市	3
5	遠別町	2
6	滝川市	1
7	旭川市	1
8	札幌市	1
9	増毛町	1
10	豊富町	1
合計		36



Q5. 5年前と比較して、従業員数は変化していますか。(一つに〇、人数を記載)

従業員の増減人数は「変わっていない」が44社と最も多く、続いて「1人減少」が9社、「1人増加」が7社の順となっています。



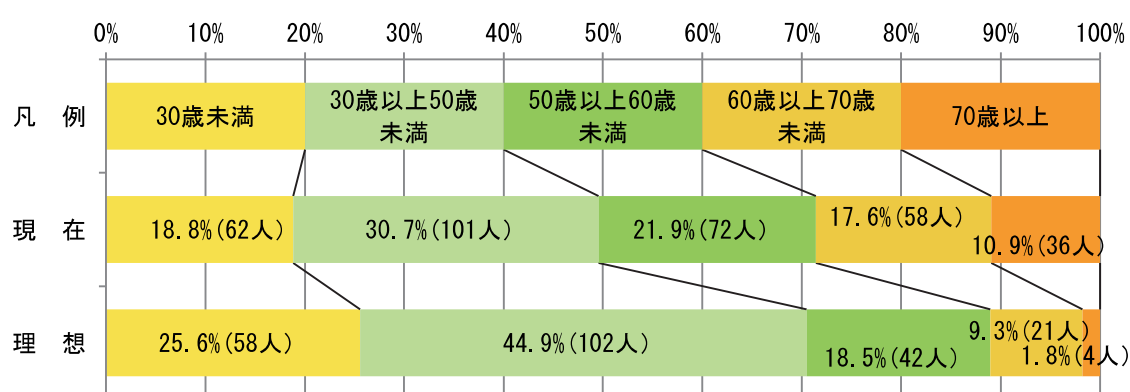
※無回答1件を除く

図表 2-146 従業員の増減人数（2024年調査）

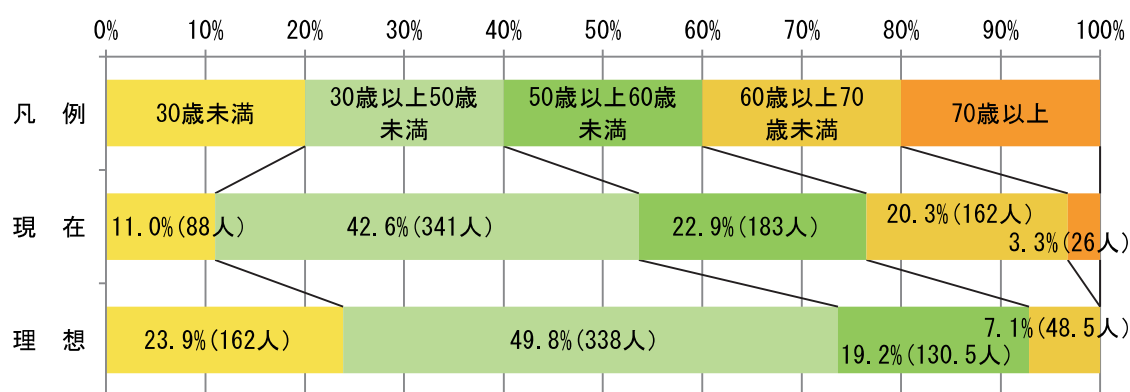
Q6. 従業員の方の年齢構成についてお答えください。また、経営者様が考える理想の年齢構成を併せてお答えください。

現在と理想の年齢別の従業員の構成は現在が「30 歳以上 50 歳未満」が 30.7%と最も多く、続いて「50 歳以上 60 歳未満」が 21.9%の順となっています。これに対して理想は「30 歳以上 50 歳未満」が 44.9%と現在よりも増加し、続いて「30 歳未満」が 25.6%の順となっています。

2015 年調査と比較すると、現在において「30 歳以上 50 歳未満」が減少し、理想においては同様の傾向となっています。



図表 2-147 現在と理想の年齢別の従業員の構成（2024 年調査）



図表 2-148 現在と理想の年齢別の従業員の構成（2015 年調査）

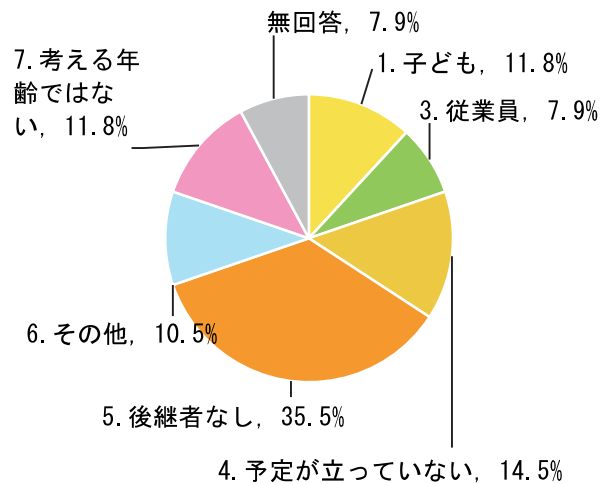
Q7. 後継者はいらっしゃいますか。また、後継者がいる場合（後継者の予定が立っていないが、希望者に継承させてもよい場合は、その継承の時期をお答えください。（一つに○、継承の時期を記載）

後継者は「5.後継者なし」が35.5%と最も多く、続いて「4.予定が立っていないが、希望者がいれば継承させてもよい」が14.5%と、この2つの選択肢の合計で50.0%となっています。

2015年調査と比較すると、2024年で多い2つの選択肢が多い分、「1.子どもが後を継ぐ予定」が少なくなっています。

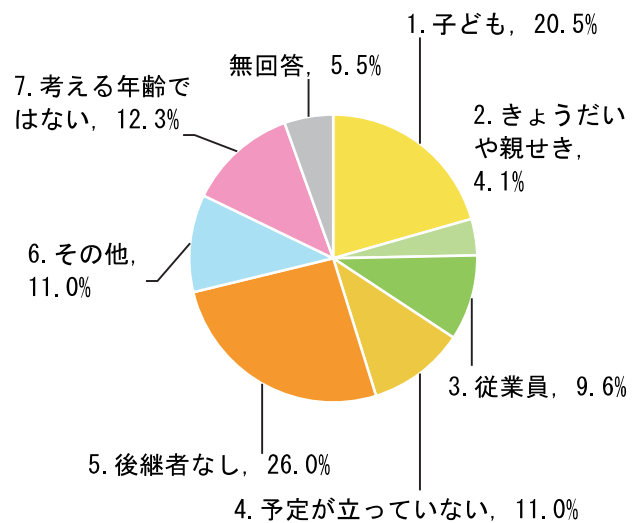
図表 2-149 後継者（2024年調査）

番号	選択肢	回答数
1	子どもが後を継ぐ予定（時期）	9
2	きょうだいや親せきが後を継ぐ予定（時期）	0
3	従業員が後を継ぐ予定（時期）	6
4	後継者の予定が立っていないが、希望者がいれば継承させてもよい（時期）	11
5	後継者がいないため、自分の代で運営をやめようと思っている	27
6	その他（自由記述）	8
7	まだ後継者を考える年齢ではない	9
無回答		6
合計		76



図表 2-150 後継者（2015年調査）

番号	選択肢	回答数
1	子どもが後を継ぐ予定（時期）	15
2	きょうだいや親せきが後を継ぐ予定（時期）	3
3	従業員が後を継ぐ予定（時期）	7
4	後継者の予定が立っていないが、希望者がいれば継承させてもよい（時期）	8
5	後継者がいないため、自分の代で運営をやめようと思っている	19
6	その他（自由記述）	8
7	まだ後継者を考える年齢ではない	9
無回答		4
合計		73

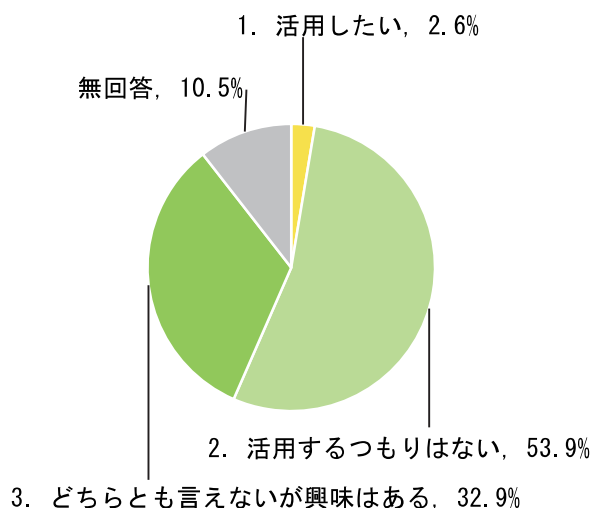


Q8. 今後、事業承継マッチング支援※を活用したいと思いますか。（一つに○）

事業承継マッチング支援※の活用は「1.活用したい」が2.6%となっているものの、「3.どちらともいえないが興味がある」が32.9%となっている。

図表 2-151 事業承継マッチング支援の活用（2024 年調査）

番号	選択肢	回答数
1	活用したい	2
2	活用するつもりはない	41
3	どちらとも言えないが 興味はある	25
無回答		8
合計		76

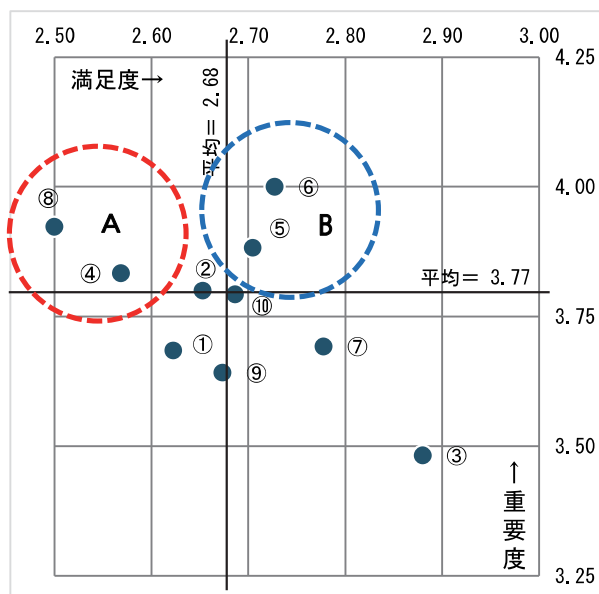


※事業承継マッチング支援とは、後継者がいないことなどを理由に「事業を譲り渡したい」と考えている方と、創業や新分野進出等を目的に「事業を譲り受けたい」と考えている方をつなぐ無料のマッチングサービスです。

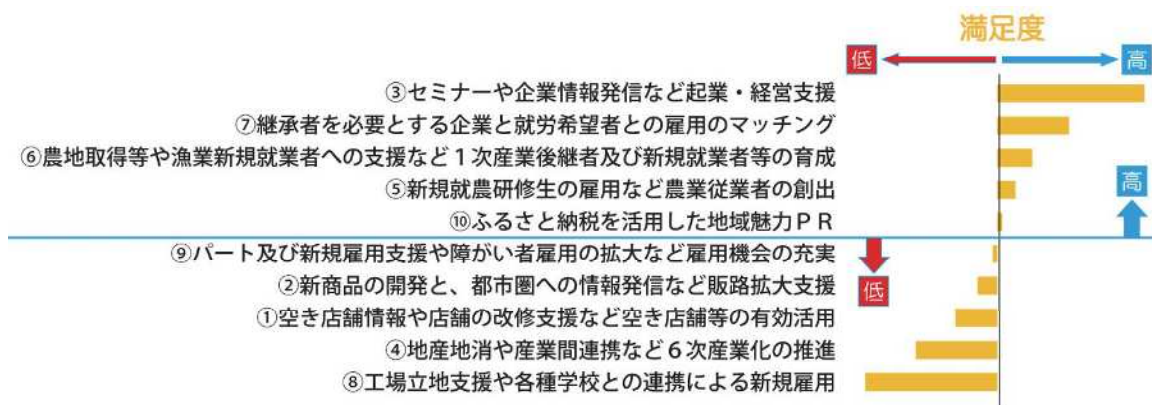
Q9. 事業活性化や新たな事業展開にあたって、満足度と重要度をお答えください。
(それぞれ一つずつ〇)

事業活性化や新たな事業展開にあたっての満足度と重要度について、満足度が低く重要度が高い事業「A」は「⑧工場立地支援や各種学校との連携による新規雇用」と「④地産地消や企業間連携など6次産業化の推進」となっています。

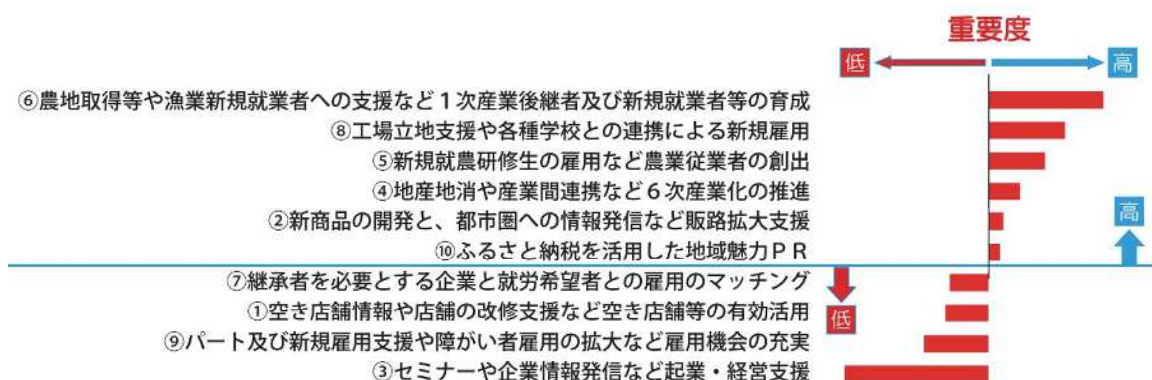
次に満足度が平均付近で重要度が高い事業「B」は「⑥農地取得等や漁業新規就業者への支援など1次産業後継者及び新規就業者等の育成」と「⑤新規就農研修生の雇用など農業従業者の創出」と「③セミナーや企業情報発信など起業・経営支援」となっています。



図表 2-152 満足度と重要度の分布状況



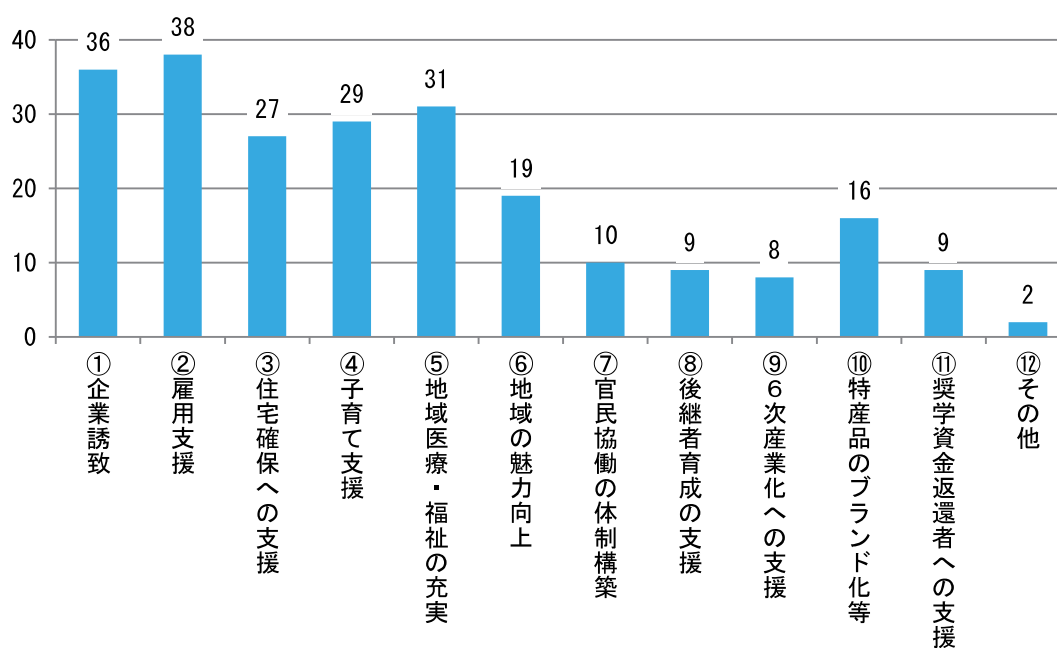
図表 2-153 満足度 (2024 年調査)



図表 2-154 重要度 (2024 年調査)

Q10. 若者やＵＩＪターンによる人材を雇用するにあたって、有効と思う施策をお答えください。（あてはまるもの全てに○）

若者やＵターンによる人材雇用における有効な施策は「②雇用支援」が 38 件と最も多く、続いて「①企業誘致」が 36 件、「⑤地域医療・福祉の充実」が 31 件の順となっています。



図表 2-155 若者やＵターンによる人材雇用における有効な施策（2024 年調査）

Q11. その他、人口減少対策のためのご意見等がありましたらお書きください。
(自由に意見を記載)

その他、人口減少対策のための意見を「国の施策の方向」ごとに整理すると以下のとおりとなります。

国の施策の方向	意見
①地方に仕事をつくる	・ 町有地を活用した企業誘致（2 件） ・ 原子力事業の新規誘致などによる人口増 ・ 雇用を創出する企業への経済的な支援 ・ 起業家への相談所の設置やセミナー開催 ・ 第1次産業の活性化 ・ 若者の新規就農・漁業のニーズの掘り起こし
②人の流れをつくる	・ 人口が増加している市町村の事例調査（2 件） ・ 働く場所と住む場所の確保による若者の定住化 ・ 新規採用やUターンのための住居の確保 ・ 移住者への経済的な支援 ・ 離島への更生施設の建設 ・ 人口をこれ以上減らさない対策の検討 ・ 地震等の被災地からの移住・定住促進 ・ 羊の解体や肉の知識を学べる調理師学校の誘致
③結婚・出産・子育ての希望をかなえる	・ 子育て世代への経済的な支援（3 件） ・ 海外実習生が住み続けられるように、住宅や結婚・子育て支援（2 件） ・ 若者の転出対策 ・ 若者にとって魅力のある羽幌町の創出
④魅力的な地域をつくる	・ 地域医療の充実化（3 件） ・ 道立病院の医師の増員要請 ・ イベントの開催 ・ 地域情報連絡員制度の活性化と活用

3. 資料編

<資 料 編>

- 高校生アンケート調査票
- 一般向けアンケート調査票
- 転入者向けアンケート調査票
- 転出者向けアンケート調査票
- 企業向けアンケート調査票

(1) 高校生アンケート調査票

高校生アンケート調査

◆人口減少対策のためのアンケート調査◆

●アンケート調査へのご協力をお願い

日頃より、羽幌町のまちづくりにご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

羽幌町では、地域の未来を支えるための人口減少対策として、安定した雇用の創出、U I J ターンなどにより新しい人の流れをつくることや、若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶えていく取り組みを進めています。

本調査では、皆さんの暮らす地域の未来と一緒に考え、より良い環境を築くため、どのような政策が今後必要なのか、貴重な意見を把握するためのアンケート調査です。

ぜひご協力いただきますようお願いいたします。

令和6年6月 羽幌町長 森 淳

●ご回答にあたって

- ・この調査は、羽幌町が直接行うものです。
- ・この調査は、羽幌高校、苫前商業高校、天売高校の皆さんを対象に実施しております。
- ・調査票は、無記名とし、回答結果は全て統計的に処理されますので、回答内容が他人に知れることはありません。また、他の目的にも一切使用いたしません。
- ・アンケートの回答は本調査票にて回答いただくか、右のQRコードからご回答ください。



●お問合せ

〒078-4198 羽幌町南町1番地の1
 羽幌町役場 デジタル推進課デジタル推進係 担当：竹内、井上
 TEL:0164-68-7040 (直通) FAX:0164-62-1219 mail: digital@town.haboro.lg.jp

問1. あなたご自身について、お答えください。

Q1. 「性別」と「学年」をお答えください。 (それぞれ一つに○)

1. 男性 2. 女性 3. 回答しない

1. 1年生 2. 2年生 3. 3年生

Q2. あなたの出身中学校をお答えください。 (一つに○)

1. 羽幌中学校 2. 天売中学校 3. 焼尻中学校 4. 苫前中学校
 5. 古丹別中学校 6. 初山別中学校 7. 鬼鹿中学校
 8. その他(学校名:)

問2. 高校卒業後の進路や職業などについて、お答えください。

Q1. 卒業後は、進学又は就職のどちらを希望しますか。 (一つに○、市町村を記載)

1. 進学を希望 (どちらの市町村への進学を希望しますか: _____)
2. 就職を希望 (どちらの市町村への就職を希望しますか: _____)
3. まだ、わからない

Q2. 将来どのような業種への就職を希望しますか。 (三つまで○)

1. 公務員・法律・政治系の職業
2. ビジネス系の職業 (経営者、起業家、事務、営業など)
3. 語学系の職業 (通訳、翻訳など)
4. 旅行・観光系の職業 (観光ガイド、ツアーコンダクター)
5. 公共交通機関の乗り物系の職業 (鉄道、フェリー、バス、タクシーなど)
6. ホテル・ブライダル系の職業
7. マスコミ・芸能系の職業
(放送業、アナウンサー、カメラマン、俳優、インターネットメディアなど)
8. 音楽・イベント系の職業
(映画、アニメ、音楽プロデューサー、作詞作曲家など)
9. デザイン・写真・芸術系の職業
10. 飲食業・調理・製菓系の職業
11. 栄養系の職業 (栄養士、薬剤師 (製薬) など)
12. 健康・スポーツ系の職業 (整体師、スポーツトレーナーなど)
13. 医療・医療事務系の職業 (医師、看護師、歯科技工士など)
14. 福祉系の職業 (介護ヘルパー、ケアマネージャーなど)
15. 保育・教育系の職業 (保育士、幼稚園教師、小中学校教諭など)
16. ファッション系の職業 (カラーコーディネーター、ファッションデザイナーなど)
17. 理容・美容系の職業
18. 自動車系の職業
19. 機械・電気・電子系の職業
20. 建築・土木・インテリア系の職業
21. IT・システム・ゲーム系の職業
22. 動物・植物・フラワー系の職業
23. 環境・バイオ系の職業
24. モノづくり系の職業 (製造業、機械組立工など)
25. 冠婚葬祭系の職業
26. 出版系の職業 (広告業、ライター、編集者など)
27. 自然系の職業 (農業、林業、漁業など)
28. 資産・金融系の職業 (銀行業、保険業、不動産業など)
29. 運輸・運送業の職業
30. その他 (_____)

Q 3. 羽幌町内に希望する業種の雇用先があれば、あなたは、羽幌町での就職（進学後を含む。）を検討しますか。 (一つに○)

- | | | |
|----------------------------|---|---------------------|
| 1. ぜひ羽幌町での就職を検討したい | } | Q 3-1 へお進みください。 |
| 2. できれば羽幌町での就職を検討したい | | |
| 3. あまり羽幌町での就職を検討してみたいと思わない | } | Q 3-2 へ
お進みください。 |
| 4. 羽幌町での就職検討は考えられない | | |

※それぞれを選択した理由をお答えください。

Q 3-1. Q 3で1、または、2をお答えの方への質問です。羽幌町で就職を検討するにあたって、どのような情報があると良いですか。 (あてはまるもの全てに○)

- | | | |
|----------------------------------|---|---------------------|
| 1. 羽幌町内の企業だけを特定した求人情報 | } | 問3へ
お進み
ください。 |
| 2. 具体的な仕事内容 | | |
| 3. 社風や社内の雰囲気 | | |
| 4. 会社の将来性 | | |
| 5. 入社後の待遇（給与条件、休暇等） | | |
| 6. 羽幌町内の住宅情報（空家情報、家賃等の諸条件） | | |
| 7. 現在は求人していないものの、将来、後継者を求める企業の情報 | | |
| 8. 特になし | | |

Q 3-2. Q 3で3、または、4をお答えの方への質問です。羽幌町内で就職を検討しなくなるにはなにが必要だと感じますか。 (自由に意見を記載)

Q 3-3. Q 3で3、または、4をお答えの方への質問です。一度、出身地以外に就職し、しばらくたった後、出身地に戻って就職（いわゆるUターン）することは考えられますか。 (一つに○)

- | | | |
|---------------------------------------|---|-----------------|
| 1. いずれは出身地で就職したい。または、就職することもあり得る | } | Q 3-4 へお進みください。 |
| 2. わからない | | |
| 3. 出身地で就職することは、あまり考えられない、または、全く考えられない | | |

Q3-4. Q3-3で1をお答えの方への質問です。Uターンする場合、どのような情報があると便利だと感じますか。 (一つに○)

1. 羽幌町内の企業だけを特定した求人情報
2. 具体的な仕事内容
3. 社風や社内の雰囲気
4. 会社の将来性
5. 入社後の待遇（給与条件、休暇等）
6. 羽幌町内の住宅情報（空家情報、家賃等の諸条件）
7. 現在は求人していないものの、将来、後継者を求める企業の情報
8. Uターン時にかかわらず、定期的に役場から発信される町内情報
9. 奨学資金返還支援などのUターンの方への支援制度
10. 特にない

Q3-5. Q3-3で2、または、3をお答えの方への質問です。前向きにUターンを検討するにはなにが必要だと感じますか。 (自由に意見を記載)

問3. 人口減少対策について、お答えください。

Q1. 羽幌町の人口の減少率を軽減、または、人口を増加させていくためのご意見等がありましたらお書きください。 (自由に意見を記載)

Q2. 羽幌町のまちづくりについて必要だと思うことをお書きください。 (自由に意見を記載)

ご協力ありがとうございます。アンケートは、以上で終了です。
答え忘れがないかもう一度お確かめください。
この調査票は、担任の先生まで提出するようお願いいたします。

(2) 一般向けアンケート調査票

一般向けアンケート調査

◆結婚、出産、子育てに関するアンケート調査◆

●アンケート調査へのご協力をお願い

日頃より、羽幌町のまちづくりにご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

羽幌町では、地域の未来を支えるための人口減少対策として、安定した雇用の創出、U・I・Jターンなどにより新しい人の流れをつくることや、若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶えていく取り組みを進めています。

本調査は、結婚・子育てに対する取り組みについて、どのような政策が今後必要なのか、貴重な意見を把握するためのアンケート調査です。

お忙しいところ恐れ入りますが、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和6年6月 羽幌町長 森 淳

●ご注意

アンケートの回答は、調査票にて回答いただき、返信用封筒に入れて郵便ポストに投函いただくか、右のQRコードから回答いただきますようお願い申し上げます。



なお、アンケートの回収期限は7月14日（日曜日）までとなっています。

●ご回答にあたって

- ・この調査は、羽幌町が直接行うものです。
- ・この調査は、羽幌町にお住まいの町民の中から無作為抽出により、1,200名の方を対象に実施しております。
- ・調査票は、無記名とし、回答結果は全て統計的に処理されますので、回答内容が他人に知れることはありません。また、他の目的にも一切使用いたしません。

●お問合せ

〒078-4198 羽幌町南町1番地の1

羽幌町役場 デジタル推進課デジタル推進係 担当：竹内、井上

TEL:0164-68-7040（直通） FAX:0164-62-1219 Mail:digital@town.haboro.lg.jp

一般向けアンケート調査

問1. 結婚について、お答えください。

Q1. あなたは結婚していますか。

(一つに○)

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 結婚している（配偶者がいる） | } Q2へ
お進みください。 |
| 2. 未入籍で同居している（パートナーがいる） | |
| 3. 配偶者・パートナーが以前いたことがある | } Q1-1へ
お進みください。 |
| 4. 配偶者・パートナーはこれまで得たことはない | |

Q1-1. Q1で3、または、4をお答えの方への質問です。今後、結婚したいと思
いますか。 (一つに○)

1. できればすぐにでも結婚したい
2. いずれは結婚したい
3. それほどしたくないが、いずれ結婚することになるだろう
4. 戸籍上の結婚にこだわらないが、パートナーは欲しい
5. できれば結婚もしたくないし、パートナーも特に欲しいとは思わない
6. その他 ()

Q2. 配偶者（パートナー）を得ることによるメリット（いい影響や利点）は、どのよう
なことだと思いますか。 (あてはまるもの全てに○)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 精神的に安定する | 2. 経済的に安定する |
| 3. 子どもを産み育てることができる | 4. 社会的に認められる |
| 5. 友人が増える | 6. 家族や親戚が増える |
| 7. 親から独立できる | 8. 家事を分担してもらえる |
| 9. 生活スタイルを変えることができる | 10. 老後についての安心感が生まれる |
| 11. その他 () | |
| 12. 特に得られるものはない | |

Q3. 配偶者（パートナー）を得ることによって生じる問題点は、どのようなことだと思
いますか。 (あてはまるもの全てに○)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 精神的負担が大きい | 2. 経済的に苦しくなる |
| 3. 妊娠、出産や子育てが大変 | 4. 社会的な責任が生じる |
| 5. 友人との付き合いが限定される | 6. 配偶者の親や親戚との付き合いが増す |
| 7. 親に頼れなくなる | 8. 家事・育児などの仕事が増える |
| 9. 生活スタイルが限定される | 10. 配偶者の親の世話を求められる |
| 11. その他 () | |
| 12. 特に問題は感じない | |

Q4. 妊娠、出産、子育ての以下の支援策について、満足度と重要度をお答えください。

(それぞれ一つずつ○)

支援策	満足度						重要度					
	高・・・・・・・・・・低						高・・・・・・・・・・低					
	非常に満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	非常に不満	わからない	非常に重要	やや重要	どちらでもない	さほど重要でない	重要でない	わからない
回答例	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
①妊娠、出産に係る費用及び精神的支援(妊娠・不妊治療費用の一部助成、保健師による面談など)	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
②出産祝い品の贈呈(新生児へのめん羊布団贈呈など)	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
③子育て世代が集いやすい環境の整備	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
④発育・育児等の相談や保育環境、遊び場の充実(認定こども園、私立幼稚園運営支援補助など)	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑤子どもの医療費の負担軽減(中学生以下の医療費無償制度など)	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑥シングルマザーへの支援(相談受付体制構築、居住環境の整備など)	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑦その他、有効と思う、または、充実してほしい支援策がありましたらお答えください。												

問3. 住み続けることについて、お答えください。**Q. 今後も羽幌町に住み続けたいと思いますか。****(一つに○)**

1. 現在の住宅にこれからも住み続けたい
2. 転居するかもしれないが、羽幌町内に住み続けたい
3. 将来は町外に引っ越したい
4. 将来は町外に引っ越さざるを得ない
5. 不満を感じている点が改善されれば、住み続けたい
6. わからない

問4. 人口減少対策について、お答えください。**Q1. 婚姻率を高める方法として、効果的と思われる方法がありましたらお書きください。****(自由に意見を記載)****Q2. 出生率を高める方法として、効果的と思われる方法や希望する支援策などがありましたらお書きください。****(自由に意見を記載)****Q3. 人口減少に歯止めをかけるために行う方法として、効果的と思われる方法や希望する支援策などがありましたらお書きください。****(自由に意見を記載)****Q4. 生まれ育った町や地域に戻って就職（いわゆるUIJ ターン）する方が増える方法として、効果的と思われる方法や希望する支援策などがありましたらお書きください。****(自由に意見を記載)**

Q 5. 若者等の職を確保するために、どのような産業分野を重点的に支援することが良いと考えますか。 (三つまで○)

- | | | | |
|--------------------|---------|--------------------|-----------------|
| 1. 農業 | 2. 林業 | 3. 畜産業 | 4. 水産業 |
| 5. 商業 | 6. 観光産業 | 7. 建設業 | 8. 製造業（食品加工業など） |
| 9. エネルギー産業（風力発電など） | | 10. 医療・福祉産業 | |
| 11. その他（ | | ） 12. 産業全般を均等に支援する | |

Q 6. 20代、30代の女性の転出を防ぐための有効な対策がありましたらお書きください。 (自由に意見を記載)

--

Q 7. 「人口減少対策」や「交流人口を増加させる施策」について、満足度と重要度をお答えください。 (それぞれ一つずつ○)

支援策	満足度						重要度					
	高・・・・・・・・・・低						高・・・・・・・・・・低					
	非常に満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	非常に不満	わからない	非常に重要	やや重要	どちらでもない	さほど重要でない	重要でない	わからない
回答例	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
①公共施設等解体跡地や空き家バンク、賃貸住宅情報など既存資源の活用	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
②公営住宅や民間賃貸住宅建設助成など新たな住宅の整備	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
③自然公園や道の駅等の適正管理や、地場産品を活用した魅力ある地域の創出	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
④外国人をターゲットにするPRなどの情報発信と宣伝普及活動の強化	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑤地域おこし協力隊や町内就業者への奨学資金返還支援等	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑥その他、有効と思う、または、充実してほしい支援策がありましたらお答えください。												

Q 8. 「住みよい環境のための施策」について、満足度と重要度をお答えください。

(それぞれ一つずつ○)

支援策	満足度						重要度					
	高・・・・・・・・・・低						高・・・・・・・・・・低					
	非常に満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	非常に不満	わからない	非常に重要	やや重要	どちらでもない	さほど重要でない	重要でない	わからない
回答例	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
①経済的な支援等による地元高校への進学者の確保	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
②子ども自然教室事業など児童生徒の学ぶ機会の充実	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
③地域医療に従事する看護師等の育成	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
④介護向け人材の育成	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑤老人クラブ活動事業など高齢者向けの生きがいづくり	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑥福祉ハイヤー料金助成など障がい者及び高齢者等への支援												
⑦その他、有効と思う、または、充実してほしい支援策がありましたらお答えください。												

Q 9. 交流人口を増加させるために、今後、ブランド化していく（価値を高める）ものとして効果的なものがありましたらお書きください。 (自由に意見を記載)

問 4. 最後にあなた自身について、お答えください。

Q 1. 性別と年齢をお答えください。

(一つに○)

1. 男性 2. 女性	1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代
3. 回答しない	4. 50歳代 5. 60歳以上

Q2. 職業をお答えください。(一つに○)

- | | | | |
|------------|----------------|--------------|-------------|
| 1. 農業 | 2. 林業 | 3. 漁業 | 4. 商業・サービス業 |
| 5. 製造業・建設業 | 6. 公務員・団体職員 | 7. パート・アルバイト | |
| 8. その他の職業 | 9. 無職(主婦・学生含む) | | |

Q3. 現在、あなたは、どなたと同居していますか。(あてはまるもの全てに○)

- | | | |
|---------------|---------------|--------|
| 1. なし(ひとりぐらし) | 2. 配偶者(パートナー) | 3. 親 |
| 4. 子ども | 5. 兄弟姉妹 | 6. その他 |

Q4. お子さんの人数について、お答えください。(人数を記載)

同居(____)人、別居(町内で生活:____人)、別居(町外で生活:____人)

Q5. お子さんの年齢について、お答えください。(あてはまるもの全てに○、人数を記載)

- | |
|---|
| 1. 保育園児、または、認定こども園保育部門(____人) |
| 2. 幼稚園児、または、認定こども園幼稚園部門(____人) |
| 3. 1と2以外の未就学児(____人) |
| 4. 小学生(____人) |
| 5. 中学生(____人) |
| 6. 高校生(町内____人、町外居住____人) |
| 7. 18歳以上の学生(大学生・専門学校生など)(町内____人、町外居住____人) |
| 8. 18歳以上の学生以外の方(町内____人、町外居住____人) |

Q6. あなたのお住まいをお答えください。(一つに○)

- | | | | | | |
|--------|--------|---------|---------|--------|--------|
| 1. 南○条 | 2. 南大通 | 3. 港町 | 4. 緑町 | 5. 幸町 | 6. 南町 |
| 7. 栄町 | 8. 寿町 | 9. 北○条 | 10. 北大通 | 11. 浜町 | 12. 北町 |
| 13. 朝日 | 14. 汐見 | 15. 高台 | 16. 築別 | 17. 上築 | 18. 曙 |
| 19. 中央 | 20. 平 | 21. 上羽幌 | 22. 焼尻 | 23. 天売 | |

Q 7. お住まいになっている住居について、お答えください。 (一つに○)

- | | | | |
|------------|--------------|---------------|---------|
| 1. 賃貸アパート | 2. 一戸建て (賃貸) | 3. 一戸建て (持ち家) | 4. 公営住宅 |
| 5. その他 () | | | |

Q 8. 世帯全体の1年間の収入について、お答えください。 (一つに○)

- | | | |
|----------------|------------------|--------------|
| 1. 300万円未満 | 2. 300～500万円 | 3. 500～700万円 |
| 4. 700～1,000万円 | 5. 1,000～1,500万円 | 6. 1,500万円以上 |

Q 9. あなたの出身地について、お答えください。 (一つに○)

- | | | |
|---------|------------------------|---------|
| 1. 羽幌町内 | 2. 羽幌町以外の北海道内 (市町村名:) | 3. 北海道外 |
|---------|------------------------|---------|

アンケートは以上です。ありがとうございました。

答え忘れがないかもう一度確かめのうえ、返信用封筒に入れ、7月14日 (日曜日)までに投函くださいますようお願いいたします。

※QRコードでのご回答につきましては、この限りではありません。

(3) 転入者向けアンケート調査票

転入者向けアンケート調査

◆アンケート調査のお願い◆

日頃より、羽幌町のまちづくりに、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

羽幌町では、転入された皆様の転入理由や居住環境の満足度などを把握し、人口減少対策など今後のまちづくりへの基礎資料として活用させていただくため、アンケート調査を実施することとしました。

お忙しいところ恐れ入りますが、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和6年6月 羽幌町長 森 淳

●ご注意

アンケートの回答は、本調査票にて回答いただき、返信用封筒に入れて郵便ポストに投函いただくか、右のQRコードから回答いただきますよう重ねてお願い申し上げます。



なお、アンケートの回収期限は7月14日（日曜日）までとなっています。

●ご回答にあたって

- ・この調査は、羽幌町が直接行うものです。
- ・この調査は、令和5年3月から4月にかけて羽幌町へ転入された方々を対象に実施しております。
- ・調査票は、無記名とし、回答結果は全て統計的に処理されますので、回答内容が他人に知れることはありません。また、他の目的にも一切使用いたしません。

●お問合せ

〒078-4198 羽幌町南町1番地の1

羽幌町役場 デジタル推進課デジタル推進係 担当：竹内、井上

TEL:0164-68-7040（直通） FAX:0164-62-1219

mail: digital@town.haboro.lg.jp

転入者向けアンケート調査

Q 1. 性別と年齢をお答えください。

(一つに○)

1. 男性	2. 女性	1. 20歳代	2. 30歳代	3. 40歳代
3. 回答しない		4. 50歳代	5. 60歳以上	

Q 2. 職業をお答えください。

(一つに○)

1. 農業	2. 林業	3. 漁業	4. 商業・サービス業
5. 製造業・建設業	6. 公務員・団体職員	7. パート・アルバイト	
8. その他の職業	9. 無職（主婦・学生含む）		

Q 3. あなたの出身地は、どちらですか。

(一つに○)

1. 羽幌町
2. 北海道内（市町村名を記入してください：_____）
3. 北海道外（都道府県名を記入してください：_____）

Q 4. 転入前後の家族構成についてお答えください。（転入前、転入後とも一つに○）

転入前	1. 一人世帯	2. 夫婦のみ	3. 夫婦と子ども
	4. ひとり親と子ども	5. 夫婦と親と子	6. その他
転入後	1. 一人世帯	2. 夫婦のみ	3. 夫婦と子ども
	4. ひとり親と子ども	5. 夫婦と親と子	6. その他

Q 5. 転入前のお住まいをお答えください。

(必要な事項を記載)

都道府県名：_____	市町村名：_____
-------------	------------

Q 6. 現在のお住まいをお答えください。

(一つに○)

1. 南○条	2. 南大通	3. 港町	4. 緑町	5. 幸町	6. 南町
7. 栄町	8. 寿町	9. 北○条	10. 北大通	11. 浜町	12. 北町
13. 朝日	14. 汐見	15. 高台	16. 築別	17. 上築	18. 曙
19. 中央	20. 平	21. 上羽幌	22. 焼尻	23. 天売	

Q 7. 転入された時の気持ちで、あてはまるものはどれですか。(一つに○)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 羽幌町に魅力を感じて転入した | → Q 7-1 へお進みください。 |
| 2. 周辺市町村と比較して転入した | → Q 7-2 へお進みください。 |
| 3. その他 | → Q 8 へお進みください。 |

Q 7-1. Q 7 で 1 をお答えの方への質問です。どのような点に魅力を感じましたか。

(自由な意見を記載)

Q 7-3 へお進みください。

Q 7-2. Q 7 で 2 をお答えの方への質問です。どのような点が周辺市町村と比較して
良いと感じましたか。

(自由な意見を記載)

Q 7-3 へお進みください。

Q 7-3. 転入される前に、町について、検索や情報収集をしましたか。(一つに○)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 検索・情報収集した | → Q 7-4 へお進みください。 |
| 2. 検索・情報収集していない | → Q 8 へお進みください。 |

Q 7-4. Q 7-3 で 1 をお答えの方への質問です。検索や情報収集で気になった点は
ありましたか。

(自由な意見を記載)

(一つに〇)

- Q9へお進みください。

(一ツに〇)

- (一つに〇)

もの全てに○)

-)

Q10. 羽幌町に住んでみて、どの点に不満を感じていますか。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|-------------------------------|-----------------|
| 1. 買い物など日常生活の不便さ | 2. 通勤・通学の不便さ |
| 3. 物価が高い | 4. 近所づきあい |
| 5. 住宅条件 | 6. 教育環境 |
| 7. 介護施設など福祉環境 | 8. 病院など医療環境 |
| 9. 子育てのしづらさ | 10. 保安・防犯 |
| 11. 自然環境 | 12. 観光地として魅力がない |
| 13. 地物を食べられる所がない | 14. 情報発信・広報 |
| 15. 公共施設（公民館、図書室、スポーツ施設、公園など） | |
| 16. その他（ | ） |

Q11. 羽幌町に住んで、現時点で満足していますか。(一つに○)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 満足 | 2. どちらかといえば満足 |
| 3. どちらかといえば不満 | 4. 不満 |

Q12. 今後とも羽幌町に住みつづけたいと思いますか。(一つに○)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 現在の住宅にこれからも住みつづけたい |
| 2. 転居するかもしれないが、羽幌町内に住みつづけたい |
| 3. 将来は町外に引っ越したい |
| 4. 将来は町外に引っ越さざるを得ない |
| 5. 不満を感じている点が改善されれば、住みつづけたい |
| 6. わからない |

Q13. その他、羽幌町に住んでいて感じることや、人口減少対策に関するご意見などありましたら、お書きください。(自由に意見を記載)

アンケートは以上です。ありがとうございました。

答え忘れがないかももう一度お確かめのうえ、返信用封筒に入れ、7月14日（日曜日）までに投函くださいますようお願いいたします。

※QRコードでのご回答につきましては、この限りではありません。

(4) 転出者向けアンケート調査票

転出者向けアンケート調査

◆アンケート調査のお願い◆

羽幌町にお住まいの際は、本町のまちづくりに、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

羽幌町では、転出された皆様の転出理由や居住環境の満足度などを把握し、人口減少対策など今後のまちづくりへの基礎資料として活用させていただくため、アンケート調査を実施することとしました。

お忙しいところ恐れ入りますが、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和6年6月 羽幌町長 森 淳

●ご注意

アンケートの回答は、本調査票にて回答いただき、返信用封筒に入れて郵便ポストに投函いただくか、右のQRコードから回答いただきますようお願い申し上げます。



なお、アンケートの回収期限は7月14日（日曜日）までとなっています。

●ご回答にあたって

- ・この調査は、羽幌町が直接行うものです。
- ・この調査は、令和5年3月から4月にかけて羽幌町から転出された方々を対象に実施しております。
- ・調査票は、無記名とし、回答結果は全て統計的に処理されますので、回答内容が他人に知れることはありません。また、他の目的にも一切使用いたしません。

●お問合せ

〒078-4198 羽幌町南町1番地の1
羽幌町役場 デジタル推進課デジタル推進係 担当：竹内、井上
TEL:0164-68-7040（直通） FAX:0164-62-1219 Mail:digital@town.haboro.lg.jp

Q1. 性別と年齢をお答えください。 (一つに○)

1. 男性 2. 女性
3. 回答しない

1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代
4. 50歳代 5. 60歳以上

Q2. 職業をお答えください。 (一つに○)

1. 農業 2. 林業 3. 漁業 4. 商業・サービス業
5. 製造業・建設業 6. 公務員・団体職員 7. パート・アルバイト
8. その他の職業 9. 無職（主婦・学生含む）

Q3. あなたの出身地はどちらですか。 (一つに○)

1. 羽幌町
2. 北海道内（市町村名を記入してください）： _____
3. 北海道外（都道府県名を記入してください）： _____

Q4. 羽幌町に住まわれていた時と、現在の家族構成についてお答えください。
(それぞれ一つに○)

転出前	1. 一人世帯	2. 夫婦のみ	3. 夫婦と子ども
	4. ひとり親と子ども	5. 夫婦と親と子	6. その他
転出後	1. 一人世帯	2. 夫婦のみ	3. 夫婦と子ども
	4. ひとり親と子ども	5. 夫婦と親と子	6. その他

Q5. 羽幌町に住まわれていた時の地域と居住年数をお答えください。 (一つに○)

1. 南〇条 2. 南大通 3. 港町 4. 緑町 5. 幸町 6. 南町
7. 栄町 8. 寿町 9. 北〇条 10. 北大通 11. 浜町 12. 北町
13. 朝日 14. 汐見 15. 高台 16. 築別 17. 上築 18. 曙
19. 中央 20. 平 21. 上羽幌 22. 焼尻 23. 天売

※羽幌町での居住年数を記入してください：(_____) 年

Q6. 現在の居住地をお答えください。 (必要な事項を記載)

都道府県名： _____ 市町村名： _____

Q7. 羽幌町から転出された時の気持ちで、あてはまるものはどれですか。 (一つに○)

1. 仕方なく転出した 2. どちらかといえば、仕方なく転出した
3. どちらかといえば、早く転出したかった 4. 早く転出したかった
5. どちらともいえない

Q 8. 転出されることになった最も大きなきっかけは何ですか。 (一つに○)

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 1. 仕事の都合 (就職、転職、転勤、退職など) | → Q 8-1 へお進みください。 |
| 2. お子さんの学校の都合 | } Q 9 へお進みください。 |
| 3. 住宅の都合 (広さ、設備、家賃) | |
| 4. 結婚のため | |
| 5. 離婚のため | |
| 6. 家族から独立するため | |
| 7. 家族と同居するため | |
| 8. その他 () | |

Q 8-1. Q 8 で 1 をお答えの方への質問です。仕事の都合は、どの内容ですか。

(一つに○)

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|------------|
| 1. 就職 | 2. 転職 | 3. 通勤 | 4. 退職 | 5. その他 () |
|-------|-------|-------|-------|------------|

Q 9. 羽幌町に住んでいて、どの点に魅力を感じていましたか。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|-----------------------------|---------------|
| 1. 買い物など日常生活の利便さ | 2. 通勤・通学の利便さ |
| 3. 物価が安い | 4. 近所づきあい |
| 5. 住宅条件 | 6. 教育環境 |
| 7. 介護施設など福祉環境 | 8. 病院など医療環境 |
| 9. 子育てのしやすさ、支援策 | 10. 保安・防犯 |
| 11. 自然環境 | 12. 観光地としての魅力 |
| 13. 食べ物がおいしい | 14. 情報発信・広報 |
| 15. 公共施設 (公民館、図書室、スポーツ施設など) | |
| 16. その他 () | |

Q10. 羽幌町に住んでいて、どの点に不満を感じていましたか。

(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|-------------------------------|-----------------|
| 1. 買い物など日常生活の不便さ | 2. 通勤・通学の不便さ |
| 3. 物価が高い | 4. 近所づきあい |
| 5. 住宅条件 | 6. 教育環境 |
| 7. 介護施設など福祉環境 | 8. 病院など医療環境 |
| 9. 子育てのしづらさ | 10. 保安・防犯 |
| 11. 自然環境 | 12. 観光地として魅力がない |
| 13. 地物を食べられる所がない | 14. 情報発信・広報 |
| 15. 公共施設（公民館、図書室、スポーツ施設、公園など） | |
| 16. その他（ | ） |

Q11. 羽幌町に住んで、満足でしたか。

(一つに○)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 満足 | 2. どちらかといえば満足 |
| 3. どちらかといえば不満 | 4. 不満 |

Q12. もし、機会があれば、羽幌町にもう一度住みたいと思いますか。

(一つに○)

- | | |
|----------|----------------------|
| 1. 住みたい | 2. 住む気はない |
| 3. わからない | 4. 不満だった点が改善されれば住みたい |

Q13. 羽幌町に住んでいて良かったこと、不便を感じたこと、または、人口減少対策に関するご意見などありましたらお書きください。

(自由に意見を記載)

アンケートは以上です。ありがとうございました。

答え忘れがないかもう一度お確かめのうえ、返信用封筒に入れ、7月14日（日曜日）
までに投函くださいますようお願いいたします。

※QRコードでのご回答につきましては、この限りではありません。

(5) 企業向けアンケート調査票

企業向けアンケート調査

◆人口減少対策のためのアンケート調査◆

●アンケート調査へのご協力をお願い

日頃より、羽幌町のまちづくりにご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

羽幌町では、地域の未来を支えるための人口減少対策として、安定した雇用の創出、U I J ターンなどにより新しい人の流れをつくることや、若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶えていく取り組みを進めています。

本調査は、企業を経営する皆様方が、若者やU I J ターンによる人材を雇用していただくために、どのような政策が今後必要なのか、貴重な意見を把握するためのアンケート調査です。

お忙しいところ恐れ入りますが、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和6年6月 羽幌町長 森 淳

●ご注意

アンケートの回答は、本調査票にて回答いただき、返信用封筒に入れて郵便ポストに投函いただくか、右のQRコードから回答いただきますようお願い申し上げます。



なお、アンケートの回収期限は7月14日（日曜日）までとなっています。

●ご回答にあたって

- ・この調査は、羽幌町が直接行うものです。
- ・この調査は、羽幌町で事業を営まれている事業所様から無作為抽出により、200 社の方々を対象に実施しております。
- ・調査票は、無記名とし、回答結果は全て統計的に処理されますので、回答内容が他人に知れることはありません。また、他の目的にも一切使用いたしません。

●お問合せ

〒078-4198 羽幌町南町1番地の1

羽幌町役場 デジタル推進課デジタル推進係 担当：竹内、井上

TEL:0164-68-7040（直通） FAX:0164-62-1219 mail: digital@town.haboro.lg.jp

企業向けアンケート調査

Q1. 営んでいる業種についてお答えください。(一つに○)

- | | | | |
|------------------|--------------|-------------|---------------|
| 1. 飲食店 | 2. 生鮮品 | 3. 菓子・パン | 4. 食料品小売 |
| 5. 衣料 | 6. 美容・理容 | 7. クリーニング | 8. 花・植木 |
| 9. 写真 | 10. 時計・メガネ | 11. 家電 | 12. 書籍・文具 |
| 13. 医薬・化粧品 | 14. 病院・療術等 | 15. 工作機械器具 | 16. 自動車販売・整備等 |
| 17. 食料品製造 | 18. 清掃・廃棄物処理 | 19. 建設会社・工事 | 20. 漁業関係 |
| 21. 幼稚園・保育園 | 22. 福祉施設 | 23. 運送業 | 24. 宿泊業 |
| 25. 銀行業、保険業、不動産等 | 26. 燃料、電力等 | 27. 水産加工業等 | |
| 28. その他サービス () | | | |

Q2. 経営されている場所(地区名)をお答えください。(一つに○)

- | | | | | | |
|--------|--------|--------|---------|--------|--------|
| 1. 南○条 | 2. 南大通 | 3. 港町 | 4. 緑町 | 5. 幸町 | 6. 南町 |
| 7. 栄町 | 8. 寿町 | 9. 北○条 | 10. 北大通 | 11. 浜町 | 12. 北町 |
| 13. 焼尻 | 14. 天売 | | | | |

Q3. 経営者の方の性別と年齢をお答えください。(一つに○)

- | | |
|----------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
| 3. 回答しない | |

- | | | |
|---------|---------|----------|
| 1. 20歳代 | 2. 30歳代 | 3. 40歳代 |
| 4. 50歳代 | 5. 60歳代 | 6. 70歳以上 |

Q4. 貴社に勤務されている従業員(パート含む)は、何名いますか。また、町外から通勤している従業員は何名いますか。(人数、必要な事項を記載)

従業員の人数：_____人 (内、家族従業員の数：____人)	町外にお住まいの従業員の人数：_____人
	市町村名をお書きください。

Q5. 5年前と比較して、従業員数は変化していますか。(一つに○、人数を記載)

- | |
|-------------------------|
| 1. 比較して、増えている→(____)人増加 |
| 2. 比較して、減っている→(____)人減少 |
| 3. 変わっていない |

Q6. 従業員の方の年齢構成についてお答えください。また、経営者様が考える理想の年齢構成を併せてお答えください。 (人数を記載)

年齢階層	現在の人数	理想とする人数
30歳未満	____人	____人
30歳以上50歳未満	____人	____人
50歳以上60歳未満	____人	____人
60歳以上70歳未満	____人	____人
70歳以上	____人	____人

Q7. 後継者はいらっしゃいますか。また、後継者がいる場合（後継者の予定が立っていない場合でも希望者に継承させてもよい場合）は、その継承の時期をお答えください。

(一つに○、継承の時期を記載)

1. 子どもが後を継ぐ予定（時期： _____） 2. きょうだいや親せきが後を継ぐ予定（時期： _____） 3. 従業員が後を継ぐ予定（時期： _____） 4. 後継者の予定が立っていないが、希望者がいれば継承させてもよい（時期： _____） 5. 後継者がいないため、自分の代で運営をやめようと思っている 6. その他（ _____） 7. まだ後継者を考える年齢ではない

Q8. 今後、事業承継マッチング支援※を活用したいと思いますか。 (一つに○)

1. 活用したい 2. 活用するつもりはない 3. どちらとも言えないが興味はある

※事業承継マッチング支援とは、後継者がいないことなどを理由に「事業を譲り渡したい」と考えている方と、創業や新分野進出等を目的に「事業を譲り受けたい」と考えている方をつなぐ無料のマッチングサービスです。

Q 9. 事業活性化や新たな事業展開にあたって、満足度と重要度をお答えください。

(それぞれ一つずつ○)

支援策	満足度						重要度					
	高・・・・・・・・・・低						高・・・・・・・・・・低					
	非常に満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	非常に不満	わからない	非常に重要	やや重要	どちらでもない	さほど重要でない	重要でない	わからない
回答例	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
①空き店舗情報や店舗の改修支援など空き店舗等の有効活用	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
②新商品の開発と、都市圏への情報発信など販路拡大支援	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
③セミナーや企業情報発信など起業・経営支援	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
④地産地消や産業間連携など6次産業化の推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑤新規就農研修生の雇用など農業従業者の創出	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑥農地取得等や漁業新規就業者への支援など1次産業後継者及び新規就業者等の育成	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑦継承者を必要とする企業と就労希望者との雇用のマッチング	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑧工場立地支援や各種学校との連携による新規雇用	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑨パート及び新規雇用支援や障がい者雇用の拡大など雇用機会の充実	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑩ふるさと納税を活用した地域魅力PR	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑪その他、有効と思う、または、充実してほしい支援策がありましたらお答えください。												

Q10. 若者やU I Jターンによる人材を雇用するにあたって、有効と思う施策をお答えください。
(あてはまるもの全てに○)

1. 企業誘致
2. 雇用支援
3. 住宅確保への支援
4. 子育て支援
5. 地域医療・福祉の充実
6. 地域の魅力向上
7. 官民協働の体制構築
8. 後継者育成の支援
9. 6次産業化への支援
10. 特産品のブランド化・付加価値化
11. 奨学資金返還者への支援
12. その他 ()

Q11. その他、人口減少対策のためのご意見等がありましたらお書きください。
(自由に意見を記載)

アンケートは以上です。ありがとうございました。

答え忘れがないかもう一度確かめのうえ、返信用封筒に入れ、7月14日(日曜日)までに投函くださいますようお願いいたします。

※QRコードでのご回答につきましては、この限りではありません。